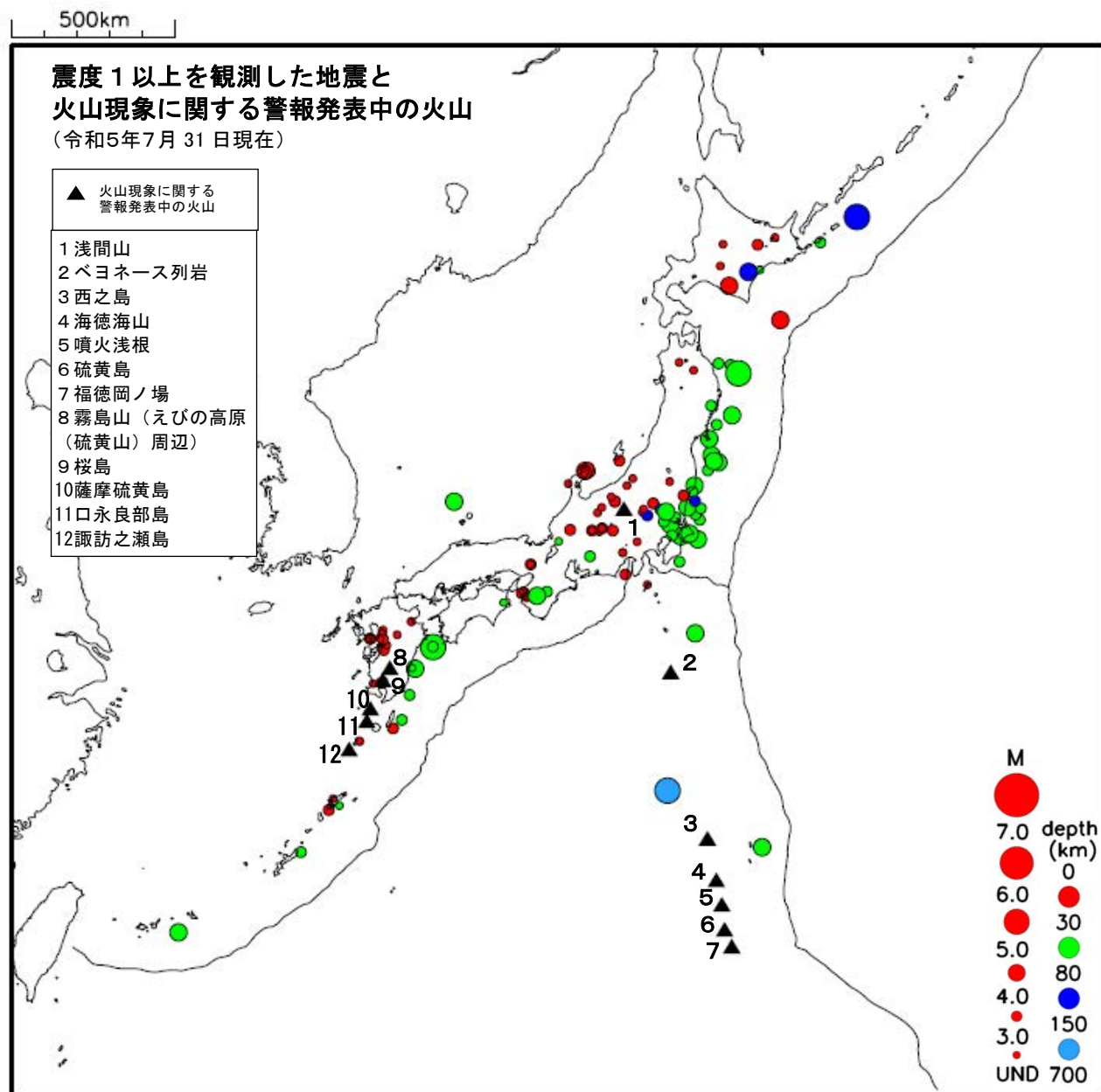


令和5年7月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2023



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和5年7月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和5年7月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	7
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	9
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	16
その他の地域の地震活動	17
● 南海トラフ周辺の地殻活動	18
● 日本の主な火山活動	21
北海道地方の火山活動	32
東北地方の火山活動	34
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	36
近畿・中国・四国地方の火山活動	40
九州地方の火山活動	41
沖縄地方の火山活動	45
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	46
● 世界の主な地震	49
● 世界の主な火山活動	50
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	51
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	69
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数	70
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	71
5. 緊急地震速報の提供状況	72

● 日本及びその周辺での主な地震活動

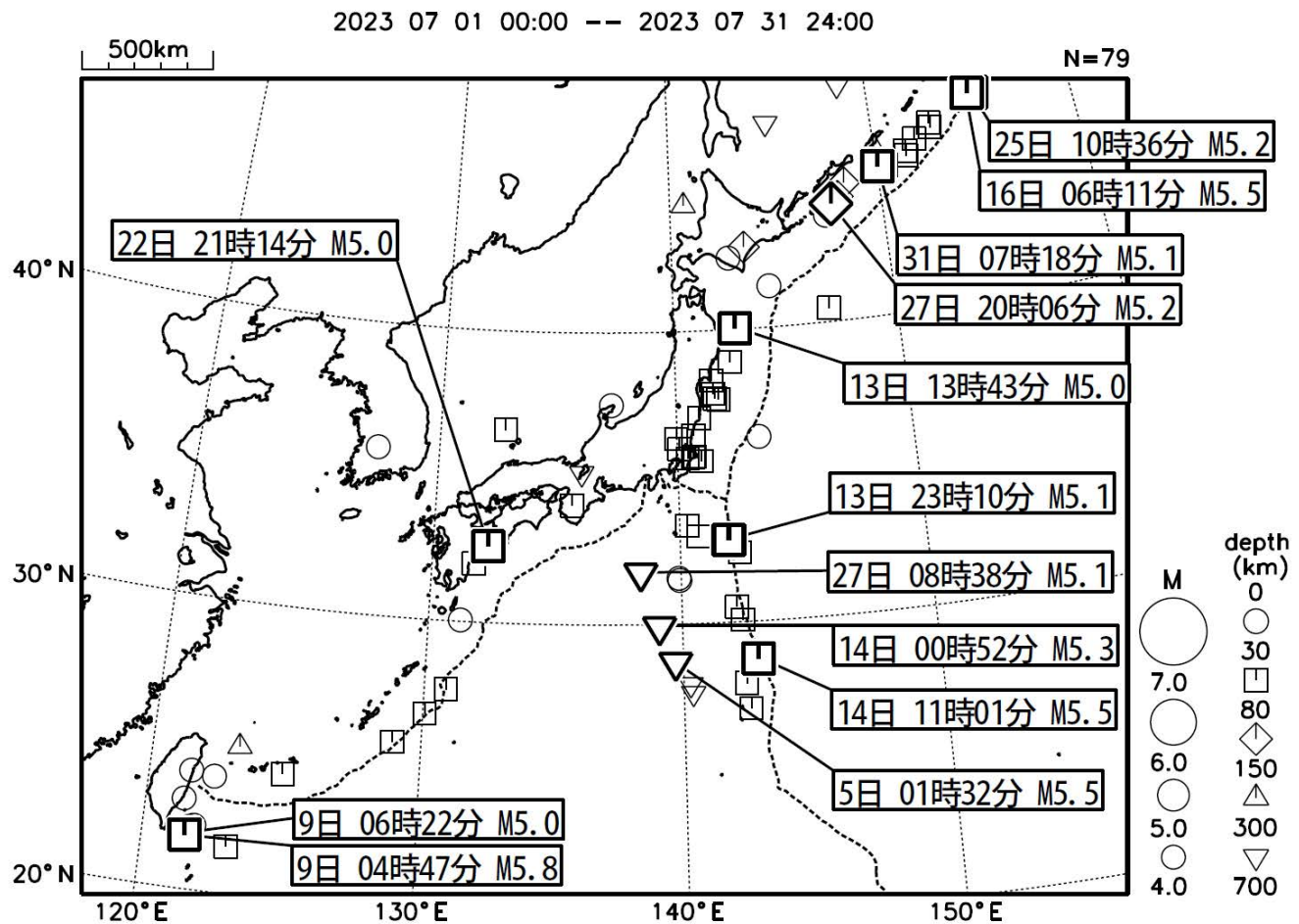


図1 令和5年7月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和5年（2023年）7月に日本国内で震度4以上を観測した地震は2回（6月は3回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は79回（6月は93回）であった（図1）。

7月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。7月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（6月は震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった）。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年7月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	7 17 9 37	十勝地方中部	4.5	4.5	・ ・ ・ ・	3：北海道 浦幌町桜町＊ 釧路市音別町中園＊	6
2	7 22 10 52	茨城県沖	4.8	4.8	・ ・ S ・	4：茨城県 水戸市金町 水戸市千波町＊ など1県10地点	4、11
3	7 22 21 14	日向灘	5.0	5.0	・ ・ S ・	4：高知県 宿毛市桜町＊ 大分県 佐伯市蒲江蒲江浦 佐伯市鶴見＊	4、15
4	7 29 19 34	茨城県南部（注7）	4.6	4.6	・ ・ ・ ・	3：茨城県 笠間市石井＊ 笠間市中央＊ など4県24地点	12
5		石川県能登地方 の地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の 地震活動の中で発生した地震 2023年7月中に震度1以上を観測する 地震が12回（震度3：2回、震度2： 3回、震度1：7回）（注8）	10

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）M_w欄の「－」はM_wが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注7）情報発表に用いた震央地名は「栃木県南部」である。
- （注8）能登半島沖で発生した地震を6回含む。

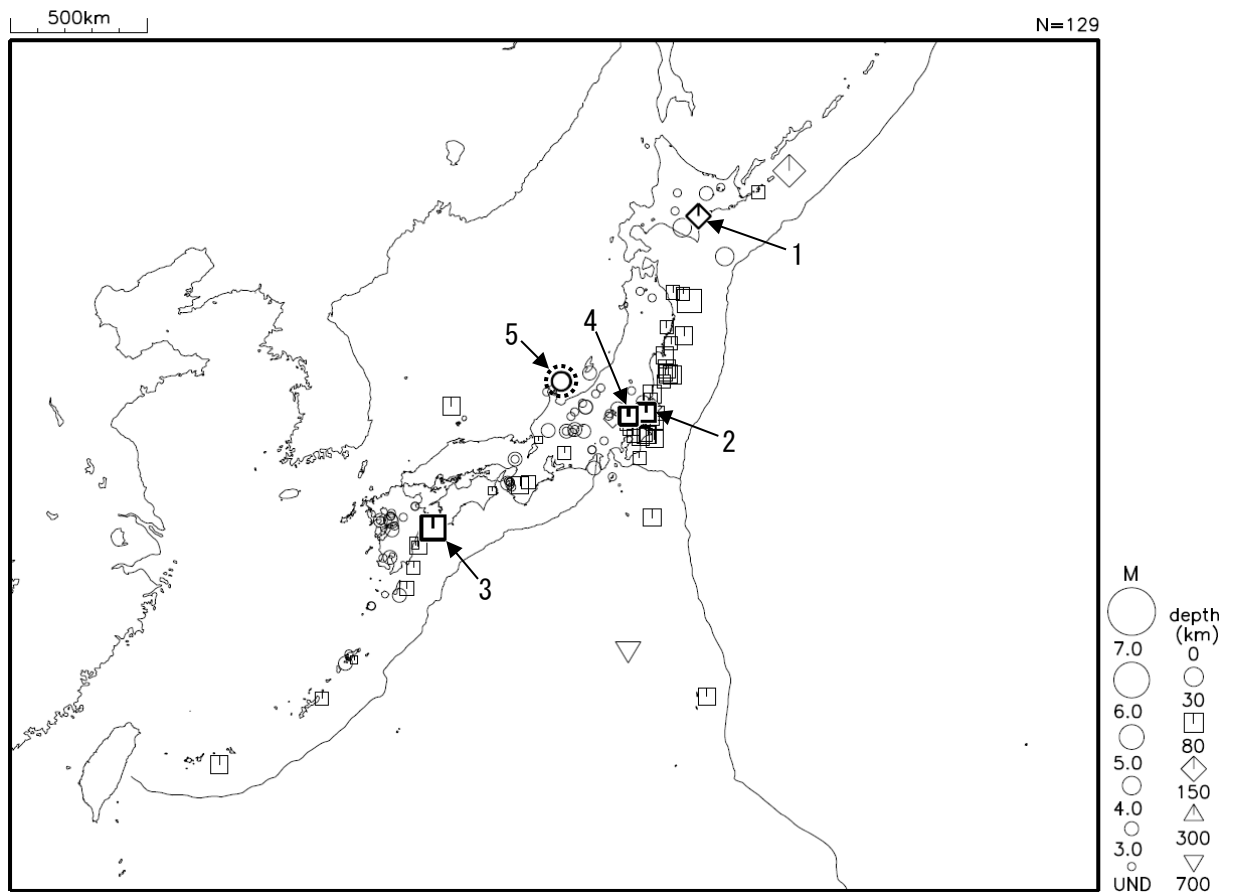


図2 令和5年7月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

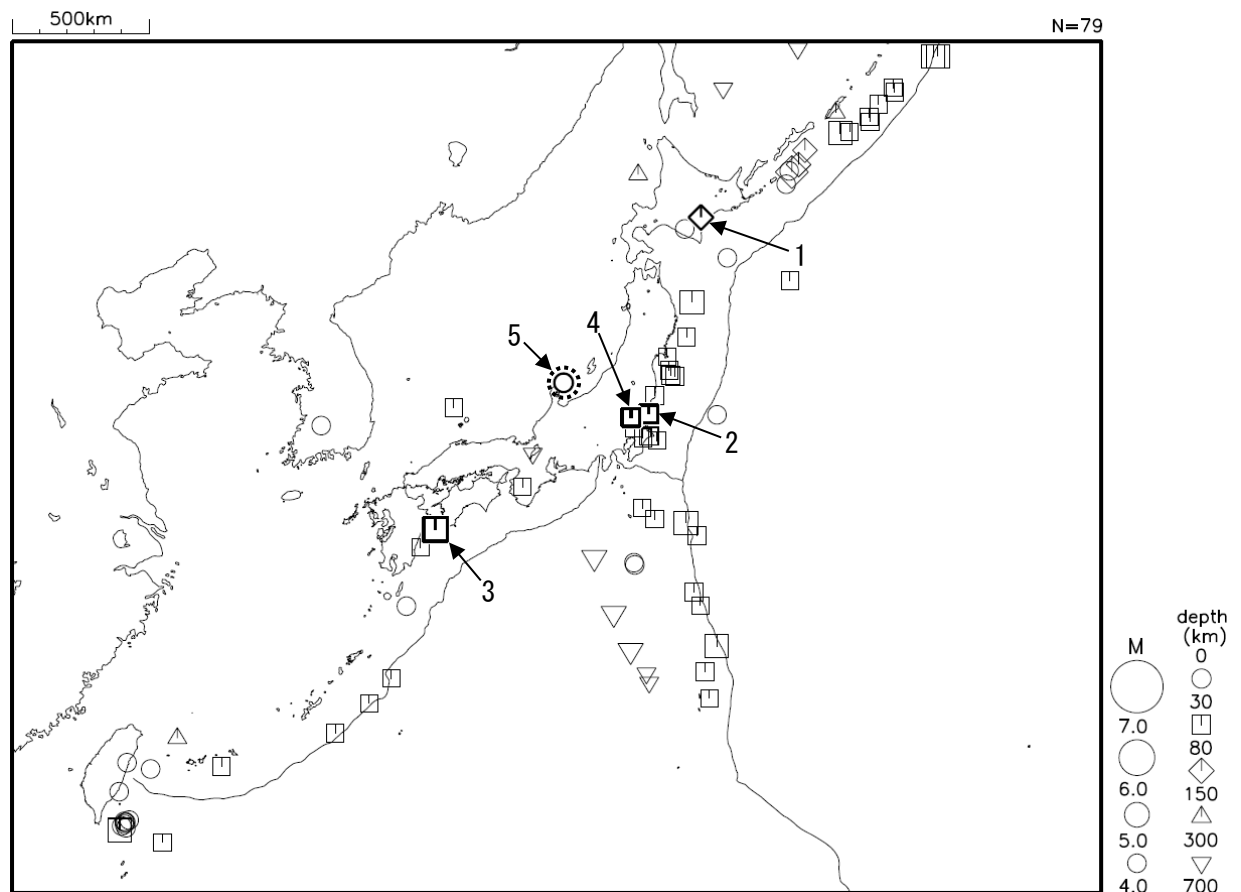
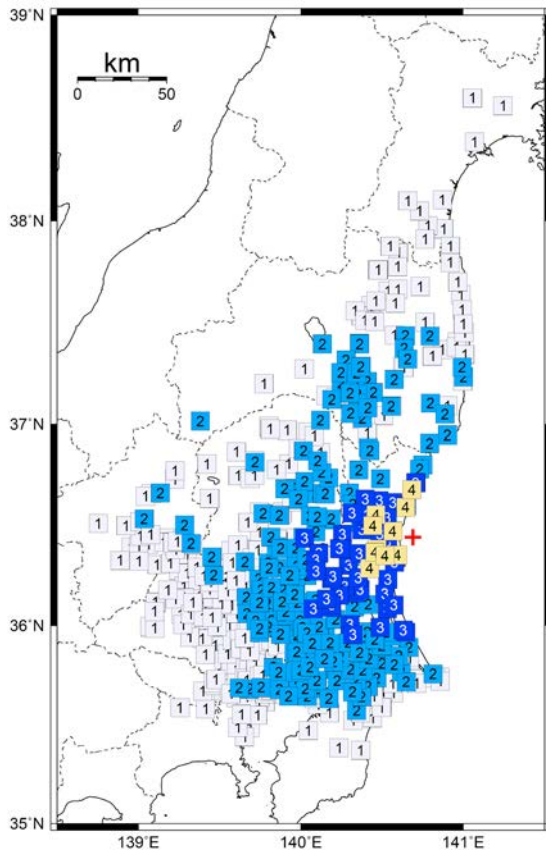


図3 令和5年7月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

2 7月22日10時52分 茨城県沖
(M4.8、深さ52km、最大震度4)



3 7月22日21時14分 日向灘
(M5.0、深さ37km、最大震度4)

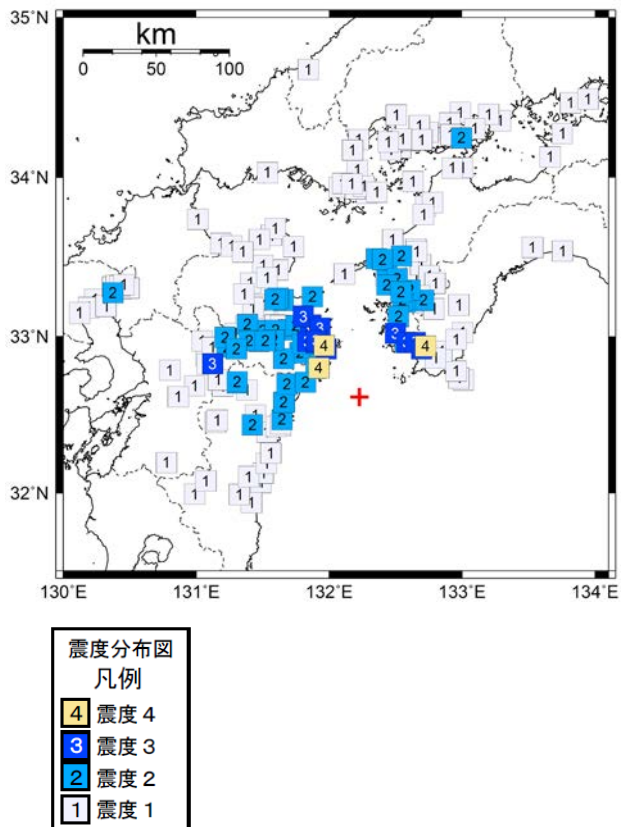


図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

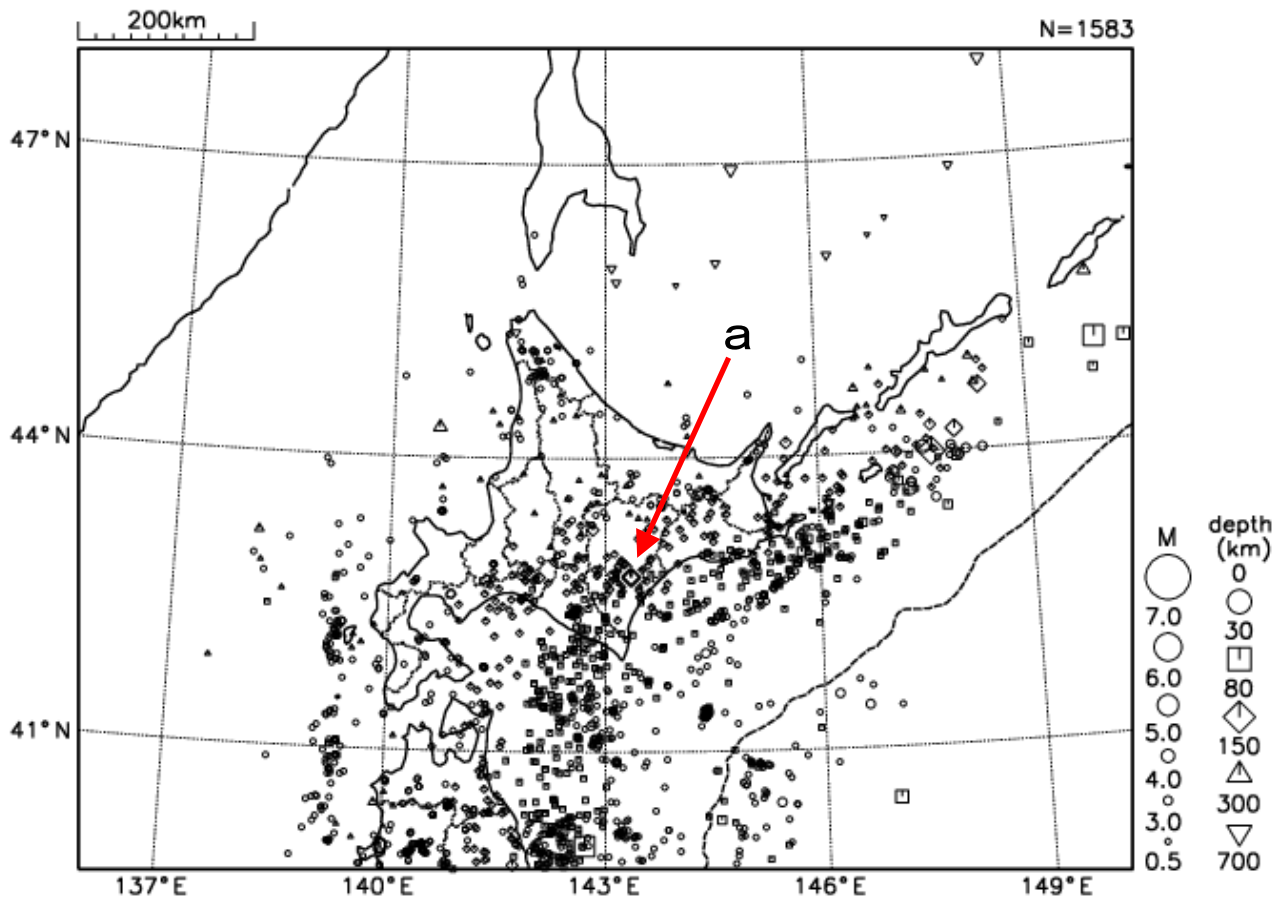


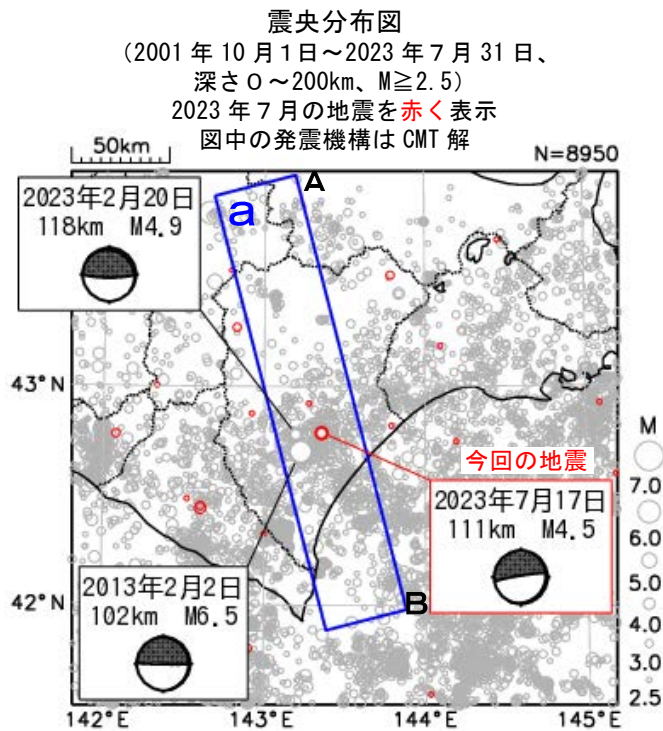
図5 北海道地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は10回（6月は17回）であった。
7月中の主な地震活動は次のとおりである。

17日09時37分に十勝地方中部の深さ111kmでM4.5の地震（図5中のa）が発生し、北海道釧路市及び浦幌町で震度3を観測したほか、北海道で震度2～1を観測した（p. 6参照）。

7月17日 十勝地方中部の地震

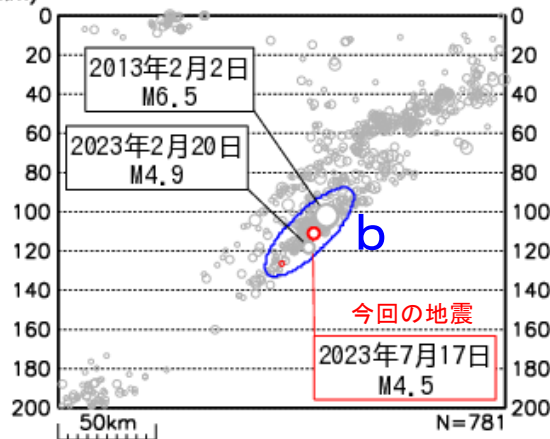


2023年7月17日09時37分に十勝地方中部の深さ111kmで $M4.5$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。発震機構（CMT解）は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。

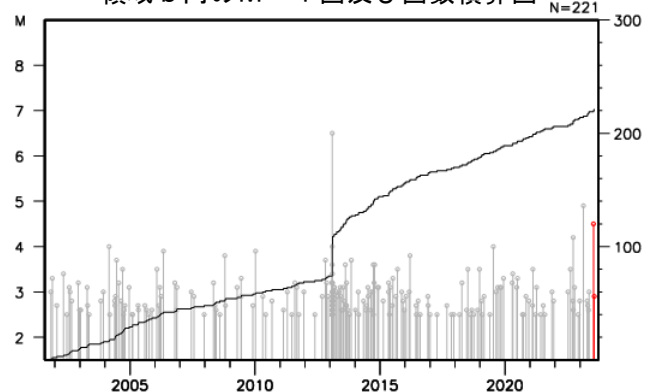
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M4.0$ 程度の地震がしばしば発生している。 $M5.0$ 以上の地震は1回発生しており、2013年2月2日の $M6.5$ の地震（最大震度5強）では、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が3回発生しており、1987年1月14日の $M6.6$ の地震（最大震度5）では、重軽傷者7人、建物破損などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

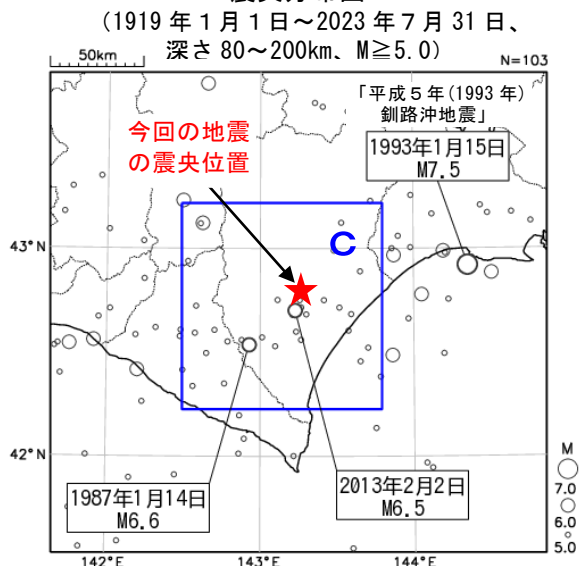
(km) A 領域a内の断面図（A－B投影） B



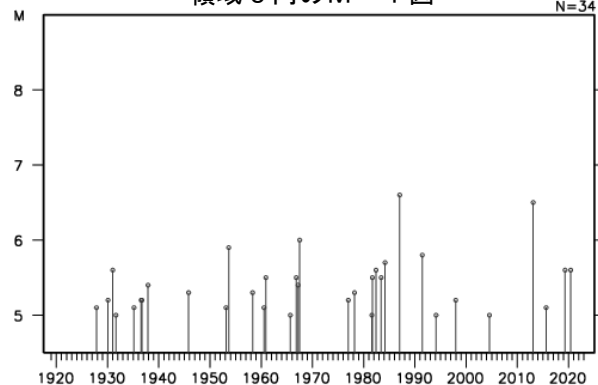
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図



領域c内のM－T図



○東北地方の地震活動

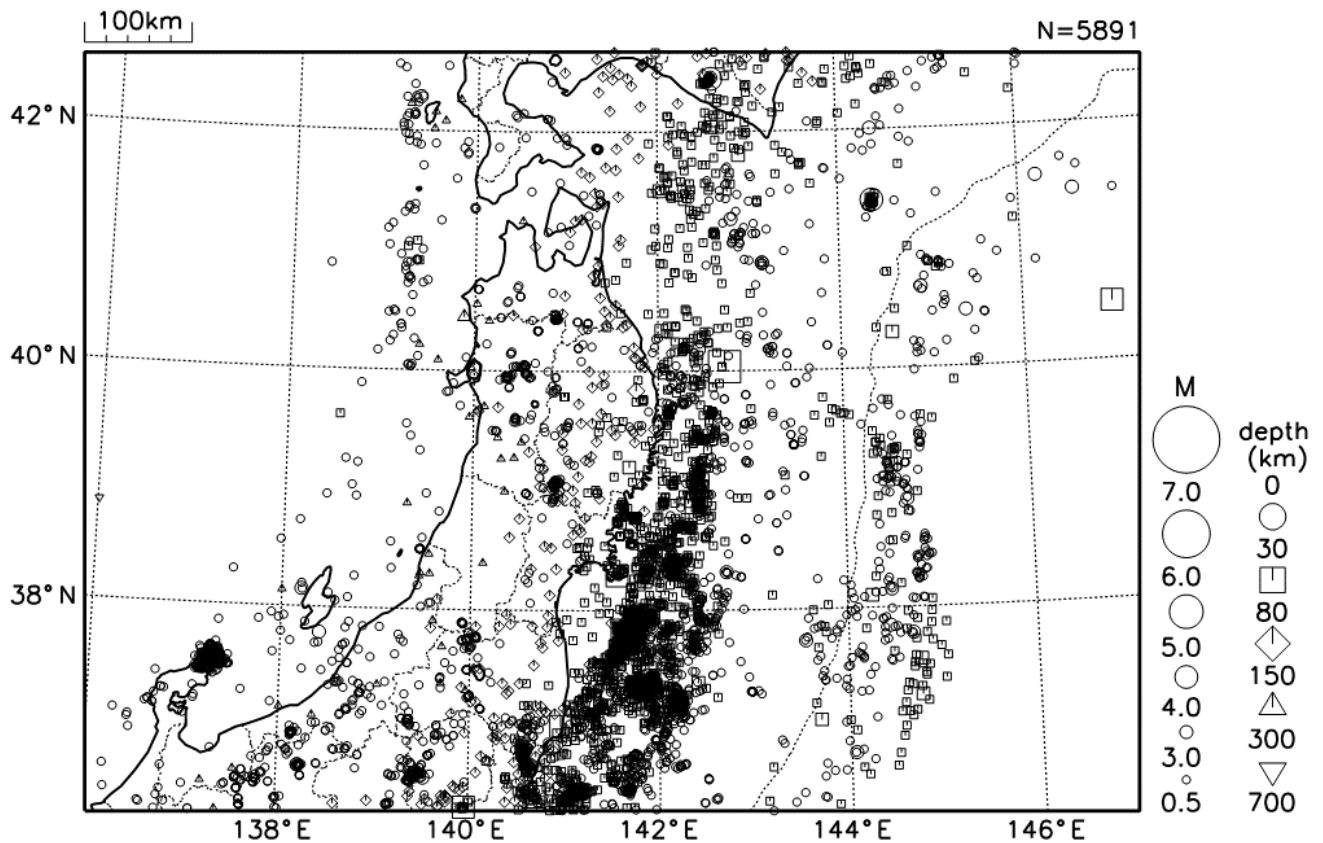


図6 東北地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

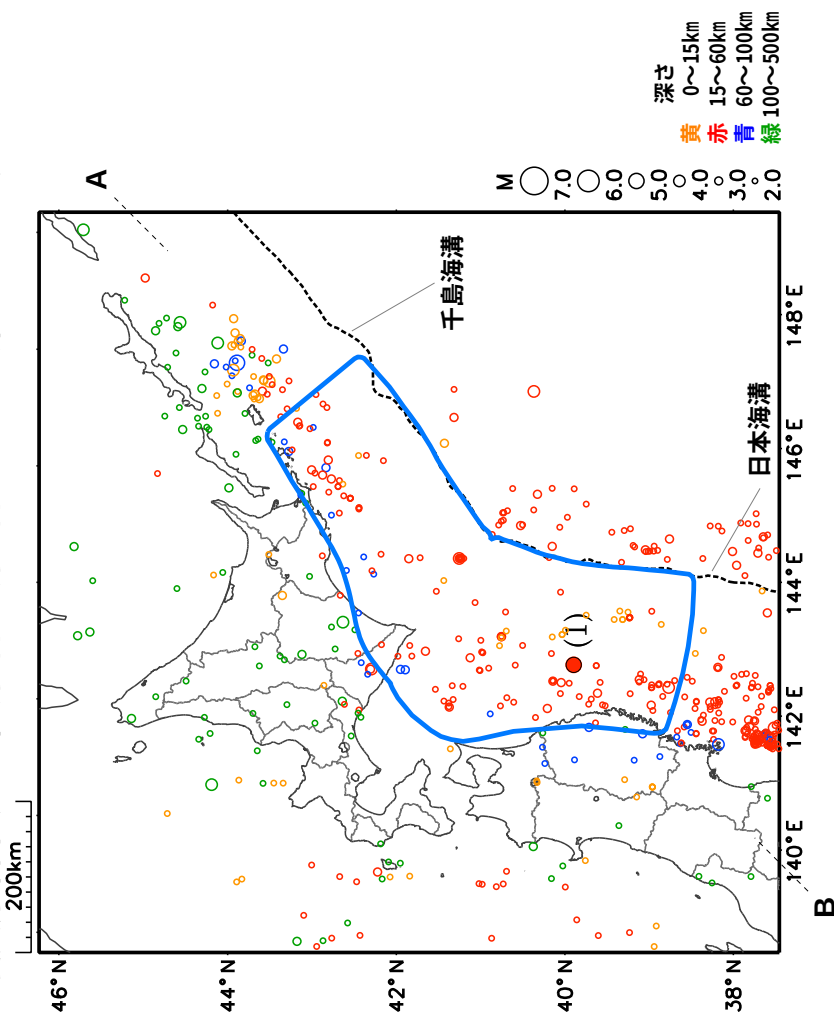
〔概況〕

7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は24回（6月は39回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2023年7月1日～7月31日

震央分布図 (2023年7月1日～7月31日、M $\geq$ 2.0、深さ0～500km)



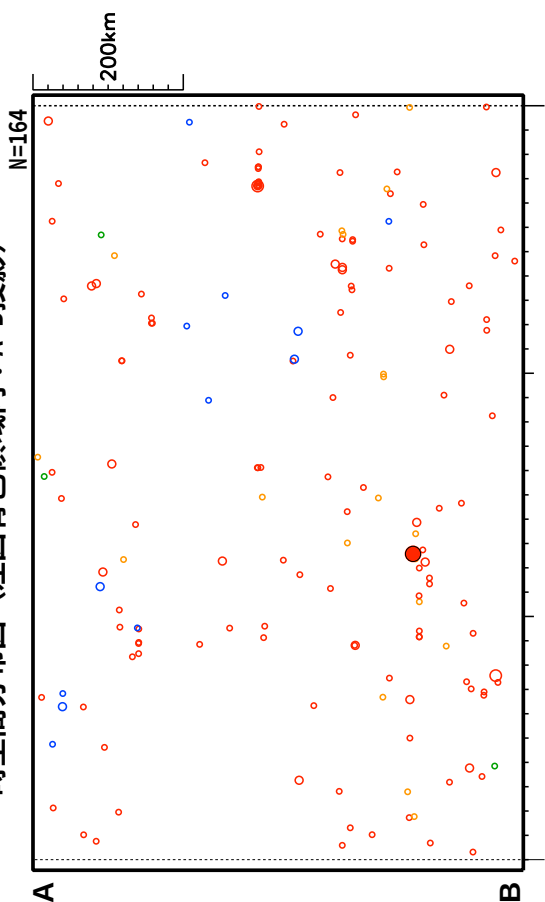
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。
震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

【主な地震活動】

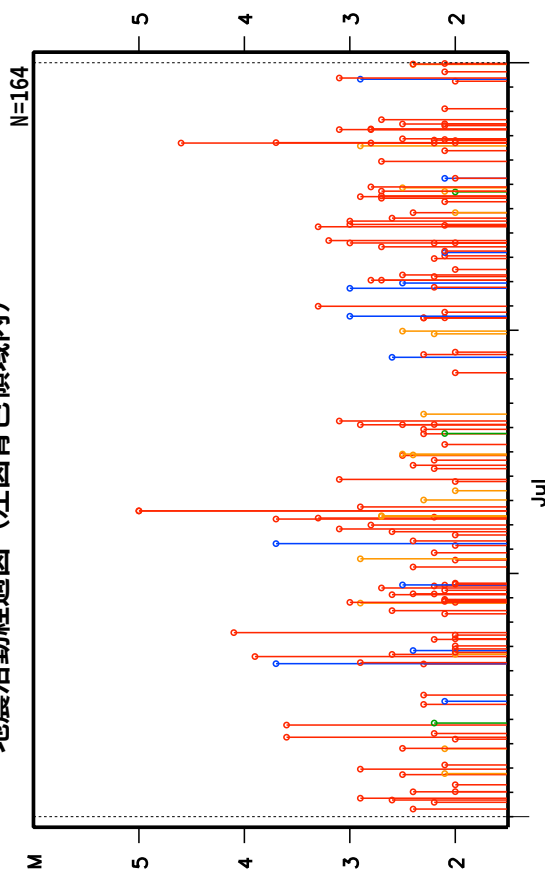
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震 (最大5つ)
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

●(1) 07月13日 13時43分 M5.0 最大震度2 岩手県沖

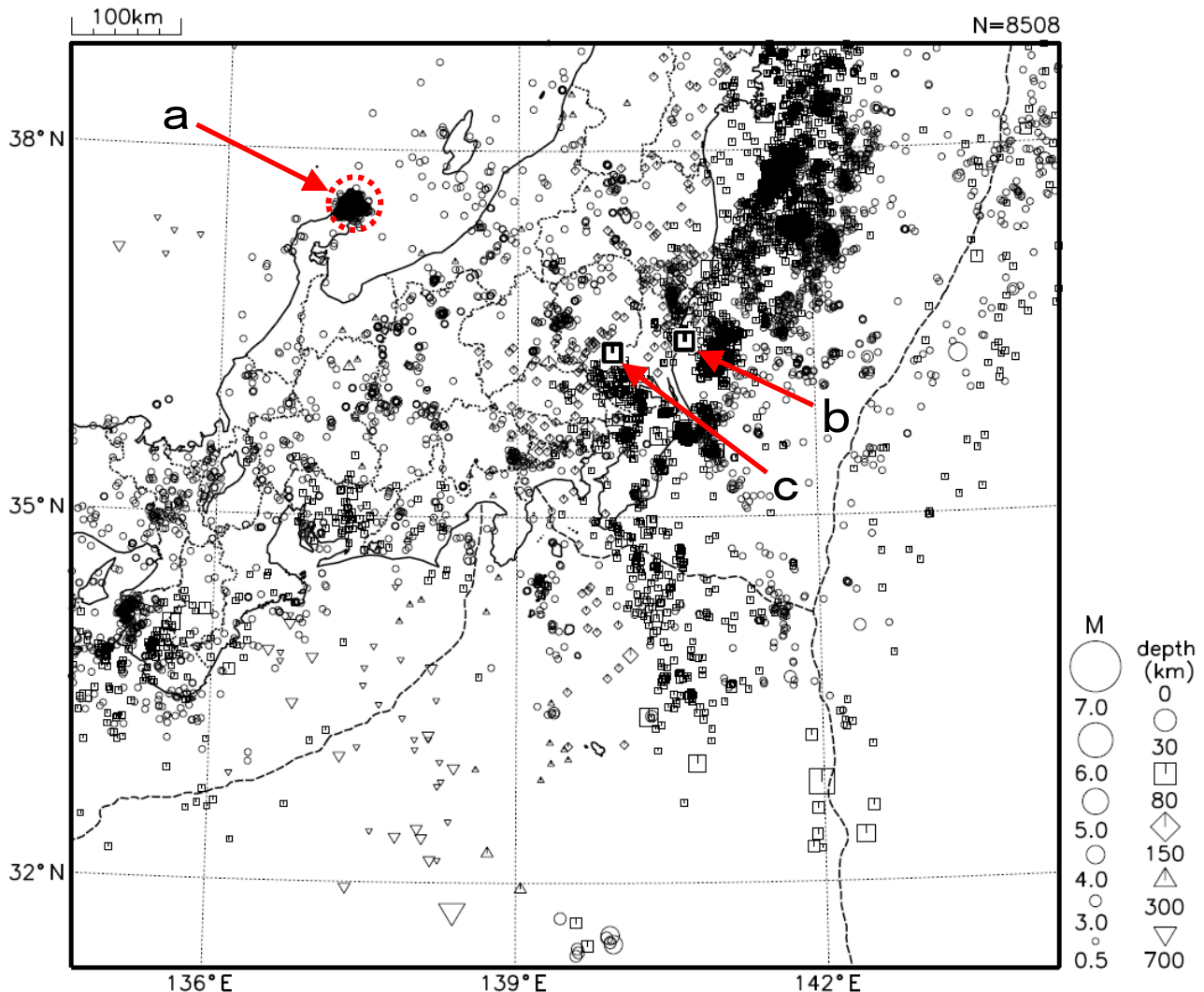
時空間分布図 (左図青色領域内：A-B投影)



地震活動経過図 (左図青色領域内)



○関東・中部地方の地震活動

図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は65回（6月は73回）であった。7月中の主な活動は次のとおりである。

石川県能登地方（図7中のa）では、7月中に震度1以上を観測した地震が12回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震を6回含む）発生した。このうち最大規模の地震は、8日21時36分に能登半島沖の深さ13kmで発生したM4.0の地震（最大震度3）で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県及び富山県で震度2～1を観測した（p.10 参照）。

8日21時36分の地震で情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である。

22日10時52分に茨城県沖の深さ52kmでM4.8の地震（図7中のb）が発生し、茨城県で震度4を観測したほか、東北地方南部及び関東地方で震度3～1を観測した（p.4、11 参照）。

29日19時34分に茨城県南部の深さ77kmでM4.6の地震（図7中のc）が発生し、関東地方で

震度3を観測したほか、東北地方南部、関東甲信地方及び静岡県で震度2～1を観測した（p.12 参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔栃木県南部〕である。

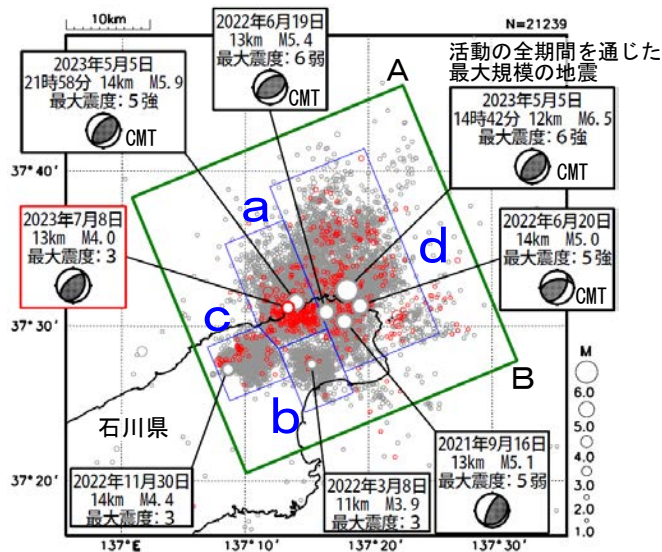
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

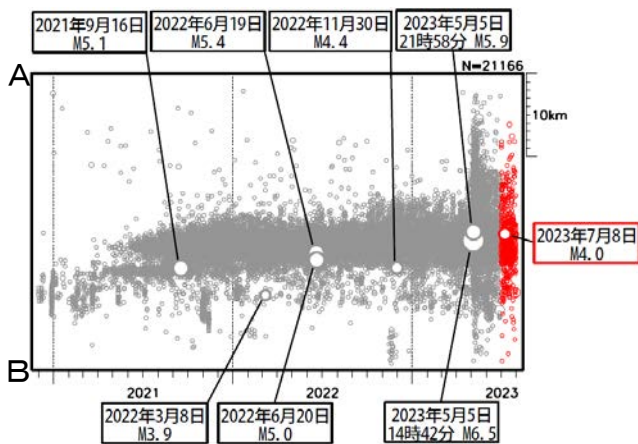
(2020年12月1日～2023年7月31日、
深さ0～25km、M $\geq$ 1.0)

2023年7月の地震を赤色で表示

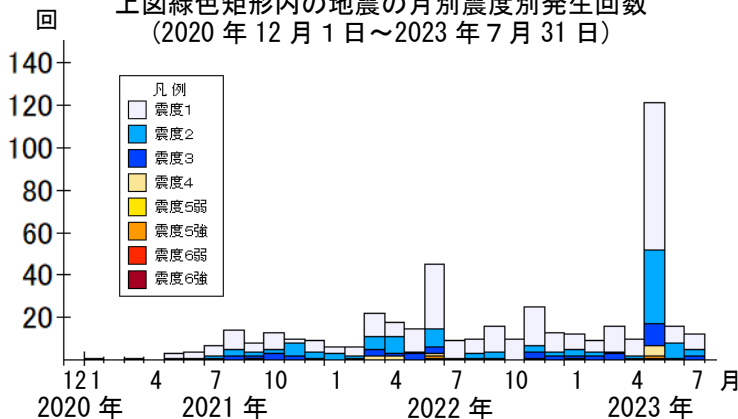
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年7月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年7月31日)



期間別・震度別の地震発生回数表

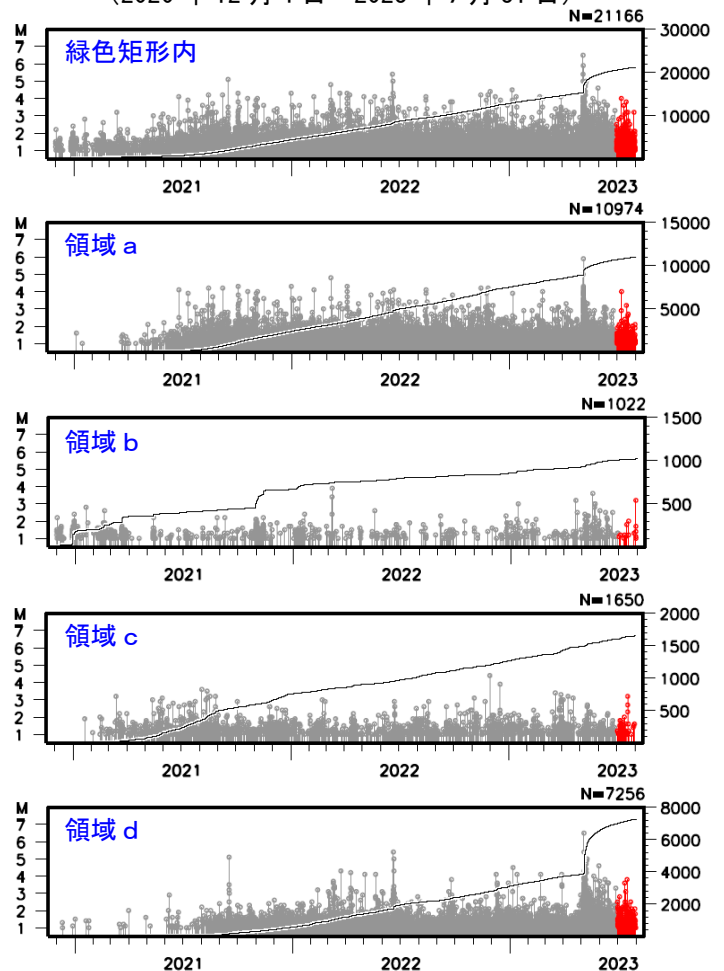
期間	最大震度別回数								計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	
2020年12月1日 ～2023年6月30日	278	107	46	13	1	2	1	1	449
2023年7月1日～31日	7	3	2	0	0	0	0	0	12
計	285	110	48	13	1	2	1	1	461

石川県能登地方 (震央分布図の緑色矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年7月中も活発な状態が続いている。2023年7月中の最大規模の地震は、8日に能登半島沖で発生したM4.0の地震 (最大震度3) である。なお、活動の全期間を通じた最大規模の地震は、2023年5月5日14時42分に発生したM6.5の地震 (最大震度6強) である。

2023年5月5日にM6.5の地震 (最大震度6強) が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少している。

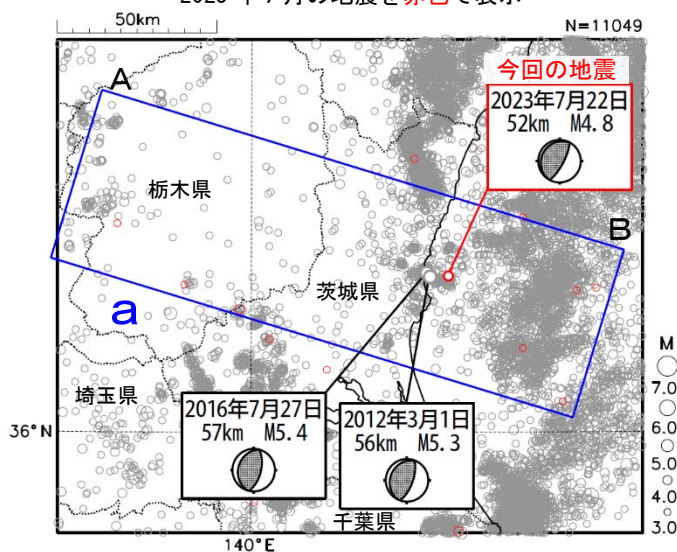
緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年7月31日)



7月22日 茨城県沖の地震

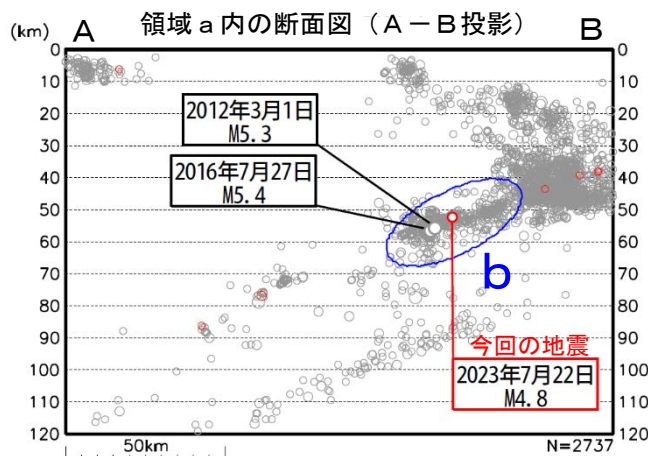
震央分布図
(1997年10月1日～2023年7月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示



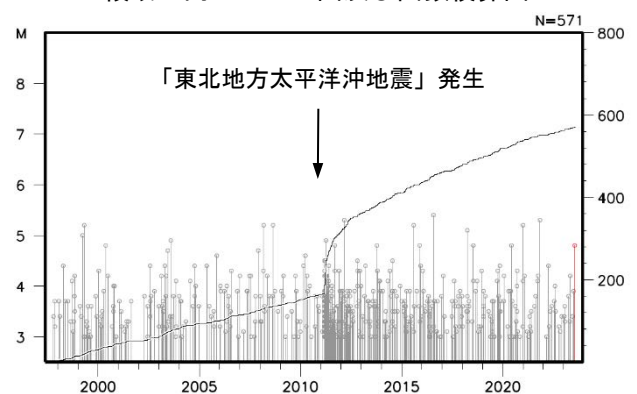
2023年7月22日10時52分に茨城県沖の深さ52kmで $M 4.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日には $M 5.3$ の地震 (最大震度5弱)、2016年7月27日には $M 5.4$ の地震 (最大震度5弱) などが発生している。

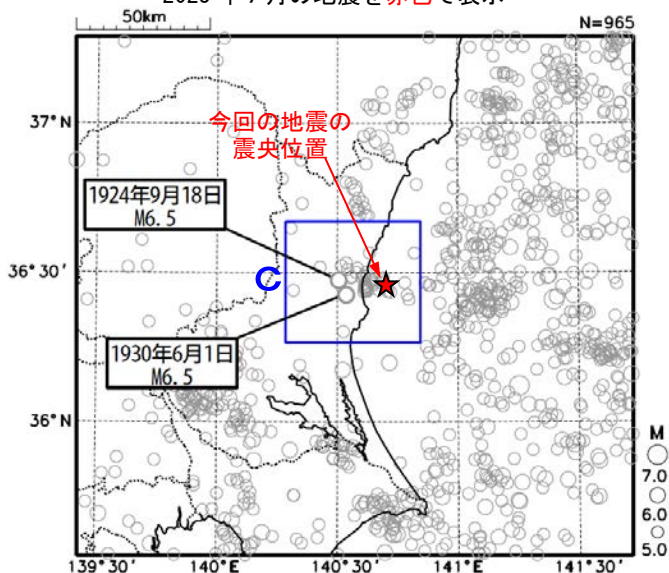
1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生した $M 6.5$ の地震 (最大震度5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。



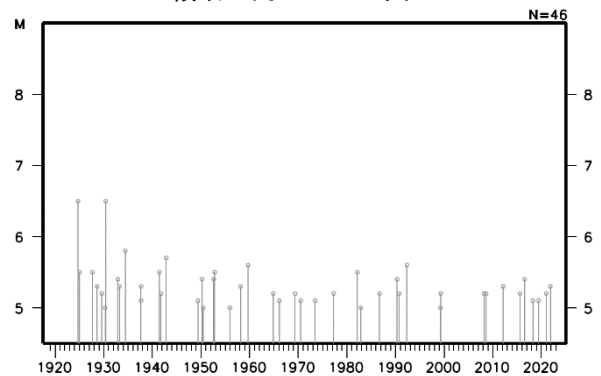
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示



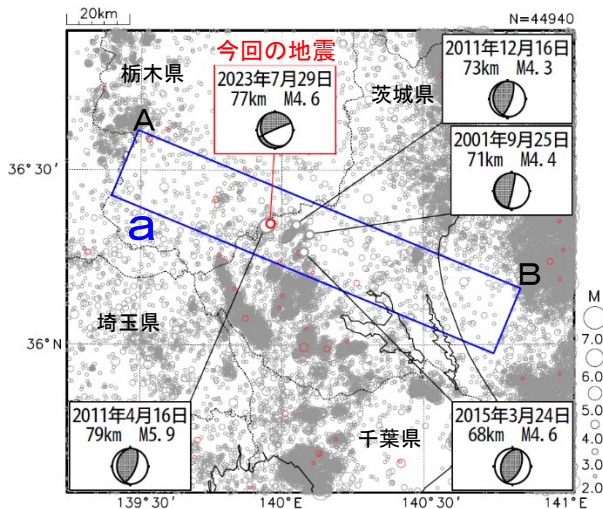
領域c内のM-T図



7月29日 茨城県南部の地震

震央分布図

（1997年10月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$ ）
2023年7月の地震を赤色で表示



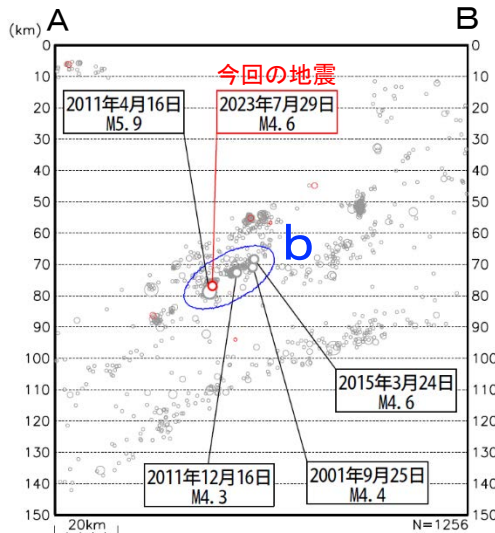
情報発表に用いた震央地名は「栃木県南部」である。

2023年7月29日19時34分に茨城県南部の深さ77kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。

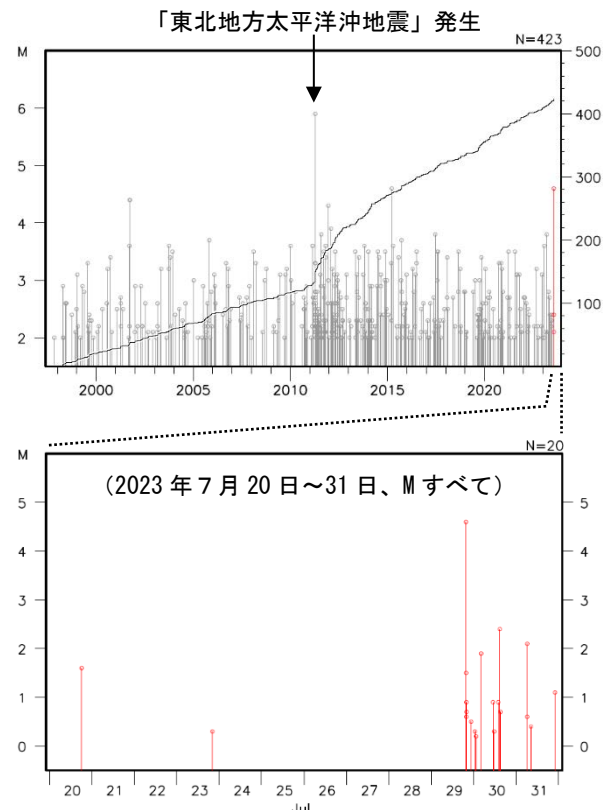
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生している。また、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動がより活発になっており、2011年4月16日にはM5.9の地震（最大震度5強）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0程度の地震が時々発生している。1923年1月14日に発生したM6.0の地震（最大震度3）では、負傷者1人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）

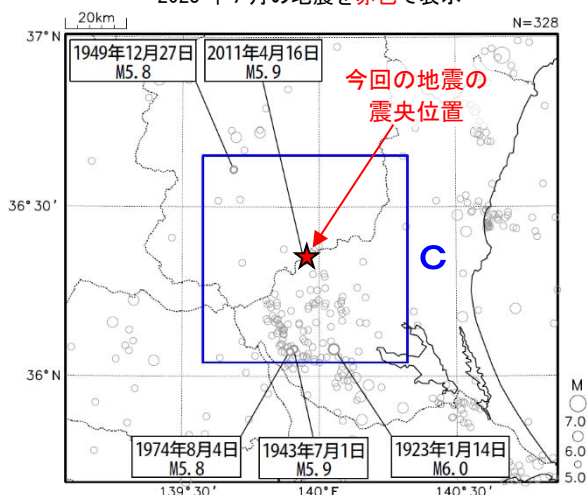


領域b内のM－T図及び回数積算図

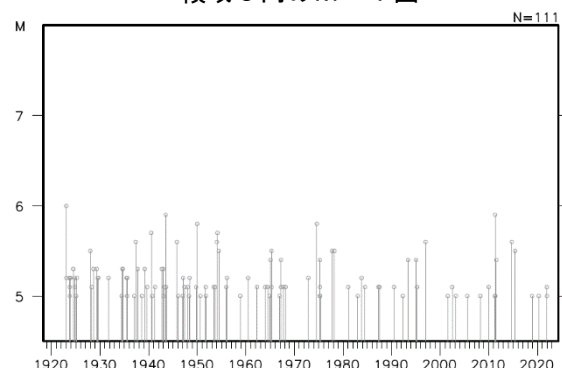


震央分布図

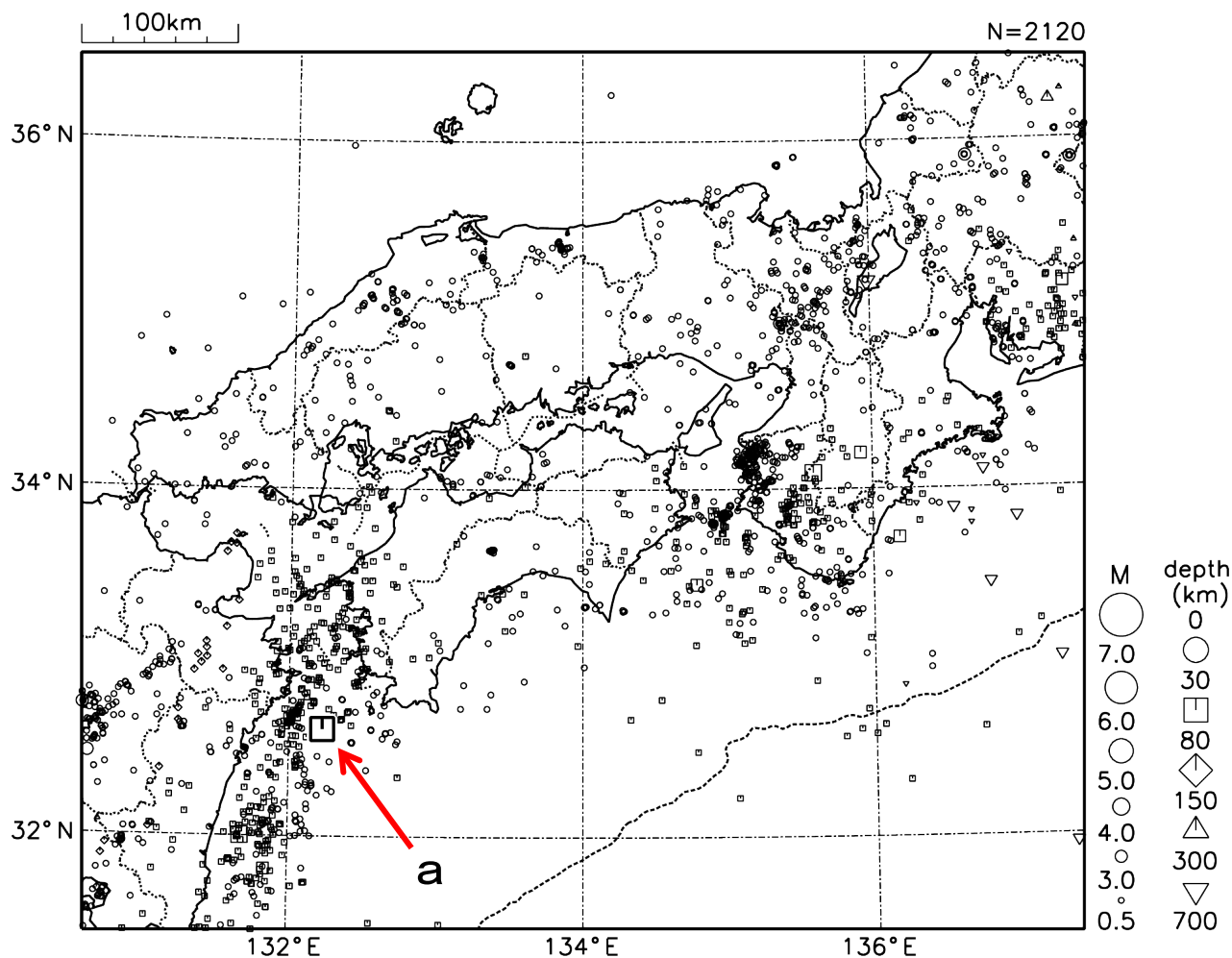
（1919年1月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ ）
2023年7月の地震を赤色で表示



領域c内のM－T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

7月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（6月は11回）であった。7月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で震度4以上を観測した地震を含む）は次のとおりである。

22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震（図8中のa）が発生し、高知県宿毛市及び大分県佐伯市で震度4を観測したほか、中国・四国地方及び九州地方で震度3～1を観測した（p. 4、15 参照）。

○九州地方の地震活動

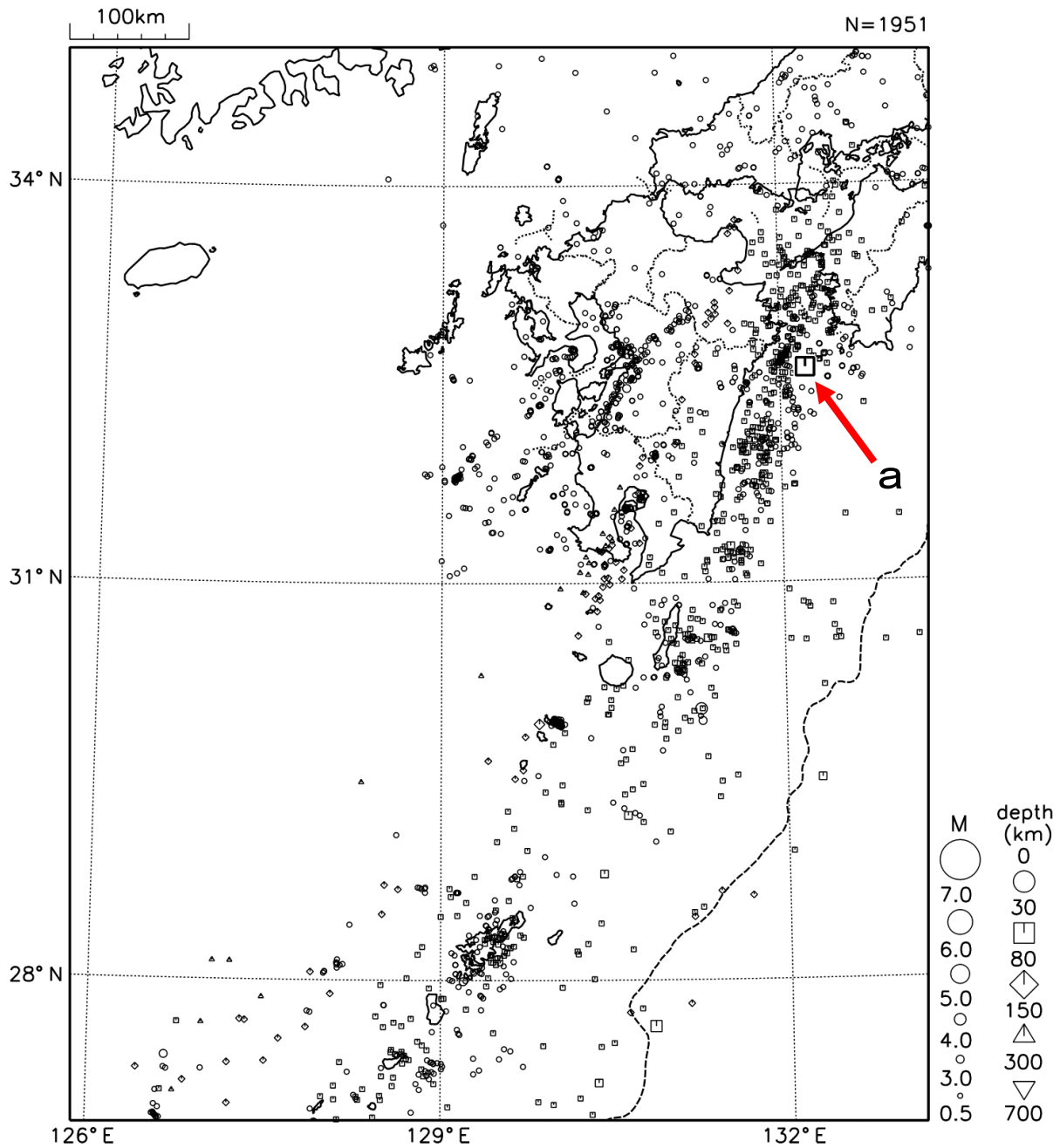


図9 九州地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

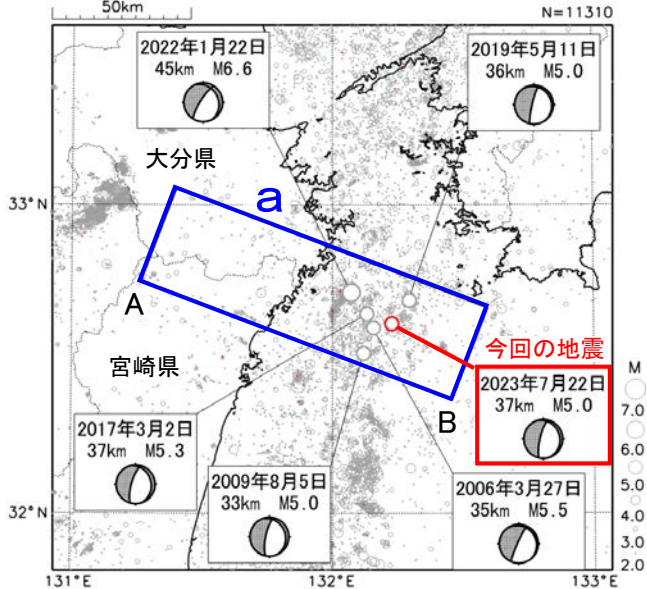
[概況]

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は26回（6月は52回）であった。7月中の主な活動は次のとおりである。

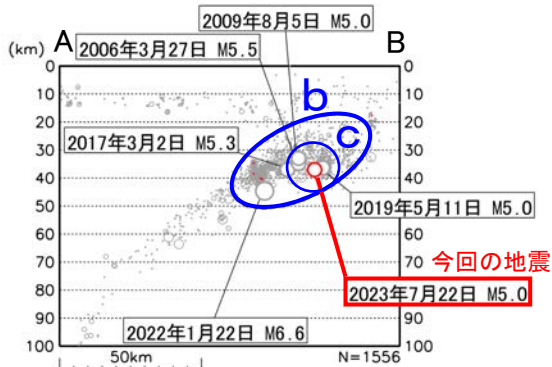
22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震（図9中のa）が発生し、大分県佐伯市及び高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方及び中国地方で震度3～1を観測した（p. 4、15参照）。

7月22日 日向灘の地震

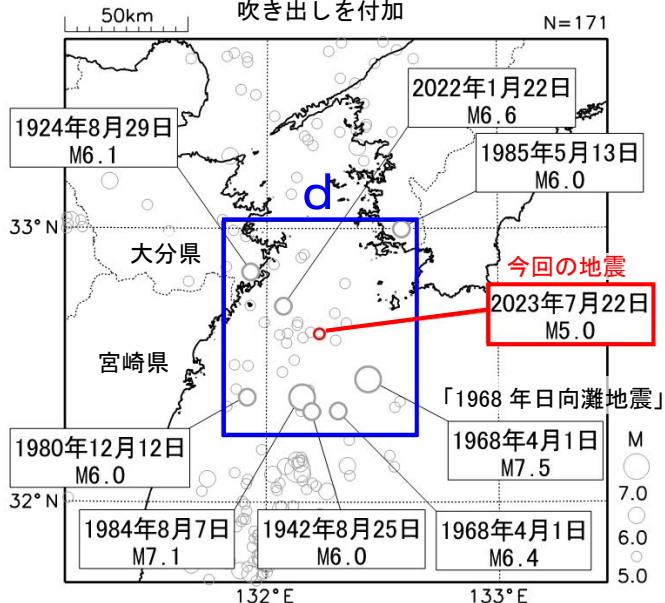
震央分布図
(1994年10月1日～2023年7月31日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2023年7月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2023年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
今回の地震と領域d内のM6.0以上の地震に
吹き出しを付加

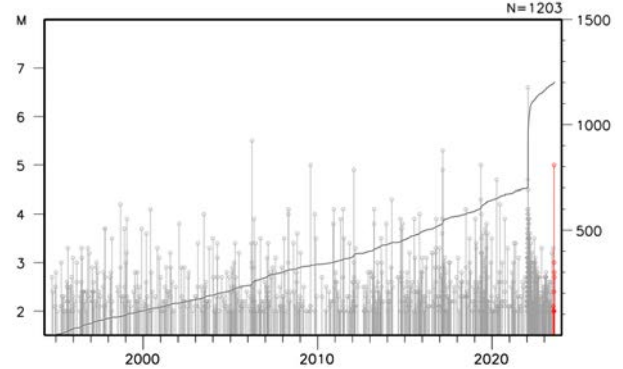


2023年7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

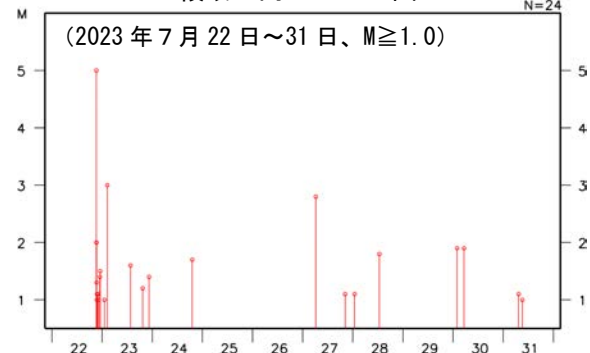
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め6回発生している。2022年1月22日に発生したM6.6の地震 (最大震度5強) では、負傷者13人、住家半壊2棟、住家一部破損599棟の被害が生じた (令和5年3月24日現在、総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域d) ではM6.0以上の地震が8回発生している。1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」 (M7.5、最大震度5) では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。この地震により、大分県の蒲江で240cm (全振幅) の津波を観測した (「日本被害津波総覧」による)。

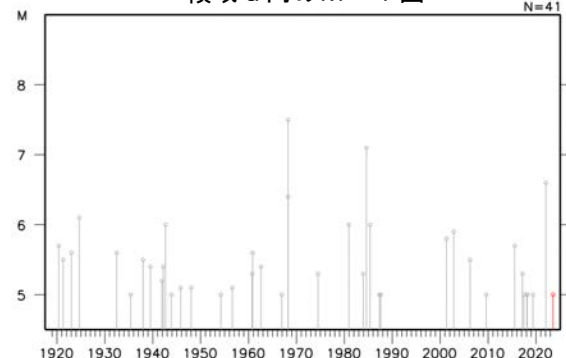
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



領域d内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

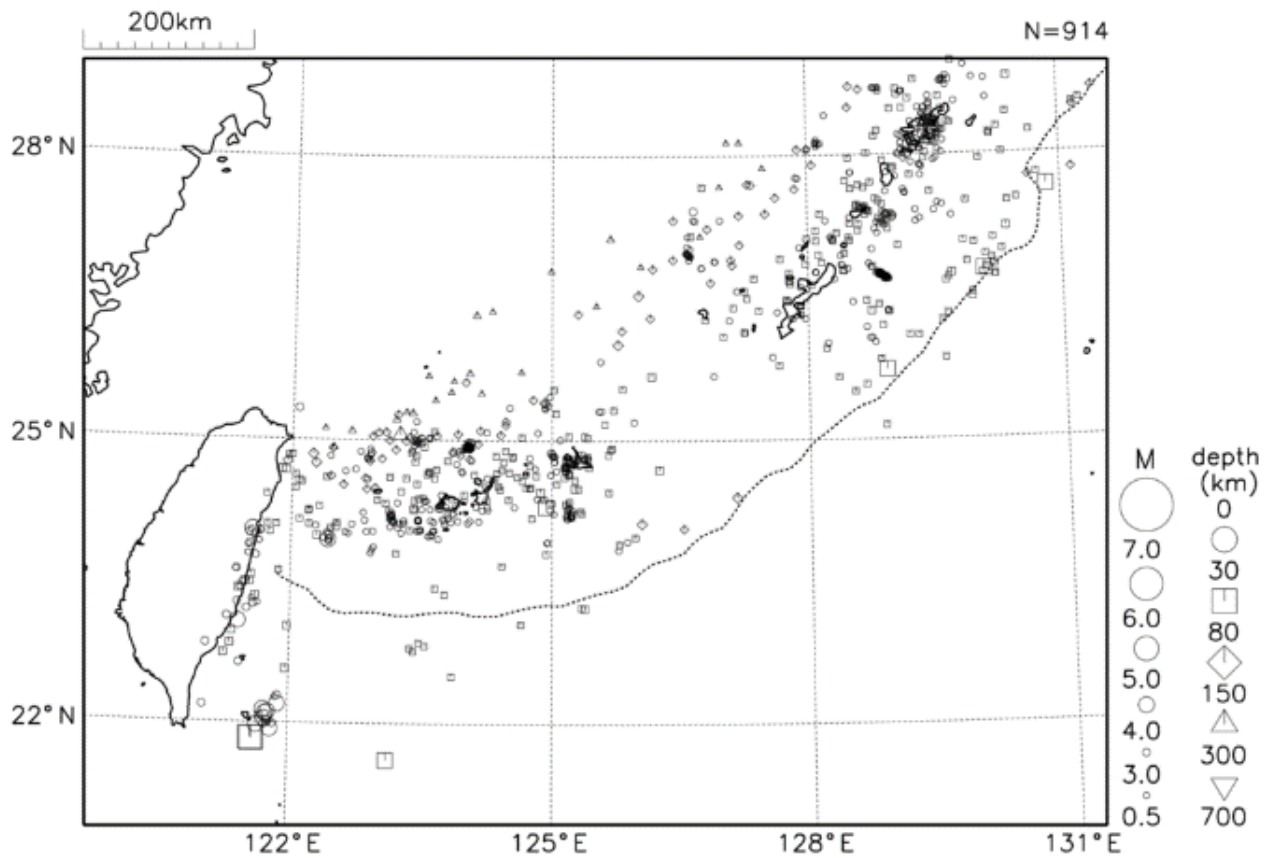


図10 沖縄地方の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は2回（6月は4回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

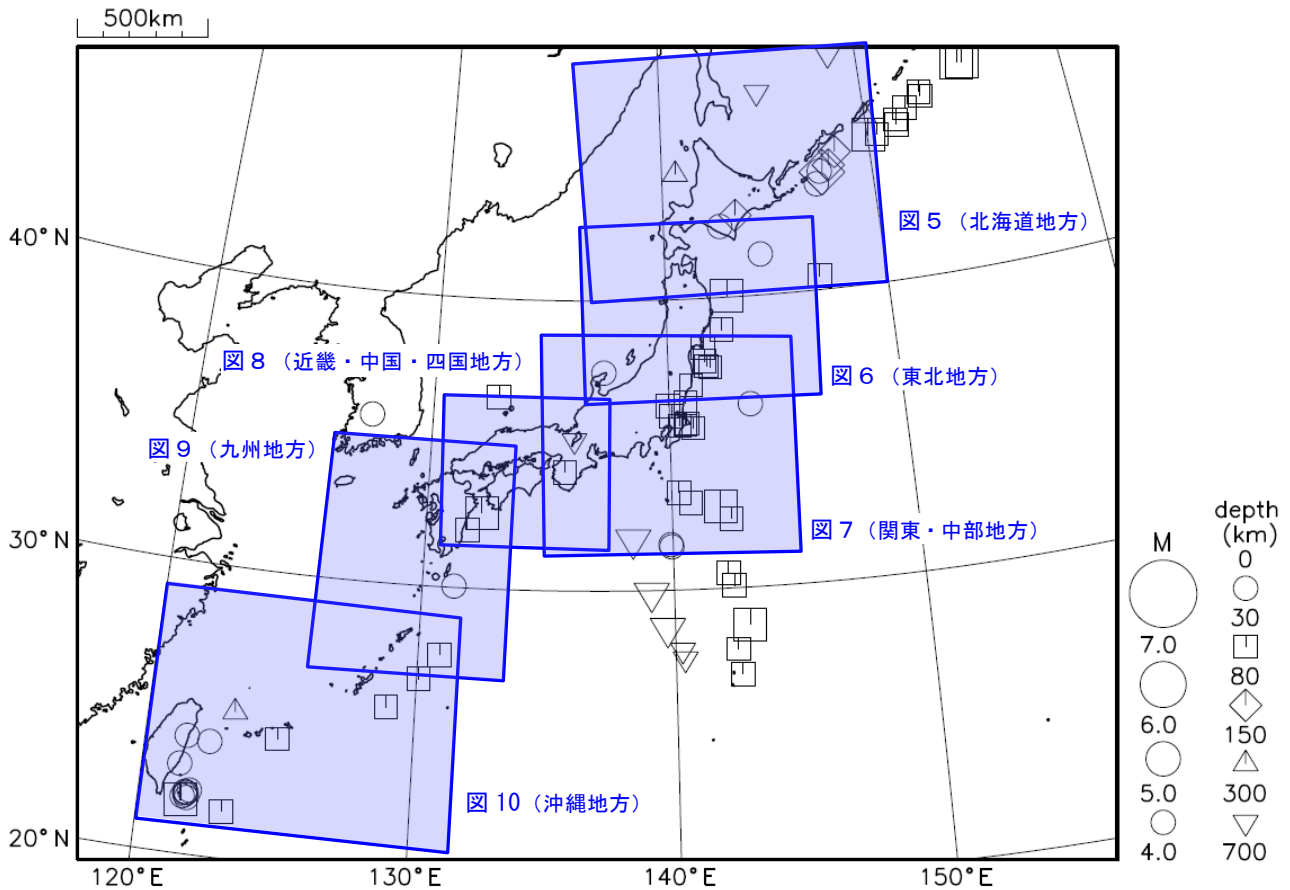


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年7月1日～7月31日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

7月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（6月は2回）。

7月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第70回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第448回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和5年8月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.20に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmを震源とするM5.0の地震が発生しました。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）四国東部から四国中部：6月18日から7月10日
- （2）紀伊半島北部から紀伊半島中部：7月15日から23日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られました。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2023年初頭から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近では鈍化しているように見えます。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

7月22日に発生した日向灘の地震は、フィリピン海プレート内部で発生した地震で、その規模から南海トラフ沿いのプレート間の固着状態の特段の変化を示すものではないと考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2023年初頭からの九州南部の地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び日向灘南部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、日向灘南部周辺の長期的ゆっくりすべりは、最近では鈍化しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

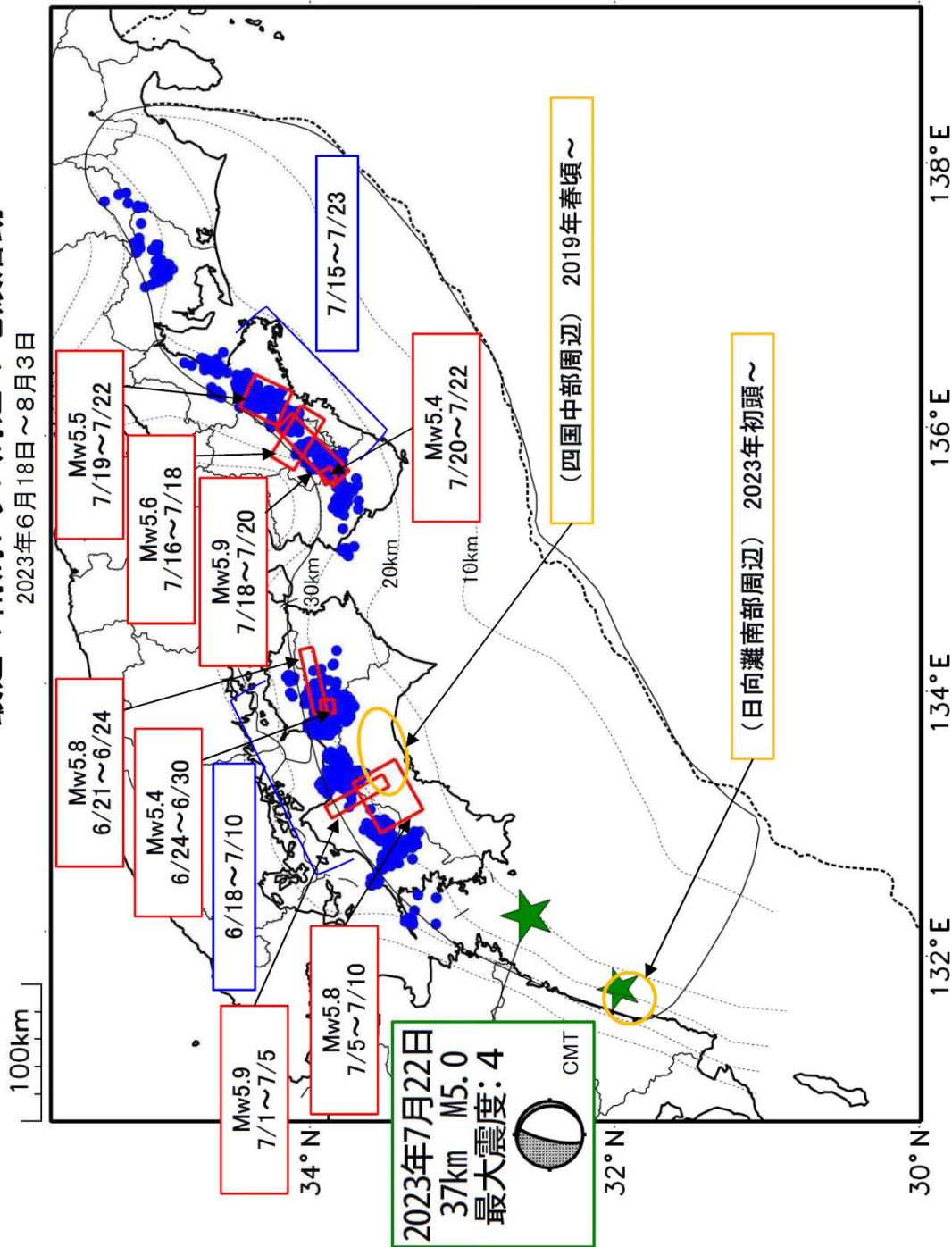
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年6月18日～8月3日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリ
ン海プレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり……………【紀伊半島北部から紀伊半島中部、四国東部から四国中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年7月）

口永良部島では、10日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替え、古岳火口から概ね2kmの範囲をこれまでの警戒範囲に追加しました。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和5年8月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ペヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、霧島山（新燃岳）、霧島山（大幡池）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

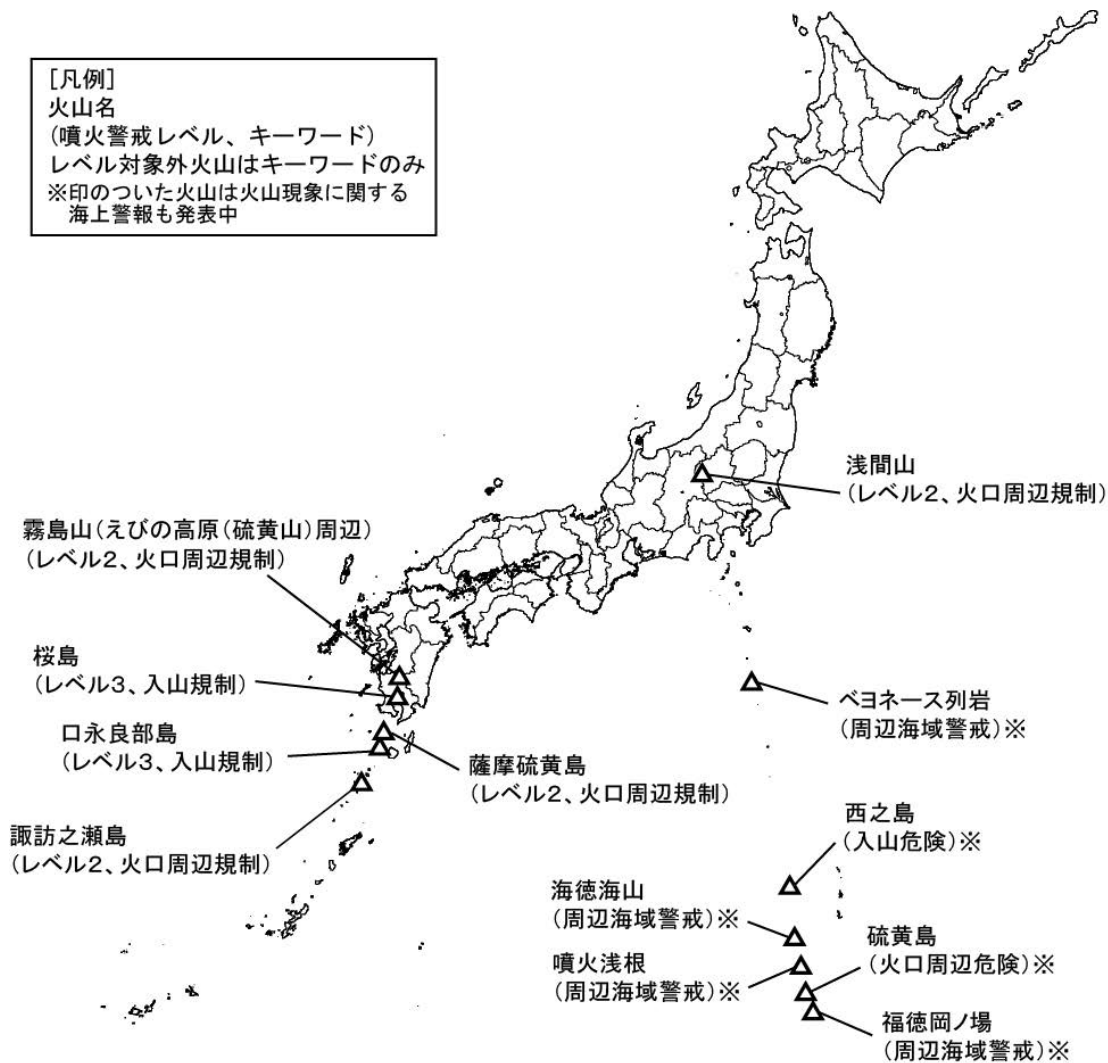


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が継続しています。また、火山性地震や火山ガス（二酸化硫黄）放出量は3月下旬以降、それ以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ペヨネース列岩【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ペヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測では、9日から10日にかけて噴火が確認されました。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

えびの高原（硫黄山）周辺では、GNSS連続観測で硫黄山近傍の基線において、2023年5月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられています。そのなかで、硫黄山付近において、7日16時50分に火山性微動が発生しました。

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は5月上旬に増加しやや多い状態で経過していましたが、6月以降はやや減少し概ね少ない状態で経過しています。

火山活動が高まっていると考えられることから、7日17時15分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

硫黄山火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

昭和火口では、噴火¹⁾が8回発生し、爆発は3回でした。噴煙は最高で火口縁上2,500mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目（昭和火口より約600m）まで達しました。

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】←10日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切替え。

口永良部島では、6月下旬頃から古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が多い状態となっていました。7月9日からさらに増加しており、振幅もやや大きくなっています。

新岳に加えて古岳においても噴火の可能性が高まったことから、10日16時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え、古岳火口から概ね2kmの範囲をこれまでの警戒範囲に追加しました。新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,700mまで上がりました。期間中、爆発は発生せず、弾道を描いて飛散する大きな噴石も観測されませんでした。

GNSS連続観測では、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（1）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（２）その他の活火山

以下の活火山（＊印及び＊＊印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

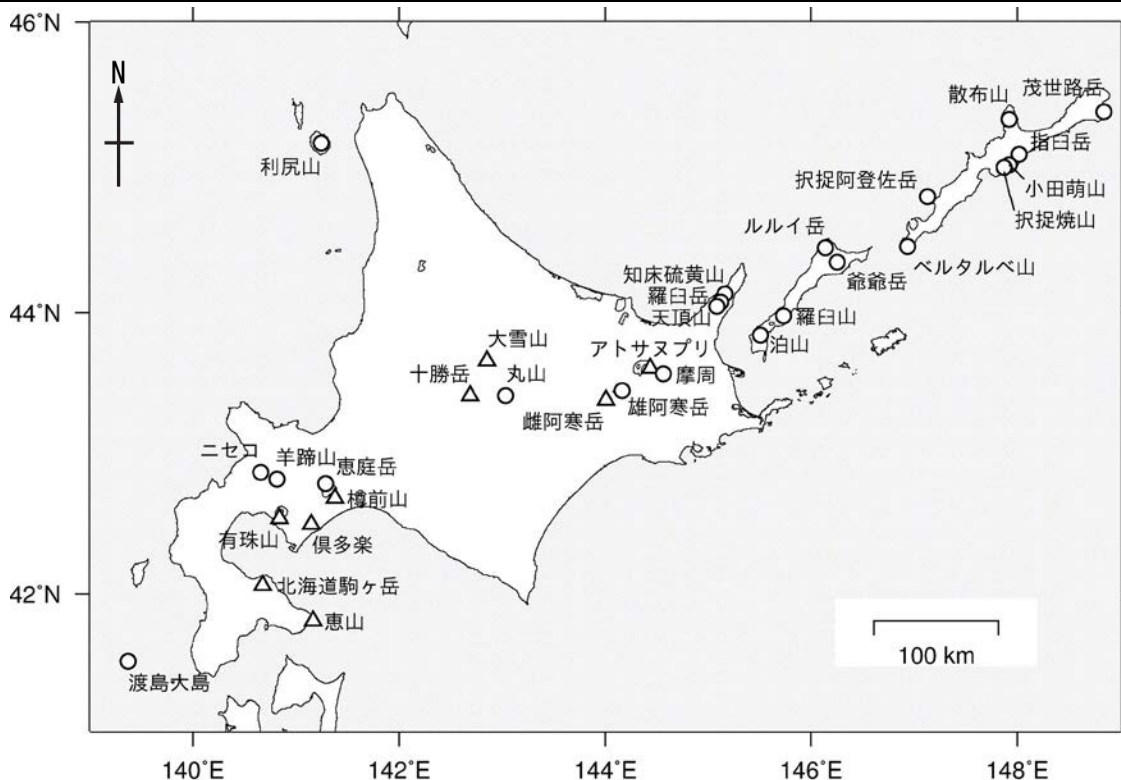
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年7月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2021 年頃から山体浅部の収縮を示すと考えられる地殻変動が続いており、62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多い状態です。また、2023 年2月以降、火口浅部の地震の一時増加や火山性微動、これらと同期した傾斜変動が時々観測されています。これらのことから、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年7月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震の一時的な増加がありました、その他の火山活動に特段の変化は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で認められていた 2020 年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022 年終わり頃から鈍化しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に留意してください。

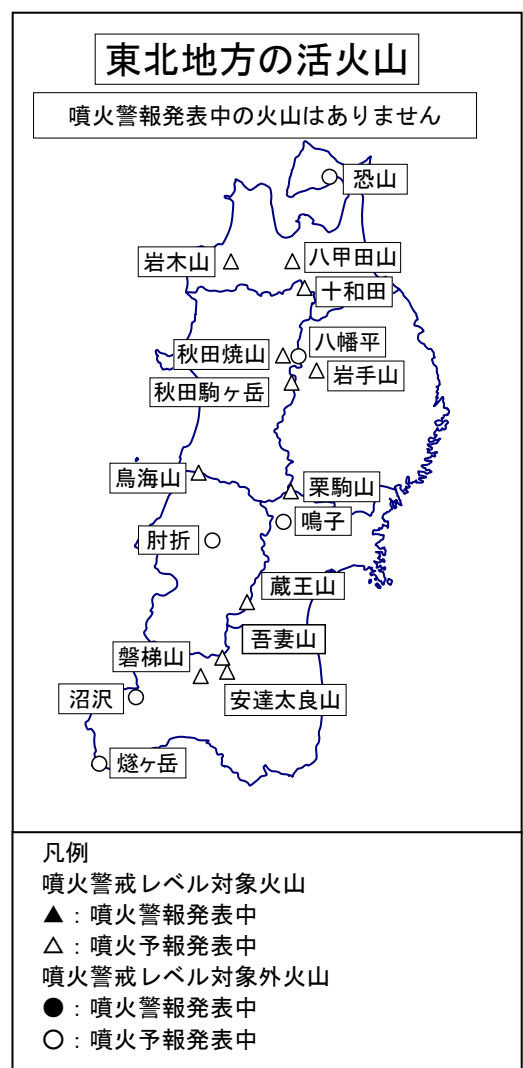
岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち ^{めだけ} 女岳 付近では 2015 年頃にかけて地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、地震活動や熱活



動がやや高まった状態で経過していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要です。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

大穴火口付近では、低周波地震の発生頻度が再び高くなっています。また、大穴火口浅部の緩やかな膨張を示唆する変化が認められています。大穴火口周辺浅部の温度上昇を示唆する変化等も引き続きみられるなど、浅部の熱水活動がやや活発になっていますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震が多い状態で経過し、6日には一時的に火山性地震の増加がみられました。GNSS連続観測では、2022年後半から山体膨張を示すわずかな変化が認められています。今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

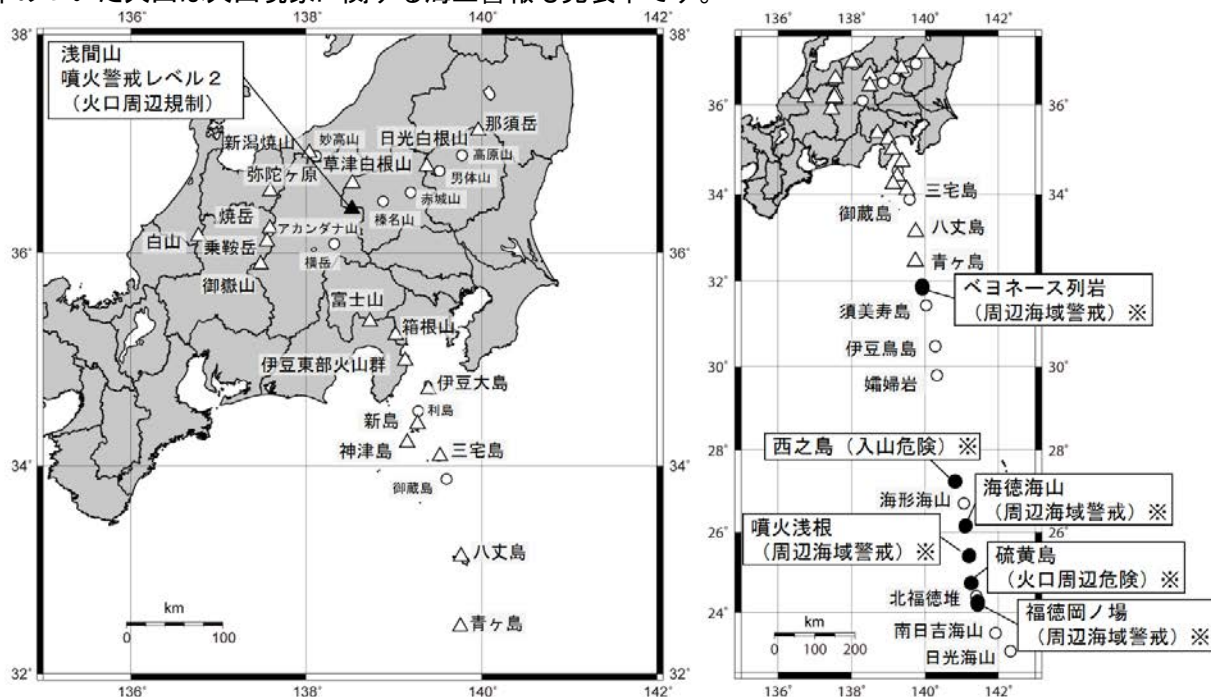
管内月間火山概況（令和5年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例

噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が継続しています。また、火山性地震や火山ガス（二酸化硫黄）放出量は3月下旬以降、それ以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は概ね低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

6日に北部を震源とする火山性地震が増加しましたが、7日以降、地震回数は減少しています。熱活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2023年に入り停滞していますが、引き続き地下のマグマの蓄積は進んでいると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性があります。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やバースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測では、9日から10日にかけて噴火が確認されました。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

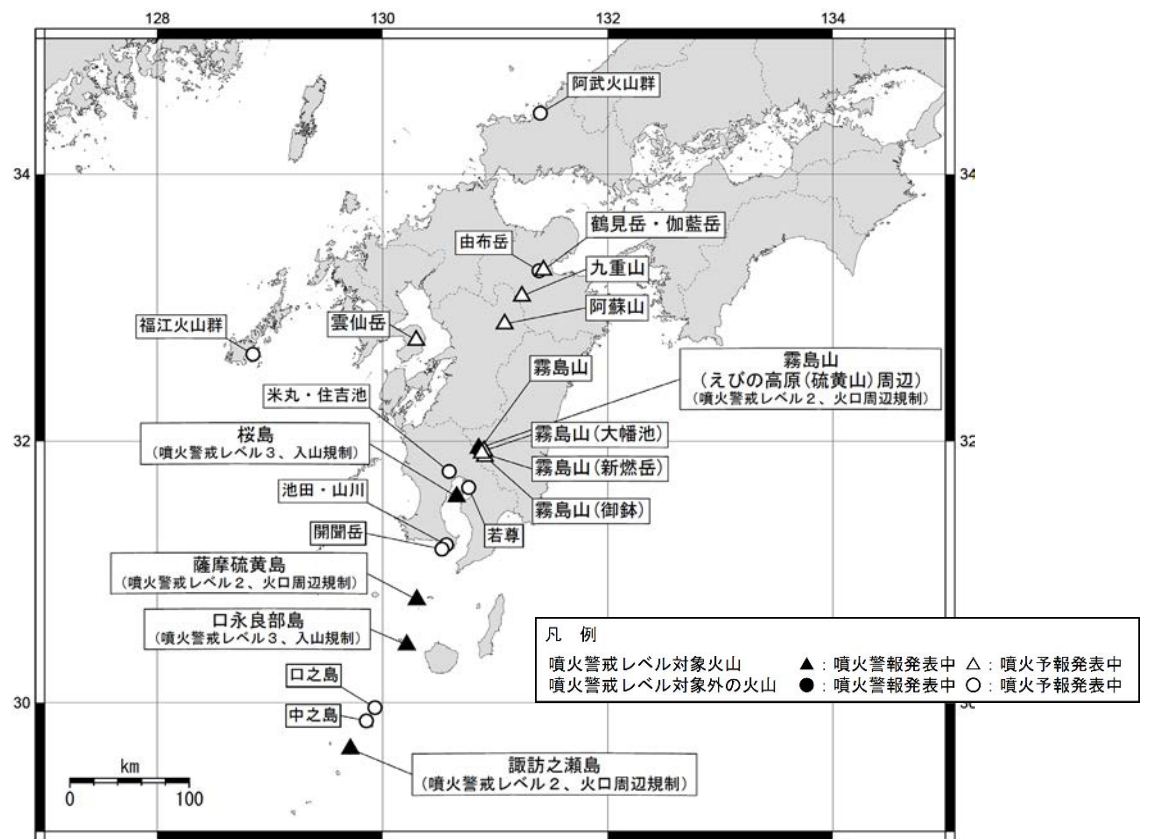
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年7月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、 ^{よねまる} 米丸・住吉池、 ^{わかみこ} 若尊、池田・山川、 ^{かいもん} 開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

口永良部島では、10日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替えました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は概ね小さい状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は4月以降少ない状態となっています。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2023年1月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

←7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に上げ。

えびの高原（硫黄山）周辺では、GNSS 連続観測で硫黄山近傍の基線において、2023年5月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられています。そのなかで、硫黄山付近において、7日16時50分に火山性微動が発生しました。

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は5月上旬に増加しやや多い状態で経過していましたが、6月以降はやや減少し概ね少ない状態で経過しています。

火山活動が高まっていると考えられることから、7日17時15分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

硫黄山火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おおはたいけ
霧島山（大幡池）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

きりしまやま しんもえだけ
霧島山（新燃岳）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022 年 11 月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023 年 4 月以降は停滞しています。

火山活動は低下した状態であり噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま
桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

昭和火口では、噴火²⁾が8回発生し、爆発³⁾は3回でした。噴煙は最高で火口縁上 2,500mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目（昭和火口より約600m）まで達しました。

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま
薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←10日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、火口周辺規制）を切替え。

口永良部島では、6月下旬頃から古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が多い状態となっていました。7月9日からさらに増加しており、振幅もやや大きくなっています。

新岳に加えて古岳においても噴火の可能性が高まったことから、10日16時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え、古岳火口から概ね2kmの範囲をこれまでの警戒範囲に追加しました。新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,700mまで上がりました。期間中、爆発は発生せず、弾道を描いて飛散する大きな噴石も観測されませんでした。

GNSS連続観測では、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

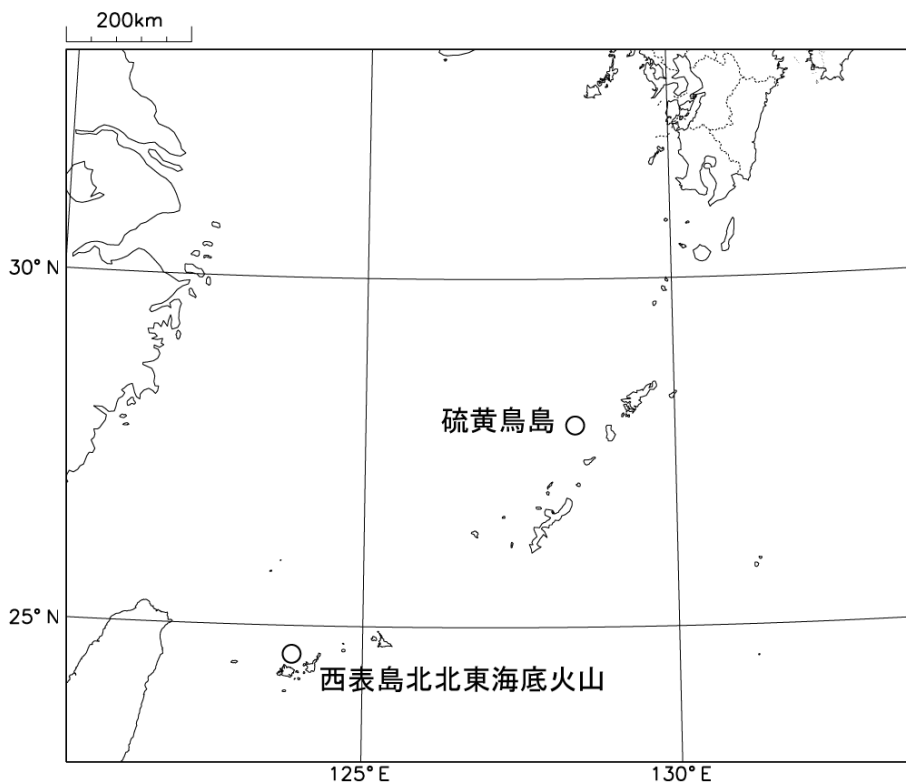
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和5年7月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第68～80号	1～3日、7日、10日、 14日、17日、21日、24日 26日 16時00分 28日、31日 12時10分 16時00分	噴火活動が継続。昭和火口の噴火、爆発、 噴煙、大きな噴石飛散の状況。南岳山頂火 口のごく小規模な噴火、火映の状況。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放 出量。 火山性地震、微動の発生状況。 島内の傾斜計及び伸縮計で、6月27日か ら山体膨張を示すわずかな地殻変動が観 測されたが、30日頃から緩やかな収縮に 転じて膨張は概ね解消したとみられる。 7月23日頃から島内の南西側を震源と する火山性地震がやや増加し、26日に最 大震度2の地震が発生、その後もやや多 い状態で経過。傾斜計及び伸縮計では特 段の変化は認められない。 GNSS連続観測では、長期にわたり始良カ ルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな 基線の伸びがみられる。始良カルデラ地 下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	17日 12時55分	噴火発生から1時間以内に予想される、 降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	17日 13時18分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと） に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第18～21号	3日、7日 16時00分 9日 10時20分 16時00分	火山性地震は多い状態。震源は山体の浅 いところ、主に古岳付近で、新岳火口付 近でも時折発生。 1日の現地調査で、新岳火口西側割れ目 付近の地熱域に特段の変化なし。古岳の 山頂部も確認できる範囲で変化なし。火 山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない。 国土地理院によると、6月30日の「だい ち2号」衛星 SAR データの解析から、古 岳火口周辺数百mの範囲で衛星に近づく 変動が認められた。
		火口周辺警報	10日 16時00分	噴火警戒レベル3を切替え。警戒が必要 な範囲に、古岳火口での噴火による影響 範囲を追加。 古岳付近の浅いところで火山性地震が6 月下旬頃から多い状態、9日からさらに 増加し、振幅もやや大きくなっている。新 岳に加え、古岳においても噴火の可能性 がある。 新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範 囲で、大きな噴石及び火砕流に警戒。向江 浜地区から新岳の南西にかけての火口か ら海岸までの範囲で、火砕流に警戒。
		解説情報 第22～34号	10日 16時15分 11日～18日 16時00分 21日 16時15分 24日、28日、31日 16時00分	古岳付近の浅いところで火山性地震が6 月下旬頃から多い状態。9日からさらに 増加し、振幅がやや大きい地震もときど き発生。17日以降はやや減少し、依然と して多い状態が継続。 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、20日 は100t/日でやや多い。 監視カメラでは新岳で白色の噴煙を観 測。19～21日の現地観測で古岳でも白色 噴煙を観測。 「だいち2号」の衛星 SAR データの解析 から、古岳火口付近でわずかな膨張性 の変動が観測されている。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第44～52号	3日、7日、10日、14 日、17日、21日、24日、 28日、31日 16時00分	3日頃から5日頃にかけて山体西側での膨張と考えられる傾斜変動が大きくなり、変化率は6月16～23日頃と同程度。4日以降火山性地震が増加。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は、6日は200t/dayで前回までの概ね多い状態から顕著に減少。3日以降、観測データに様々な変化が見られた。山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動は継続。火山性地震や火山ガス(二酸化硫黄)放出量は3月下旬以降、それ以前に比べて多い状態が継続。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第27～31号	3日、10日、17日、24 日、31日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第57～61号	3日、10日、17日、24 日、31日 16時00分	噴火活動が継続。噴火、大きな噴石飛散の状況。集落での降灰の状況。爆発の発生はなし。火山性地震、微動の発生状況。地殻変動には特段の変化はない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)		(前月から継続)	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	7日 17時15分	硫黄山では、近傍のGNSS基線で5月頃から山体浅部の膨張と考えられるわずかな伸びがみられる中、7日16時50分に火山性微動が発生。硫黄山火口から概ね1kmの範囲では、大きな噴石に警戒。
		解説情報 第1～11号	7日 17時38分 8日、9日 16時00分 10日 16時20分 11日、14日、17日、21 日、24日、28日、31日 16時00分	硫黄山では、近傍のGNSS基線で5月頃から山体浅部の膨張と考えられるわずかな伸びがみられる中、7日16時50分に火山性微動が発生。火山性微動は2018年6月19日以来。浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過。南側の噴気地帯では活発な噴気活動が継続。
雌阿寒岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第3～5号	1～3日 16時00分	6月29～30日にボンマチネシリ火口付近で火山性地震が一時的に増加したが、7月1日以降は少なく経過。噴気や地殻変動には特段変化なし。2日の現地調査で、ボンマチネシリ火口周辺の温度等に特段変化なし。
十勝岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1～11号	5日 11時15分 16時00分 6～10日 16時00分 21日 14時20分 22日 16時15分 23～24日 16時00分	4日に火山性微動が発生し、微動に伴いわずかな傾斜変動を観測。以降、62-2火口付近のごく浅い所で火山性地震がやや増加したが、8日02時以降は少なく経過。地殻変動観測には特段の変化なし。21日にわずかな傾斜変動を伴う地震が発生し、その後火山性地震が一時的に増加したが、22日以降は少なく経過。震源は62-2火口付近のごく浅い所と推定。
十和田	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1号	6日 10時15分	6日07時30分頃から火山性地震が増加、震源は中湖付近の深さ6km付近。低周波地震や火山性微動は観測されず、地殻変動にも特段の変化はない。監視カメラにでも特段の異常はない。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第10号	18日 10時10分	大穴火口付近で低周波地震が7月上旬頃から再び増加。浄土平の傾斜計では、3月上旬以降、大穴火口方向の隆起を示す緩やかな変化がみられる。

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第28～31号	7日 12時00分 8～9日 16時00分 10日 16時20分	7日7時頃から、火山性微動の振幅が1 から3時間程度の間隔で大きくなる現象 が繰り返す。8日以降は5～15分程度の やや大きい状態と、それ以外は小さい状 態、9日以降は5～15分程度のやや大き い状態と30分程度の小さい状態の繰り 返し。 10日の現地調査で、中岳第一火口内の湯 だまり中央部で火山性微動の増大時に明 瞭な噴湯現象を確認。噴煙は白色。地殻変 動には特段の変化なし。更なる活発化は 認められない。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日
02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
は、7日20時に発表を開始した。

● 世界の主な地震

令和5年（2023年）7月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

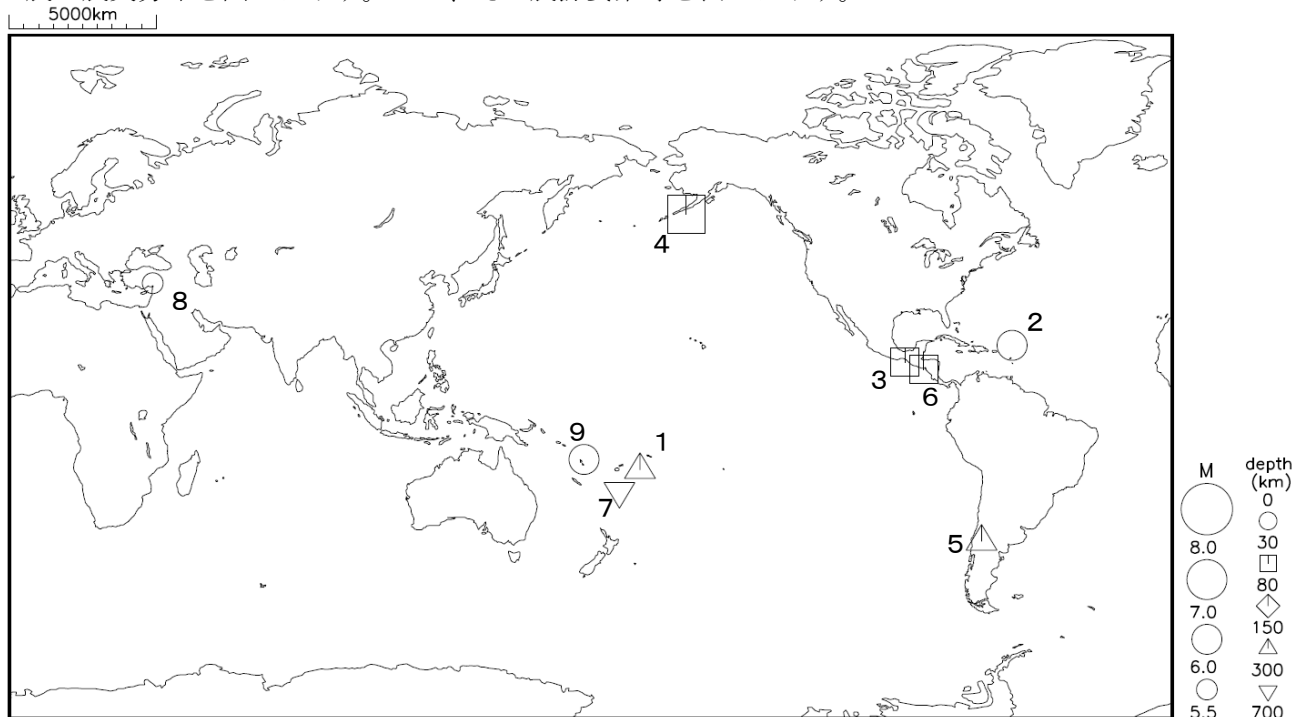


図1 令和5年（2023年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月02日19時27分	S17° 52.8′	W174° 56.9′	229			6.9	トンガ諸島			
2	07月11日05時28分	N20° 02.3′	W 61° 04.9′	14			6.6	北大西洋			
3	07月14日18時29分	N15° 02.0′	W 93° 52.6′	35			6.3	メキシコ、チアパス州沿岸			
4	07月16日15時48分	N54° 27.5′	W160° 45.6′	33			7.2	米国、アラスカ半島	津波観測0.15m(サンドポイントなど)		○
5	07月17日12時05分	S38° 11.1′	W 70° 25.5′	186			6.6	アルゼンチン南部			
6	07月19日09時22分	N12° 48.8′	W 88° 07.5′	70			6.5	中央アメリカ沖			
7	07月24日11時49分	S24° 08.2′	E178° 45.7′	546			6.0	フィジー諸島南方			
8	07月25日14時44分	N37° 34.5′	E 35° 57.0′	12			5.5	トルコ	負傷者5人など		
9	07月26日21時44分	S14° 45.3′	E167° 55.1′	13			6.4	バヌアツ諸島		○	

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2023年8月7日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年8月7日現在)、国内は総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric administrations)による(2023年8月7日現在)。

● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）7月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和5年（2023年）7月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年7月中に震度1以上を観測した地震は129回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「f」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 17	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=0.6	37° 31.7' N	137° 19.1' E	13km	M: 2.5
2	1 02 57	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市下地*=1.8 1 宮古島市伊良部前里添=1.3 宮古島市上野支所*=1.3 宮古島市平良西里*=1.0 宮古島市下地島空港*=1.0 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市城辺北=0.8 宮古島市平良狩俣*=0.5	24° 17.8' N	124° 55.8' E	56km	M: 4.2
3	1 23 38	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎*=1.8 神栖市溝口*=1.6 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 茨城鹿嶋市宮中*=1.2 潮来市辻*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 稲敷市須賀津*=1.0 潮来市堀之内=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.8 土浦市常名=0.7 筑西市舟生=0.7 鉾田市鉾田=0.7 石岡市柿岡=0.7 笠間市石井*=0.6 千葉県 2 銚子市小畑新町=2.2 銚子市若宮町*=2.0 旭市南堀之内*=2.0 銚子市川口町=1.9 香取市仁良*=1.8 旭市萩園*=1.7 旭市高生*=1.7 旭市二*=1.6 香取市羽根川*=1.5 1 匝瑳市八日市場ハ*=1.4 香取市役所*=1.4 いすみ市岬町長者*=1.4 東金市日吉台*=1.3 匝瑳市今泉*=1.3 香取市佐原平田=1.3 九十九里町片貝*=1.3 山武市蓮沼ニ*=1.3 山武市蓮沼ハ*=1.3 睦沢町下之郷*=1.3 多古町多古=1.2 横芝光町宮川*=1.2 長南町総合グラウンド=1.2 市原市姉崎*=1.2 山武市松尾町五反田*=1.1 山武市殿台*=1.1 いすみ市国府台*=1.1 芝山町小池*=1.1 山武市松尾町富士見台=1.0 大網白里市大網*=1.0 香取市佐原諏訪台*=1.0 山武市埴谷*=1.0 東庄町笹川*=1.0 東金市東新宿=0.9 君津市久留里市場*=0.9 一宮町一宮=0.8 勝浦市墨名=0.8 千葉中央区中央港=0.8 千葉美浜区ひび野=0.8 成田市市古屋=0.7 鴨川市横渚*=0.6 千葉若葉区小倉台*=0.6 勝浦市新官*=0.6 館山市長須賀=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=0.9 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.6	35° 33.2' N	140° 59.2' E	36km	M: 4.9
4	2 02 57	兵庫県南東部 京都府 2 亀岡市安町=1.6 1 南丹市八木町八木*=0.6 大阪府 2 能勢町森上*=2.0 兵庫県 2 三田市下里*=1.9 1 猪名川町紫合*=1.1 丹波篠山市杉*=0.7	34° 57.1' N	135° 22.3' E	6km	M: 3.3
5	2 04 16	兵庫県南東部 大阪府 1 能勢町森上*=0.8	34° 57.1' N	135° 22.3' E	7km	M: 2.4
6	2 16 30	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市松代*=1.0	37° 05.8' N	138° 38.6' E	9km	M: 2.0
7	2 21 49	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.7	36° 05.1' N	141° 05.2' E	38km	M: 3.4
8	2 21 58	紀伊水道 和歌山県 2 海南市下津（旧）*=2.0 有田市初島町*=1.7 1 和歌山市一番丁*=1.4 和歌山市男野芝丁=1.0 有田市箕島=0.9 紀美野町下佐々*=0.8 和歌山広川町広*=0.7	34° 09.3' N	135° 05.2' E	9km	M: 3.3
9	2 23 53	福井県嶺北 福井県 1 大野市貝皿*=1.1 岐阜県 1 郡上市白鳥町長滝*=0.5	35° 54.2' N	136° 41.7' E	10km	M: 3.0
10	3 03 09	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市鏡町*=0.9 八代市平山新町=0.8 八代市新地町*=0.5	32° 28.2' N	130° 38.1' E	9km	M: 3.1
11	3 09 36	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*=0.9	34° 01.7' N	135° 15.3' E	5km	M: 2.0
12	3 13 34	長野県北部 長野県 2 飯綱町芋川*=2.0 信濃町柏原東裏*=1.7 長野市箱清水=1.7 長野市鶴賀緑町*=1.5	36° 40.2' N	138° 13.2' E	8km	M: 3.1

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		1 須坂市須坂*=1.3 長野市戸隠*=0.9 長野市豊野町豊野*=0.8 中野市豊津*=0.6				
13	3 15 22	熊本県熊本地方 福岡県 1 大牟田市昭和町*=0.6 熊本県 1 和水町江田*=0.5	33° 00.8' N	130° 34.5' E	10km	M: 2.5
14	3 16 44	長野県北部 長野県 2 飯綱町芋川*=1.5 1 長野市箱清水=1.3 長野市戸隠*=1.1 信濃町柏原東裏*=1.1 長野市鶴賀緑町*=1.0 須坂市須坂*=0.8 長野市豊野町豊野*=0.5 千曲市杭瀬下*=0.5	36° 40.2' N	138° 13.3' E	7km	M: 3.0
15	5 01 32	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=1.0	28° 41.4' N	139° 41.9' E	454km	M: 5.5
16	6 01 43	和歌山県北部 和歌山県 1 有田市初島町*=1.2 海南市下津（旧）*=0.8	34° 06.0' N	135° 10.9' E	6km	M: 2.3
17 (注)	6 01 49 6 01 49	日高地方中部 日高地方中部 北海道 2 新ひだか町静内山手町=2.3 新冠町北星町*=2.1 新ひだか町静内御幸町*=2.1 新ひだか町三石旭町*=1.9 むかわ町穂別*=1.7 浦河町野深=1.6 1 安平町早来北進*=1.4 浦河町潮見=1.4 新ひだか町静内御園=1.3 浦河町築地*=1.2 平取町振内*=1.1 厚真町京町*=1.1 厚真町鹿沼=1.0 新ひだか町静内農屋*=1.0 安平町追分柏が丘*=0.8 札幌東区元町*=0.8 千歳市支笏湖温泉*=0.7 様似町栄町*=0.6 新得町2条*=0.6 胆振伊達市大滝区本町*=0.5 江別市緑町*=0.5	42° 26.5' N 42° 27.1' N	142° 36.4' E 142° 36.3' E	23km 23km	M: 4.3 M: 3.1
18	6 18 57	奈良県 三重県 1 津市美杉町八知*=1.0 紀宝町神内*=1.0 熊野市紀和町板屋*=0.8 三重紀北町相賀*=0.8 尾鷲市南陽町=0.6 熊野市有馬町*=0.6 尾鷲市中央町*=0.5 松阪市魚町*=0.5 奈良県 1 御杖村菅野*=0.5 吉野町上市*=0.5 和歌山県 1 新宮市新宮=0.7	34° 12.3' N	135° 55.1' E	48km	M: 3.4
19	7 00 32	群馬県南部 群馬県 1 伊勢崎市西久保町*=0.5 太田市大原町*=0.5	36° 21.3' N	139° 09.1' E	16km	M: 2.4
20	7 01 43	上川地方中部 北海道 1 美瑛町本町*=0.8	43° 35.4' N	142° 29.2' E	7km	M: 1.3
21	7 06 59	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東*=2.0 1 根室市厚床*=0.9 根室市瑤瑤瑠*=0.9 根室市牧の内*=0.8 別海町本別海*=0.7 標津町北2条*=0.5	43° 24.8' N	146° 08.1' E	60km	M: 3.7
22	7 13 50	滋賀県北部 岐阜県 1 揖斐川町東杉原*=0.7	35° 35.3' N	136° 18.5' E	38km	M: 2.8
23	7 13 59	岩手県沖 青森県 1 五戸町古館=0.5 青森南部町苔米地*=0.5	40° 16.7' N	142° 27.8' E	35km	M: 3.9
24	7 22 44	十勝地方北部 北海道 1 陸別町陸別*=0.6	43° 30.5' N	143° 47.1' E	8km	M: 3.0
25	8 03 31	佐渡付近 新潟県 1 佐渡市小木町*=1.3 佐渡市羽茂本郷*=1.1 佐渡市赤泊*=1.0 佐渡市河原田本町*=0.8 佐渡市真野新町*=0.5	37° 47.1' N	138° 24.4' E	21km	M: 3.5
26	8 11 19	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.4	37° 30.3' N	137° 13.6' E	12km	M: 2.9
27	8 13 35	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 阿蘇市一の宮町*=0.5 南阿蘇村中松=0.5	32° 54.4' N	131° 02.6' E	6km	M: 2.4
28	8 13 37	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.7 1 釜石市只越町=1.4 釜石市中妻町*=1.4 住田町世田米*=1.3 一関市千厩町*=1.2 陸前高田市高田町*=1.1 山田町大沢*=1.0 大船渡市大船渡町=1.0 大船渡市猪川町=1.0 遠野市青笹町*=0.9 一関市大東町=0.9 平泉町平泉*=0.8 一関市藤沢町*=0.8 奥州市胆沢*=0.7 一関市東山町*=0.7 北上市相去町*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 栗原市栗駒=0.8 登米市豊里町*=0.8 栗原市若柳*=0.7 大崎市田尻*=0.6 登米市東和町*=0.5	38° 54.0' N	142° 23.9' E	48km	M: 4.1
29	8 16 00	十勝地方中部 北海道 1 浦幌町桜町*=0.7	42° 49.2' N	143° 47.4' E	36km	M: 2.9

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
30	8 21 36	能登半島沖 石川県 3 珠洲市正院町※=3.0 2 珠洲市三崎町=2.1 珠洲市大谷町※=2.0 能登町松波※=1.9 1 輪島市鳳至町=1.1 七尾市本府中町=0.6 輪島市河井町※=0.6 輪島市門前町走出※=0.6 富山県 1 穴水町大町※=0.5 1 舟橋村仏生寺※=0.7 立山町芦峯寺※=0.6	37° 31.2' N	137° 13.4' E	13km	M: 4.0
31	9 03 35	秋田県内陸北部 青森県 1 平川市碓ヶ関※=0.8	40° 25.5' N	140° 37.7' E	4km	M: 1.7
32	9 04 22	有明海 熊本県 1 玉名市天水町※=1.2 玉名市横島町※=1.1 熊本西区春日=0.9 玉名市中尾※=0.7 玉東町木葉※=0.6 宇城市不知火町※=0.6 玉名市岱明町※=0.6 熊本北区植木町※=0.5	32° 48.1' N	130° 33.1' E	12km	M: 3.0
33	9 20 44	千葉県南東沖 千葉県 1 大多喜町大多喜※=1.2 館山市北条※=1.1 勝浦市墨名=1.0 館山市長須賀=0.9 勝浦市新官※=0.8 富津市下飯野※=0.8 市原市姉崎※=0.7 木更津市富士見※=0.7 南房総市白浜町白浜※=0.7 鴨川市八色=0.7 鴨川市横渚※=0.7 千葉美浜区ひび野=0.6 一宮町一宮=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.7 神奈川県 1 平塚市浅間町※=1.2 三浦市城山町※=1.2 横須賀市光の丘=1.1 横浜金沢区白帆※=1.1 厚木市中町※=1.0 横浜中区山手町=0.9 横浜金沢区釜利谷南※=0.8 中井町比奈窪※=0.8 秦野市曽屋=0.6 横浜緑区十日市場町※=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 湯河原町中央=0.6 藤沢市朝日町※=0.5	34° 57.8' N	140° 20.5' E	73km	M: 3.8
34	9 21 56	茨城県沖 茨城県 1 東海村東海※=1.2 日立市助川小学校※=0.9 ひたちなか市南神敷台※=0.6	36° 14.2' N	140° 56.9' E	44km	M: 3.5
35	10 04 52	千葉県北東部 茨城県 2 神栖市溝口※=1.8 河内町源清田※=1.6 取手市井野※=1.6 1 笠間市石井※=1.4 小美玉市上玉里※=1.4 龍ヶ崎市役所※=1.4 小美玉市堅倉※=1.3 稲敷市結佐※=1.3 筑西市舟生=1.3 桜川市真壁※=1.3 稲敷市伊佐津※=1.2 石岡市柿岡=1.2 小美玉市小川※=1.2 取手市寺田※=1.2 つくばみらい市福田※=1.2 取手市藤代※=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 潮来市辻※=1.2 坂東市岩井=1.1 稲敷市江戸崎甲※=1.1 石岡市八郷※=1.1 つくば市小釜※=1.1 土浦市常名=1.1 かすみがうら市大和田※=1.1 かすみがうら市上土田※=1.1 笠間市中央※=1.1 つくばみらい市加藤※=1.1 水戸市内原町※=1.0 茨城鹿嶋市宮中※=1.0 潮来市堀之内=1.0 石岡市若宮※=1.0 利根町布川=1.0 行方市玉造※=1.0 笠間市下郷※=1.0 桜川市羽田※=1.0 石岡市石岡※=1.0 美浦村受領※=0.9 土浦市藤沢※=0.9 鉾田市鉾田=0.9 神栖市波崎※=0.9 稲敷市役所※=0.9 笠間市笠間※=0.8 桜川市岩瀬※=0.8 守谷市大柏※=0.8 日立市助川小学校※=0.8 筑西市門井※=0.6 つくば市天王台※=0.6 水戸市金町=0.5 埼玉県 2 さいたま緑区中尾※=1.6 1 川口市三ツ和※=1.3 春日部市谷原新田※=1.2 川口市中青木分室※=1.1 越谷市越ヶ谷※=1.1 蕨市中央※=1.1 八潮市中央※=1.1 宮代町笠原※=1.1 さいたま南区別所※=1.1 吉川市きよみ野※=1.0 春日部市粕壁※=1.0 戸田市上戸田※=0.9 三郷市中央※=0.9 さいたま大宮区大門※=0.9 春日部市金崎※=0.9 草加市中央※=0.9 白岡市千駄野※=0.8 朝霞市本町※=0.8 久喜市下早見=0.8 さいたま大宮区天沼町※=0.8 さいたま中央区下落合※=0.8 幸手市東※=0.7 加須市大利根※=0.7 鴻巣市吹上富士見※=0.7 和光市広沢※=0.7 さいたま浦和区高砂=0.7 加須市騎西※=0.7 富士見市鶴馬※=0.6 さいたま見沼区堀崎※=0.6 志木市中宗岡※=0.6 久喜市菖蒲※=0.6 さいたま西区指扇※=0.6 さいたま北区宮原※=0.6 狭山市入間川※=0.5 千葉県 2 東金市日吉台※=2.0 山武市殿台※=2.0 旭市南堀之内※=1.9 市川市本行徳※=1.9 九十九里町片貝※=1.8 山武市松尾町富士見台=1.7 多古町多古=1.7 千葉花見川区花島町※=1.7 香取市羽根川※=1.7 市原市姉崎※=1.7 香取市仁良※=1.7 千葉中央区中央港=1.6 東金市東新宿=1.6 千葉美浜区ひび野=1.6 芝山町小池※=1.6 千葉佐倉市海隣寺町※=1.6 香取市役所※=1.6 市原市国分寺台中央※=1.6 印西市笠神※=1.6 いすみ市国府台※=1.6 東金市東岩崎※=1.6 山武市蓮沼ニ※=1.6 山武市埴谷※=1.6 一宮町一宮=1.5 八千代市大和田新田※=1.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.5 浦安市日の出=1.5 印西市大森※=1.5 横芝光町栗山※=1.5 白井市復※=1.5 長南町総合グラウンド=1.5 1 旭市萩園※=1.4 東庄町笹川※=1.4 白子町関※=1.4 横芝光町宮川※=1.4 山武市松尾町五反田※=1.4 大網白里市大網※=1.4 船橋市湊町※=1.4 浦安市猫実※=1.4 君津市久留里市場※=1.4 野田市鶴泰※=1.3 木更津市富士見※=1.3 南房総市岩糸※=1.3 山武市蓮沼ハ※=1.3 千葉美浜区稲毛海岸※=1.3 成田市松子※=1.2 八街市八街※=1.2 館山市北条※=1.2 富津市下飯野※=1.2 鋸南町下佐久間※=1.2 香取市佐原平田=1.2 香取市佐原諏訪台※=1.2 千葉稲毛区園生町※=1.2 千葉若葉区小倉台※=1.2 松戸市西馬橋※=1.2 旭市高生※=1.2 成田国際空港=1.2 成田市役所※=1.2 匝瑳市今泉※=1.1 南房総市白浜町白浜※=1.1 南房総市谷向※=1.1 千葉緑区おゆみ野※=1.1 旭市ニ※=1.1 我孫子市我孫子※=1.1 神崎町神崎本宿※=1.1 四街道市鹿渡※=1.1 印西市美瀬※=1.1 富里市七栄※=1.1 睦沢町下之郷※=1.1 匝瑳市八日市場ハ※=1.1 習志野市鷺沼※=1.0 柏市旭町=1.0 柏市柏※=1.0 香取市岩部※=1.0 栄町安食台※=1.0 茂原市道表※=1.0 木更津市太田=1.0 大多喜町大多喜※=1.0 いすみ市岬町長者※=1.0 南房総市富浦町青木※=1.0 長生村本郷※=1.0 長南町長南※=1.0 成田市名古屋=1.0 館山市長須賀=0.9 勝浦市墨名=0.9 勝浦市新官※=0.9 鴨川市横渚※=0.9 いすみ市大原※=0.9 銚子市小畑新町=0.8 銚子市若宮町※=0.8 鴨川市八色=0.6 銚子市川口町=0.6 東京都 2 東京台東区千束※=1.9 東京墨田区東向島※=1.7 東京荒川区東尾久※=1.7 東京足立区千住中居町※=1.7 東京荒川区荒川※=1.6 東京足立区神明南※=1.6 東京葛飾区立石※=1.5 東京江戸川区中央=1.5	35° 39.6' N	140° 25.1' E	66km	M: 4.5

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京江戸川区船堀※=1.5 1 東京北区西ヶ原※=1.4 東京足立区伊興※=1.4 東京江戸川区鹿骨※=1.4 東京江東区亀戸※=1.3 東京千代田区大手町=1.2 東京新宿区上落合※=1.2 東京墨田区横川=1.2 東京墨田区吾妻橋※=1.2 東京江東区森下※=1.2 東京渋谷区本町※=1.2 東京江東区越中島※=1.1 東京板橋区相生町※=1.1 東京葛飾区金町※=1.1 調布市西つつじヶ丘※=1.1 東京大田区本羽田※=1.0 東京世田谷区三軒茶屋※=1.0 東京世田谷区成城※=1.0 東京板橋区板橋※=1.0 八王子市堀之内※=1.0 東京文京区スポーツセンタ※=1.0 東京文京区大塚※=1.0 東京台東区東上野※=1.0 東京中野区中野※=0.9 東京豊島区南池袋※=0.9 東京千代田区麹町※=0.9 東京世田谷区世田谷※=0.8 東京千代田区富士見※=0.8 東京中央区勝どき※=0.8 東京杉並区桃井※=0.8 東京杉並区高井戸※=0.8 東京新宿区西新宿=0.8 東京板橋区高島平※=0.8 東京文京区本郷※=0.8 東京江東区青海=0.8 東京江東区枝川※=0.8 東京港区南青山※=0.7 東京品川区北品川※=0.7 東京品川区平塚※=0.7 東京大田区多摩川※=0.7 町田市忠生※=0.7 東京港区海岸=0.7 東京中野区江古田※=0.7 小金井市本町※=0.6 国分寺市戸倉=0.6 国分寺市泉町※=0.6 西東京市中町※=0.6 伊豆大島町差木地=0.6 伊豆大島町波浮港※=0.6 東京新宿区百人町※=0.6 東京世田谷区中町※=0.6 東京中央区日本橋兜町※=0.6 町田市森野※=0.6 東京国際空港=0.5 東京練馬区東大泉※=0.5 東京目黒区中央町※=0.5 日野市神明※=0.5 神奈川県 2 三浦市城山町※=1.7 横浜瀬谷区中屋敷※=1.6 横浜神奈川区神大寺※=1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.5 1 横浜中区山手町=1.4 横浜港北区日吉本町※=1.4 横浜旭区川井宿町※=1.4 横浜緑区十日市場町※=1.4 横浜鶴見区末広町※=1.3 横浜神奈川区広台太田町※=1.3 横浜戸塚区鳥が丘※=1.3 横浜青葉区榎が丘※=1.3 横浜中区山下町※=1.2 横浜瀬谷区三ツ境※=1.2 横浜都筑区池辺町※=1.2 川崎川崎区宮前町※=1.2 横浜鶴見区馬場※=1.1 横浜緑区鴨居※=1.1 川崎宮前区宮前平※=1.1 厚木市中町※=1.1 愛川町角田※=1.1 清川村煤ヶ谷※=1.1 横浜磯子区洋光台※=1.0 横浜旭区今宿東町※=1.0 川崎中原区小杉町※=1.0 横須賀市光の丘=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 大和市下鶴間※=1.0 川崎宮前区野川※=0.8 湯河原町中央=0.8 相模原緑区中野※=0.8 秦野市曾屋=0.7 川崎川崎区中島※=0.6 平塚市浅間町※=0.5 藤沢市朝日町※=0.5 山北町山北※=0.5 栃木県 1 真岡市石島※=1.3 益子町益子=1.3 市貝町市塙※=1.1 真岡市田町※=1.0 真岡市荒町※=1.0 下野市田中※=0.9 栃木市旭町=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.8 沼田市白沢町※=0.7 邑楽町中野※=0.7 千代田町赤岩※=0.5 山梨県 1 富士河口湖町長浜※=0.9 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.3 富士宮市野中※=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡※=0.8 河津町田中※=0.7 函南町平井※=0.6 沼津市戸田※=0.6 富士宮市弓沢町=0.6 熱海市網代=0.5				
36	10 07 31	栃木県南部 栃木県	36° 35.2' N	139° 31.7' E	6km	M: 3.1 1 鹿沼市今宮町※=0.8 日光市黒部※=0.6 日光市足尾町中才※=0.6
37	10 09 02	駿河湾 静岡県	34° 39.4' N	138° 31.6' E	28km	M: 3.3 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9
38	10 10 40	千葉県北東部 千葉県	35° 42.4' N	140° 39.2' E	50km	M: 4.0 2 匝瑳市八日市場ハ※=1.6 多古町多古=1.5 旭市南堀之内※=1.5 匝瑳市今泉※=1.5 1 成田国際空港=1.4 香取市仁良※=1.3 旭市高生※=1.2 山武市蓮沼ニ※=1.2 香取市役所※=1.2 旭市ニ※=1.1 芝山町小池※=1.1 横芝光町宮川※=1.0 東金市日吉台※=1.0 山武市殿台※=1.0 旭市萩園※=1.0 山武市松尾町富士見台=0.9 山武市松尾町五反田※=0.9 長南町総合グラウンド=0.9 香取市佐原諏訪台※=0.8 香取市佐原平田=0.8 山武市埴谷※=0.8 成田市松子※=0.8 東金市東新宿=0.7 東金市東岩崎※=0.6 一宮町一宮=0.6 成田市名古屋=0.5 茨城県 1 稲敷市結佐※=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 潮来市堀之内=0.5 稲敷市江戸崎甲※=0.5
39	10 20 12	群馬県南部 栃木県 群馬県	36° 15.8' N	139° 18.8' E	112km	M: 3.3 1 宇都宮市明保野町=0.7 下野市笹原※=0.5 壬生町壬生甲※=0.5 1 渋川市赤城町※=0.6
40	10 21 25	福島県浜通り 福島県	37° 01.8' N	140° 57.7' E	73km	M: 4.0 2 檜葉町北田※=1.7 白河市大信※=1.5 大熊町大川原※=1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 1 いわき市三和町=1.4 白河市新白河※=1.3 飯館村伊丹沢※=1.3 田村市船引町=1.2 矢祭町戸塚※=1.2 浅川町浅川※=1.2 浪江町幾世橋=1.1 本宮市本宮※=1.1 相馬市中村※=1.1 福島広野町下北迫大谷地原※=1.1 いわき市錦町※=1.0 川俣町五百田※=1.0 泉崎村泉崎※=1.0 田村市都路町※=1.0 白河市郭内=1.0 矢祭町東館※=1.0 葛尾村落合落合※=0.9 新地町谷地小屋※=0.9 富岡町本岡※=0.9 小野町中通※=0.9 田村市常葉町※=0.8 小野町小野新町※=0.8 玉川村小高※=0.8 石川町長久保※=0.7 鏡石町不時沼※=0.7 福島伊達市霊山町※=0.7 いわき市小名浜=0.7 川内村上川内早渡※=0.7 天栄村下松本※=0.6 南相馬市鹿島区柳窪=0.6 二本松市油井※=0.5 川内村下川内=0.5 大玉村南小屋=0.5 双葉町長塚※=0.5 茨城県 2 大子町池田※=2.1 笠間市石井※=2.0 水戸市千波町※=1.7 城里町小勝※=1.7 土浦市常名=1.7 筑西市門井※=1.7 高萩市安良川※=1.6 桜川市真壁※=1.5 常陸大宮市山方※=1.5 常陸大宮市野口※=1.5 1 日立市助川小学校※=1.4 日立市役所※=1.4 笠間市下郷※=1.4 笠間市笠間※=1.4 桜川市岩瀬※=1.4 常陸太田市町田町※=1.3 水戸市内原町※=1.3 東海村東海※=1.3 城里町石塚※=1.2 坂東市山※=1.2 筑西市二木成※=1.2 水戸市金町=1.2 桜川市羽田※=1.2 水戸市栗崎町※=1.1 石岡市柿岡=1.1 取手市寺田※=1.1 常陸太田市町屋町=1.1 筑西市舟生=1.1 常陸太田市金井町※=1.1 高萩市本町※=1.1 鉾田市汲上※=1.1 小美玉市堅倉※=1.0 つくば市天王台※=1.0 笠間市中央※=1.0 稲敷市江戸崎甲※=1.0 ひたちなか市東石川※=1.0 茨城町小堤※=1.0 常陸大宮市北町※=1.0 小美玉市小川※=1.0 石岡市若宮※=0.9 北茨城市磯原町※=0.9 つくば市研究学園※=0.9 常陸大宮市高部※=0.9 ひたちなか市南神敷台※=0.9 土浦市藤沢※=0.9 常陸太田市高柿町※=0.8

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市海老ヶ島※=0.8 かすみがうら市大和田※=0.8 つくば市小茎※=0.7 北茨城市中郷町※=0.7 石岡市石岡※=0.7 かすみがうら市上土田※=0.7 石岡市八郷※=0.6 境町旭町※=0.6 守谷市大柏※=0.6 土浦市田中※=0.6 坂東市役所※=0.6 常総市水海道諏訪町※=0.6 下妻市本城町※=0.6 日立市十王町友部※=0.6 城里町阿波山※=0.5 行方市麻生※=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 鉾田市造谷※=0.5 美浦村受領※=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.8 壬生町壬生甲※=1.6 1 芳賀町祖母井※=1.1 栃木さくら市喜連川※=1.1 鹿沼市晃望台※=1.0 茂木町茂木※=1.0 市貝町市塙※=1.0 栃木那珂川町馬頭※=1.0 栃木那珂川町小川※=1.0 下野市笹原※=1.0 下野市大松山※=1.0 大田原市湯津上※=0.8 那須町寺子※=0.8 宇都宮市中里町※=0.8 栃木市岩舟町静※=0.8 小山市神鳥谷※=0.7 鹿沼市口栗野※=0.6 鹿沼市今宮町※=0.6 真岡市石島※=0.6 日光市瀬川=0.6 宇都宮市旭※=0.6 足利市大正町※=0.6 栃木市旭町=0.6 栃木市万町※=0.6 佐野市中町※=0.6 下野市田中※=0.5 日光市足尾町中才※=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=0.9 山元町浅生原※=0.7 群馬県 1 桐生市黒保根町※=0.9 太田市西本町※=0.5 太田市浜町※=0.5 埼玉県 1 滑川町福田※=1.2 東松山市松葉町※=0.9 嵐山町杉山※=0.9 宮代町笠原※=0.9 熊谷市江南※=0.6 千葉県 1 野田市鶴奉※=0.8 野田市東宝珠花※=0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=0.5 白井市復※=0.5				
41	10 22 10	千葉県北東部 35° 42.4' N 140° 38.6' E 50km M: 3.1 千葉県 1 多古町多古=1.0 旭市南堀之内※=0.9 芝山町小池※=0.6 香取市仁良※=0.6				
42	11 08 32	奄美大島近海 28° 18.4' N 129° 18.2' E 18km M: 2.9 鹿児島県 1 宇検村湯湾※=0.6 奄美市住用町西仲間※=0.6				
43	11 10 59	長野県南部 35° 50.6' N 137° 40.5' E 6km M: 2.2 長野県 1 木曽町新開※=0.7				
44	11 19 30	岐阜県飛騨地方 36° 21.9' N 137° 37.5' E 2km M: 2.5 岐阜県 1 高山市上宝町本郷※=0.7 飛騨市神岡町東町※=0.5				
45	12 06 08	栃木県南部 36° 24.9' N 139° 45.9' E 86km M: 3.0 茨城県 1 城里町小勝※=0.5				
46	12 13 46	奄美大島近海 28° 07.8' N 129° 30.5' E 35km M: 2.9 鹿児島県 1 瀬戸内町請島※=0.7				
47	12 23 57	能登半島沖 37° 30.7' N 137° 22.2' E 4km M: 3.6 石川県 2 珠洲市三崎町=2.1 珠洲市正院町※=2.0 1 珠洲市大谷町※=0.9				
48	13 05 41	岩手県沖 40° 20.3' N 142° 02.2' E 52km M: 3.7 青森県 1 階上町道仏※=1.0 青森南部町苫米地※=0.8 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸※=0.6 八戸市南郷※=0.6 岩手県 1 九戸村伊保内※=1.1 軽米町軽米※=0.7 久慈市川崎町=0.6 久慈市枝成沢=0.6				
49	13 13 43	岩手県沖 40° 02.1' N 142° 43.3' E 34km M: 5.0 青森県 2 青森南部町苫米地※=1.9 八戸市南郷※=1.6 五戸町古館=1.6 おいらせ町中下田※=1.5 階上町道仏※=1.5 1 六戸町大落瀬※=1.4 東北町上北南※=1.4 七戸町森ノ上※=1.3 むつ市大畑町中島※=1.2 おいらせ町上明堂※=1.2 東通村砂子又沢内※=1.1 青森市花園=1.1 八戸市湊町=1.0 七戸町七戸※=1.0 十和田市西二番町※=1.0 十和田市西十二番町※=1.0 青森南部町平※=1.0 むつ市金曲=0.9 五戸町倉石中市※=0.9 八戸市内丸※=0.9 三沢市桜町※=0.9 三戸町在府小路町※=0.8 外ヶ浜町蟹田※=0.8 横浜町林ノ脇※=0.7 横浜町寺下※=0.7 東通村砂子又蒲谷地=0.6 田子町田子※=0.6 青森南部町沖田面※=0.6 東北町塔ノ沢山※=0.6 むつ市川内町※=0.5 六ヶ所村尾駈=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川※=2.1 宮古市五月町※=1.9 普代村銅屋※=1.7 野田村野田※=1.5 盛岡市洪民※=1.5 1 宮古市田老※=1.4 八幡平市田頭※=1.4 矢巾町南矢幅※=1.4 八幡平市野駄※=1.2 滝沢市鶴飼※=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.1 八幡平市大更=1.1 二戸市浄法寺町※=1.0 葛巻町葛巻元木=1.0 釜石市中妻町※=0.8 軽米町軽米※=0.7 雫石町千刈田=0.7 田野畑村役場※=0.7 盛岡市山王町=0.7 田野畑村田野畑=0.6 花巻市石鳥谷町※=0.6 北上市柳原町=0.6 久慈市川崎町=0.6 山田町大沢※=0.5 遠野市青笹町※=0.5 北海道 1 函館市泊町※=0.8 宮城県 1 登米市迫町※=0.9 登米市米山町※=0.8 石巻市桃生町※=0.8 登米市中田町=0.7 登米市南方町※=0.6 秋田県 1 大仙市高梨※=0.7				
50	13 16 01	石川県能登地方 37° 31.3' N 137° 19.3' E 13km M: 2.5 石川県 1 珠洲市正院町※=0.8				
51	14 01 01	茨城県南部 36° 15.8' N 140° 03.8' E 55km M: 3.2 茨城県 1 東海村東海※=0.7 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.3 益子町益子=0.9 栃木市西方町本城※=0.7 宇都宮市中里町※=0.6 壬生町壬生甲※=0.5				
52	14 16 47	能登半島沖 37° 30.1' N 137° 22.4' E 4km M: 3.1 石川県 1 珠洲市三崎町=1.3 珠洲市正院町※=1.0				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
53	14 20 37	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市旭町	37° 17.3' N	138° 51.3' E	12km	M: 2.2
54	15 14 40	熊本県熊本地方 熊本県 1 玉名市中尾	32° 55.0' N	130° 33.0' E	7km	M: 2.6
55	15 21 49	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村中之島徳之尾	29° 55.5' N	130° 01.7' E	14km	M: 2.8
56	16 13 43	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁	34° 11.5' N	135° 11.0' E	5km	M: 2.2
57	16 13 59	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能	37° 10.4' N	136° 38.0' E	7km	M: 2.5
58	16 14 22	奈良県 奈良県 2 御所市役所	34° 05.4' N	135° 35.5' E	64km	M: 4.0
		和歌山県 2 御坊市菌				
		三重県 1 三重紀北町相賀				
		京都府 1 和束町釜塚				
		大阪府 1 豊中市曾根南町				
		兵庫県 1 南あわじ市福良				
		徳島県 1 那賀町和食				
59	16 17 36	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁	34° 11.5' N	135° 11.2' E	5km	M: 2.0
60	16 19 47	熊本県熊本地方 熊本県 1 玉名市横島町	32° 55.1' N	130° 33.1' E	7km	M: 2.4
61	16 19 55	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市小川町	32° 36.3' N	130° 43.5' E	6km	M: 2.0
62	16 21 54	能登半島沖 石川県 2 珠洲市正院町	37° 35.8' N	137° 20.2' E	9km	M: 3.8
63	17 01 19	能登半島沖 石川県 2 珠洲市大谷町	37° 32.2' N	137° 11.8' E	8km	M: 3.2
64	17 04 42	父島近海 東京都 1 小笠原村母島	27° 01.2' N	142° 32.8' E	74km	M: 4.0
65	17 08 03	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁	34° 11.6' N	135° 11.2' E	5km	M: 2.6
66	17 09 37	十勝地方中部 北海道 3 浦幌町桜町	42° 47.2' N	143° 21.4' E	111km	M: 4.5
		2 本別町向陽町				
		1 鶴居村鶴居東				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		別海町常盤=1.1 幕別町忠類錦町*=1.1 土幌町土幌*=1.0 十勝大樹町東本通*=1.0 釧路市幸町=1.0 幕別町忠類明和=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 別海町本別海*=0.9 中札内村東2条*=0.9 南富良野町役場*=0.8 陸別町陸別*=0.8 厚岸町真栄*=0.8 厚岸町尾幌=0.7 標津町北2条*=0.7 弟子屈町美里=0.7 平取町振内*=0.7 広尾町並木通=0.7 北見市留辺蘂町栄町*=0.6 浦河町野深=0.6 安平町追分柏が丘*=0.6 浦河町潮見=0.5 浦河町築地*=0.5 厚真町鹿沼=0.5				
67	17 10 22	上川地方南部 北海道	43° 00.2' N	142° 19.8' E	0km	M: 2.5 1 占冠村中央*=0.9
68	18 07 33	福島県沖 福島県	37° 25.9' N	141° 26.8' E	33km	M: 3.7 2 浪江町幾世橋=1.8 1 檜葉町北田*=1.2
69	18 20 00	福島県沖 福島県	36° 51.7' N	140° 53.0' E	57km	M: 3.7 1 田村市都路町*=1.2 大熊町大川原*=0.9 白河市新白河*=0.9 いわき市錦町*=0.9 田村市船引町=0.8 天栄村下松本*=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 郡山市開成*=0.7 浪江町幾世橋=0.7 田村市常葉町*=0.7 郡山市朝日=0.6 いわき市三和町=0.6 浅川町浅川*=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.4 東海村東海*=1.0 高萩市安良川*=0.8 北茨城市磯原町*=0.8 高萩市本町*=0.7 日立市役所*=0.6
70	19 01 29	能登半島沖 石川県	37° 32.3' N	137° 12.5' E	9km	M: 2.6 1 珠洲市大谷町*=0.5
71	19 19 56	石川県能登地方 石川県	37° 27.6' N	137° 07.9' E	12km	M: 3.2 1 珠洲市正院町*=1.2 珠洲市三崎町=0.6
72	19 22 40	福島県沖 宮城県	37° 50.3' N	141° 36.2' E	50km	M: 4.1 2 角田市角田*=1.5 1 石巻市桃生町*=1.3 山元町浅生原*=1.1 亘理町悠里*=1.0 岩沼市桜*=0.8 登米市迫町*=0.7 東松島市矢本*=0.7 丸森町上滝=0.6 名取市増田*=0.6 柴田町船岡=0.5 福島県 1 新地町谷地小屋*=1.2 相馬市中村*=1.0 大熊町大川原*=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.6
73	20 00 08	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 31.8' N	130° 21.1' E	2km	M: 2.3 1 日置市吹上町中原*=0.7 鹿児島市下福元=0.5
74	20 00 16	石川県能登地方 石川県	37° 29.7' N	137° 11.9' E	12km	M: 2.7 1 珠洲市正院町*=0.5
75	20 02 11	紀伊水道 和歌山県	34° 13.1' N	135° 07.4' E	7km	M: 2.7 2 和歌山市一番丁*=1.6 1 和歌山市男野芝丁=1.2
76	20 03 48	大分県中部 大分県	33° 17.3' N	131° 28.9' E	5km	M: 1.9 1 別府市鶴見=1.2
77	20 04 42	長野県南部 長野県	35° 56.1' N	137° 46.4' E	9km	M: 3.7 2 木曽町日義*=2.4 塩尻市檜川保育園*=2.3 木曽町新開*=2.2 松本市奈川*=1.7 塩尻市木曽平沢*=1.6 木曽町三岳*=1.5 木曽町開田高原西野*=1.5 木曽町福島*=1.5 1 辰野町中央=1.0 諏訪市湖岸通り=0.9 木祖村藪原*=0.9 王滝村鈴ヶ沢*=0.9 王滝村役場*=0.9 山形村役場*=0.8 箕輪町中箕輪*=0.8 大鹿村大河原*=0.8 大桑村長野*=0.8 上松町役場*=0.7 茅野市葛井公園*=0.6 松本市安曇*=0.5
78	20 04 51	大分県中部 大分県	33° 17.3' N	131° 29.0' E	5km	M: 2.0 1 別府市鶴見=1.2
79	20 09 44	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.3' N	130° 00.9' E	11km	M: 2.6 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1 鹿児島十島村口之島出張所*=0.7
80	20 12 51	長野県南部 長野県	35° 56.2' N	137° 46.6' E	9km	M: 2.8 1 木曽町新開*=1.1 塩尻市檜川保育園*=0.5
81	20 13 08	千葉県北東部 千葉県	35° 43.2' N	140° 43.3' E	50km	M: 4.4 3 横芝光町栗山*=2.8 横芝光町宮川*=2.5 多古町多古=2.5 2 芝山町小池*=2.1 旭市南堀之内*=2.0 東金市日吉台*=2.0 東金市東新宿=1.9 東金市東岩崎*=1.9 山武市蓮沼ニ*=1.9 山武市殿台*=1.9 山武市塩谷*=1.8 山武市松尾町富士見台=1.8 山武市蓮沼ハ*=1.8 山武市松尾町五反田*=1.8 九十九里町片貝*=1.7 匝瑳市今泉*=1.7 香取市仁良*=1.7 成田市松子*=1.7 匝瑳市八日市場ハ*=1.6 成田国際空港=1.6 旭市ニ*=1.6 印西市笠神*=1.6 富里市七栄*=1.6 成田市役所*=1.5 香取市役所*=1.5 1 大網白里市大網*=1.4 成田市中台*=1.4 長南町総合グラウンド=1.3 香取市佐原平田=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3 成田市名古屋=1.3 旭市高生*=1.3 八千代市大和田新田*=1.3 酒々井町中央台*=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.2 香取市岩部*=1.2 旭市萩園*=1.2 千葉佐倉市海隣寺町*=1.2 市原市姉崎*=1.2 神崎町神崎本宿*=1.2 八街市八街*=1.2 一宮町一宮=1.1 四街道市鹿渡*=1.1 香取市羽根川*=1.1 印西市大森*=1.1 白子町関*=1.1

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 千葉美浜区ひび野*1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.0 野田市鶴奉*1.0 白井市復*1.0 栄町安食台*1.0 千葉若葉区小倉台*1.0 千葉稲毛区園生町*0.9 銚子市若宮町*0.9 印西市美瀬*0.9 東庄町笹川*0.9 成田市猿山*0.9 千葉中央区中央港*0.9 市川市本行徳*0.8 千葉美浜区稲毛海岸*0.7 君津市久留里市場*0.7 千葉緑区おゆみ野*0.7 銚子市川口町=0.6 浦安市日の出=0.6 銚子市小畑新町=0.6 茨城県 1 稲敷市結佐*1.4 稲敷市伊佐津*1.3 潮来市堀之内=1.2 稲敷市須賀津*1.2 神栖市溝口*1.2 潮来市辻*1.2 取手市井野*1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 美浦村受領*1.0 行方市麻生*1.0 取手市寺田*0.9 土浦市常名=0.9 龍ヶ崎市役所*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 神栖市波崎*0.9 かすみがうら市上土田*0.8 笠間市石井*0.8 利根町布川=0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.8 石岡市柿岡=0.7 つくば市天王台*0.7 筑西市舟生=0.7 かすみがうら市大和田*0.7 坂東市岩井=0.6 つくばみらい市加藤*0.6 石岡市若宮*0.5 埼玉県 1 吉川市きよみ野*0.7 宮代町笠原*0.7 春日部市粕壁*0.6 春日部市谷原新田*0.6 春日部市金崎*0.5 東京都 1 東京墨田区東向島*1.0 東京渋谷区本町*0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京葛飾区立石*0.7 八王子市堀之内*0.6 調布市西つつじヶ丘*0.6 東京台東区千束*0.5 東京江戸川区鹿骨*0.5 東京江戸川区船堀*0.5 東京江東区越中島*0.5 東京世田谷区世田谷*0.5 東京世田谷区三軒茶屋*0.5 東京板橋区相生町*0.5 東京足立区神明南*0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*1.1 横浜鶴見区鶴見*0.8 横浜中区山手町=0.8 横浜青葉区榎が丘*0.8 三浦市城山町*0.8				
82	20 16 53	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*1.1 天栄村下松本*0.8 田村市都路町*0.8 檜葉町北田*0.6 浪江町幾世橋=0.5	37° 38.0' N	141° 49.3' E	31km	M: 4.3
83	21 03 16	群馬県南部 群馬県 1 桐生市新里町*1.2 桐生市元宿町*0.5 太田市大原町*0.5	36° 26.4' N	139° 11.5' E	14km	M: 2.5
84	21 07 43	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 大月市御大刀*0.7	35° 32.8' N	138° 56.7' E	30km	M: 2.4
85	21 20 40	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=1.2 相馬市中村*0.8 田村市船引町=0.8 大熊町大川原*0.8 檜葉町北田*0.7 田村市常葉町*0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 田村市都路町*0.5 浪江町幾世橋=0.5	37° 40.0' N	141° 32.6' E	52km	M: 3.9
86	21 21 44	長野県北部 長野県 1 大町市役所=0.5	36° 30.6' N	137° 46.4' E	1km	M: 1.7
87	22 01 37	福島県中通り 福島県 1 白河市新白河*0.9	37° 10.2' N	140° 06.9' E	7km	M: 2.6
88	22 10 52	茨城県沖 茨城県 4 日立市十王町友部*3.7 常陸太田市高柿町*3.7 那珂市瓜連*3.7 水戸市千波町*3.6 水戸市栗崎町*3.6 東海村東海*3.6 日立市助川小学校*3.6 茨城町小堤*3.5 水戸市金町=3.5 ひたちなか市南神敷台*3.5 3 常陸太田市金井町*3.3 那珂市福田*3.3 鉾田市鉾田=3.3 鉾田市汲上*3.3 常陸大宮市野口*3.2 笠間市石井*3.2 桜川市真壁*3.1 ひたちなか市東石川*3.1 常陸大宮市北町*3.1 小美玉市堅倉*3.0 土浦市常名=3.0 土浦市藤沢*3.0 石岡市柿岡=3.0 石岡市八郷*3.0 茨城鹿嶋市宮中*3.0 ひたちなか市山ノ上町=3.0 水戸市内原町*3.0 大洗町磯浜町*3.0 鉾田市造谷*3.0 常陸大宮市中富町=2.9 茨城鹿嶋市鉢形=2.9 高萩市安良川*2.9 行方市山田*2.9 笠間市笠間*2.8 つくば市研究学園*2.8 日立市役所*2.8 行方市麻生*2.7 常陸大宮市山方*2.7 小美玉市小川*2.7 桜川市羽田*2.7 笠間市下郷*2.7 石岡市若宮*2.7 かすみがうら市上土田*2.7 稲敷市江戸崎甲*2.6 小美玉市上玉里*2.6 常陸太田市町田町*2.6 城里町石塚*2.6 桜川市岩瀬*2.6 常陸太田市町屋町=2.5 美浦村受領*2.5 土浦市田中*2.5 石岡市石岡*2.5 高萩市本町*2.5 城里町徳蔵*2.5 2 北茨城市中郷町*2.4 大子町池田*2.4 龍ヶ崎市役所*2.4 下妻市鬼怒*2.4 潮来市堀之内=2.4 稲敷市結佐*2.4 筑西市舟生=2.4 筑西市門井*2.4 かすみがうら市大和田*2.4 行方市玉造*2.4 下妻市本城町*2.3 常陸太田市大中町*2.3 常総市新石下*2.3 つくば市天王台*2.3 潮来市辻*2.3 阿見町中央*2.3 坂東市山*2.3 笠間市中央*2.3 取手市井野*2.2 城里町阿波山*2.2 稲敷市伊佐津*2.2 筑西市海老ヶ島*2.2 筑西市二木成*2.2 坂東市馬立*2.1 北茨城市磯原町*2.1 つくば市小茎*2.1 つくばみらい市福田*2.1 稲敷市須賀津*2.1 取手市寺田*2.1 つくばみらい市加藤*2.0 守谷市大柏*2.0 常陸大宮市上小瀬*2.0 神栖市溝口*2.0 神栖市波崎*2.0 稲敷市役所*2.0 常総市水海道諏訪町*2.0 利根町布川=1.9 牛久市中央*1.9 茨城古河市仁連*1.9 河内町源清田*1.8 五霞町小福田*1.8 茨城古河市下大野*1.8 坂東市役所*1.7 取手市藤代*1.7 結城市中央町*1.7 常陸大宮市高部*1.7 八千代町菅谷*1.6 境町旭町*1.5 坂東市岩井=1.5 栃木県 3 真岡市田町*2.5 2 大田原市湯津上*2.4 小山市神鳥谷*2.4 益子町益子=2.4 市貝町市塙*2.4 真岡市石島*2.3 真岡市荒町*2.2 茂木町茂木*2.1 下野市田中*2.1 芳賀町祖母井*2.0 栃木那珂川町小川*2.0 茂木町北高岡天矢場*1.8 宇都宮市中里町*1.8 壬生町壬生甲*1.8 高根沢町石末*1.8 栃木那珂川町馬頭*1.8 那須烏山市神長=1.7 那須烏山市役所*1.7 下野市笹原*1.7 那須町寺子*1.7 宇都宮市明保野町=1.7 栃木さくら市氏家*1.7 栃木さくら市喜連川*1.7 那須烏山市大金*1.6 大田原市本町*1.6 日光市鬼怒川温泉大原*1.5 野木町丸林*1.5 足利市大正町*1.5 栃木市岩舟町静*1.5 鹿沼市晃望台*1.5 小山市中央町*1.5	36° 26.4' N	140° 41.3' E	52km	M: 4.8

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 那須塩原市鍋掛*=1.4 宇都宮市中岡本町*=1.4 那須塩原市あたご町*=1.3 佐野市高砂町*=1.3 上三川町しらさぎ*=1.3 下野市大松山*=1.3 日光市藤原庁舎*=1.2 栃木市藤岡町藤岡*=1.2 日光市芹沼*=1.1 塩谷町玉生*=1.1 宇都宮市旭*=1.1 栃木市旭町=1.1 那須塩原市共懇社*=1.0 那須塩原市塩原庁舎*=1.0 栃木市大平町富田*=1.0 大田原市黒羽田町=1.0 鹿沼市口栗野*=1.0 栃木市西方町本城*=0.9 佐野市葛生東*=0.9 日光市足尾町中才*=0.9 日光市黒部*=0.9 栃木市万町*=0.8 宇都宮市塙田*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 矢板市本町*=0.8 日光市瀬川=0.8 日光市湯元*=0.8 日光市足尾町通洞*=0.7 佐野市中町*=0.7 佐野市田沼町*=0.7 那須塩原市中塩原*=0.6 日光市御幸町*=0.6 那須塩原市墓沼=0.5				
		福島県 2 浅川町浅川*=2.3 いわき市錦町*=2.3 泉崎村泉崎*=2.3 古殿町松川新桑原*=2.1 白河市東*=2.1 白河市表郷*=2.1 田村市滝根町*=2.0 中島村滑津*=2.0 石川町長久保*=1.9 須賀川市八幡山*=1.9 矢祭町戸塚*=1.9 田村市大越町*=1.9 矢祭町東館*=1.9 いわき市小名浜=1.8 棚倉町棚倉中居野=1.8 鏡石町不時沼*=1.8 白河市新白河*=1.7 玉川村小高*=1.7 いわき市三和町=1.7 平田村永田*=1.7 いわき市平梅本*=1.7 須賀川市八幡町*=1.6 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 檜葉町北田*=1.6 田村市都路町*=1.6 檜枝岐村上河原*=1.5 郡山市湖南町*=1.5 天栄村下松本*=1.5 白河市大信*=1.5 郡山市朝日=1.5 矢吹町一本木*=1.5 須賀川市岩瀬支所*=1.5 郡山市開成*=1.5 田村市常葉町*=1.5				
		1 川内村上川内早渡*=1.4 田村市船引町=1.3 いわき市平四ツ波*=1.3 福島広野町下北迫苗代替*=1.3 双葉町長塚*=1.3 浪江町幾世橋=1.3 白河市郭内=1.3 二本松市油井*=1.3 小野町中通*=1.3 葛尾村落合落合*=1.2 塙町塙*=1.2 古殿町松川横川=1.2 富岡町本岡*=1.2 福島市五老内町*=1.2 小野町小野新町*=1.2 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.2 西郷村熊倉*=1.1 川内村上川内小山平*=1.1 本宮市本宮*=1.1 大熊町大川原*=1.1 本宮市白岩*=1.1 福島市花園町=1.1 二本松市針道*=1.1 川俣町五百田*=1.0 相馬市中村*=1.0 鮫川村赤坂中野*=1.0 福島伊達市霊山町*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 白河市八幡小路*=1.0 国見町藤田*=1.0 南相馬市小高区*=0.9 福島市桜木町*=0.9 川内村下川内=0.9 大玉村南小屋=0.9 二本松市金色*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 大玉村玉井*=0.8 大熊町野上*=0.7 福島伊達市梁川町*=0.7 天栄村湯本支所*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.5 南会津町田島=0.5 福島市飯野町*=0.5				
		群馬県 2 渋川市赤城町*=1.9 桐生市元宿町*=1.6 邑楽町中野*=1.5 沼田市白沢町*=1.5 桐生市黒保根町*=1.5				
		1 板倉町板倉=1.4 大泉町日の出*=1.4 千代田町赤岩*=1.3 前橋市粕川町*=1.2 前橋市富士見町*=1.2 桐生市新里町*=1.2 太田市西本町*=1.2 沼田市西倉内町=1.2 桐生市錦町=1.1 伊勢崎市今泉町*=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.1 渋川市吹屋*=1.1 群馬明和町新里*=1.1 片品村鎌田*=1.0 太田市粕川町*=1.0 館林市城町*=1.0 伊勢崎市境*=0.9 太田市浜町*=0.9 太田市大原町*=0.9 沼田市下久屋町*=0.9 東吾妻町本宿*=0.8 渋川市伊香保町*=0.8 安中市安中*=0.8 伊勢崎市東町*=0.8 太田市新田金井町*=0.7 高崎市高松町*=0.7 吉岡町下野田*=0.7 みどり市笠懸町*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 みどり市大間々町*=0.6 前橋市鼻毛石町*=0.6 沼田市尾瀬高等学校=0.5 高崎市箕郷町*=0.5 高崎市足門町*=0.5 玉村町下新田*=0.5 前橋市昭和町=0.5				
		埼玉県 2 春日部市粕壁*=2.0 春日部市金崎*=1.8 宮代町笠原*=1.8 久喜市下早見=1.6 春日部市谷原新田*=1.6 加須市大利根*=1.5 久喜市青葉*=1.5 幸手市東*=1.5				
		1 熊谷市江南*=1.4 吉川市きよみ野*=1.4 さいたま見沼区堀崎*=1.4 東松山市松葉町*=1.3 羽生市東*=1.3 久喜市鷺宮*=1.3 吉見町下細谷*=1.3 八潮市中央*=1.3 さいたま中央区下落合*=1.2 さいたま緑区中尾*=1.2 白岡市千駄野*=1.2 行田市南河原*=1.2 久喜市栗橋*=1.2 嵐山町杉山*=1.2 埼玉美里町木部*=1.2 川口市中青木分室*=1.2 三郷市中央*=1.2 さいたま北区宮原*=1.2 加須市騎西*=1.1 加須市北川辺*=1.1 鴻巣市川里*=1.1 深谷市川本*=1.1 深谷市花園*=1.1 川島町下八ツ林*=1.1 松伏町松伏*=1.1 さいたま大宮区天沼町*=1.1 熊谷市大里*=1.1 行田市本丸*=1.1 加須市三保*=1.1 滑川町福田*=1.0 熊谷市妻沼*=1.0 草加市中央*=1.0 さいたま西区指扇*=1.0 鴻巣市中央*=1.0 鴻巣市吹上富士見*=1.0 久喜市菖蒲*=1.0 蓮田市黒浜*=0.9 深谷市仲町*=0.9 さいたま大宮区大門*=0.9 上尾市本町*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 和光市広沢*=0.9 桶川市泉*=0.9 富士見市鶴馬*=0.9 東松山市市ノ川*=0.8 狭山市入間川*=0.8 さいたま南区別所*=0.8 皆野町皆野*=0.8 朝霞市本町*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 新座市野火止*=0.8 北本市本町*=0.8 長瀬町野上下郷*=0.7 ときがわ町桃木*=0.7 蕨市中央*=0.7 川口市三ツ和*=0.6 鶴ヶ島市三ツ木*=0.6 伊奈町中央*=0.6 埼玉三芳町藤久保*=0.6 秩父市上町=0.6 秩父市近戸町*=0.6 横瀬町横瀬*=0.6 毛呂山町中央*=0.6 熊谷市桜町=0.6 川越市旭町=0.5 長瀬町本野上*=0.5 熊谷市宮町*=0.5 坂戸市千代田*=0.5 さいたま桜区道場*=0.5 小川町大塚*=0.5				
		千葉県 2 野田市鶴奉*=2.4 印西市大森*=2.4 成田市名古屋=2.3 香取市役所*=2.2 香取市仁良*=2.2 印西市笠神*=2.2 白井市復*=2.2 柏市柏*=2.1 神崎町神崎本宿*=2.0 香取市佐原平田=2.0 香取市佐原諏訪台*=2.0 香取市羽根川*=2.0 成田国際空港=2.0 成田市松子*=2.0 八千代市大和田新田*=2.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.0 栄町安食台*=2.0 成田市中台*=1.9 八街市八街*=1.9 市川市大町*=1.9 成田市役所*=1.8 千葉佐倉市海隣寺町*=1.8 柏市旭町=1.8 浦安市日の出=1.8 富里市七栄*=1.8 千葉若葉区小倉台*=1.7 千葉美浜区ひび野=1.7 習志野市鷺沼*=1.7 旭市ニ*=1.7 芝山町小池*=1.7 印西市美瀬*=1.7 山武市埴谷*=1.7 千葉花見川区花島町*=1.6 東金市日吉台*=1.6 旭市南堀之内*=1.6 野田市東宝珠花*=1.6 多古町多古=1.6 船橋市湊町*=1.5 我孫子市我孫子*=1.5 香取市岩部*=1.5				
		1 銚子市小畑新町=1.4 匝瑳市八日市場ハ*=1.4 山武市松尾町富士見台=1.4 市川市本行徳*=1.4 松戸市西馬橋*=1.4 四街道市鹿渡*=1.4 東金市東新宿=1.3 旭市高生*=1.3 旭市萩園*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 成田市猿山*=1.3 柏市大島田*=1.3 酒々井町中央台*=1.3 銚子市若宮町*=1.2 東庄町笹川*=1.2 横芝光町宮川*=1.2 山武市蓮沼ニ*=1.2 千葉中央区中央港=1.2 千葉美浜区稲毛海岸*=1.2 松戸市根本*=1.2 浦安市猫実*=1.2 九十九里町片貝*=1.1 横芝光町栗山*=1.1 流山市平和台*=1.1 銚子市川口町=1.1 東金市東岩崎*=1.1 山武市松尾町五反田*=1.0 市原市姉崎*=1.0 千葉緑区おゆみ野*=0.9				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
89 (注)	22 13 44 22 13 44	東京都	市川市八幡＊=0.9 一宮町一宮=0.8 長南町総合グラウンド=0.8 匝瑳市今泉＊=0.8 山武市殿台＊=0.8 山武市蓮沼ハ＊=0.8 大網白里市大網＊=0.7 2 東京千代田区大手町=1.6 東京渋谷区本町＊=1.5 東京杉並区高井戸＊=1.5 東京足立区神明南＊=1.5 東京葛飾区金町＊=1.5 東京江戸川区船堀＊=1.5 1 東京北区西ヶ原＊=1.4 東京荒川区東尾久＊=1.4 東京葛飾区立石＊=1.4 東京江戸川区中央=1.4 東京江東区森下＊=1.3 東京中野区江古田＊=1.3 東京荒川区荒川＊=1.3 東京文京区スポーツセンタ＊=1.2 東京文京区大塚＊=1.2 東京足立区千住中居町＊=1.2 調布市西つつじヶ丘＊=1.2 東京千代田区麴町＊=1.1 東京中央区日本橋兜町＊=1.1 東京中央区勝どき＊=1.1 東京江東区越中島＊=1.1 東京江東区東陽＊=1.1 東京中野区中野＊=1.1 東京杉並区桃井＊=1.1 東京練馬区豊玉北＊=1.1 東京江戸川区鹿骨＊=1.1 東京千代田区富士見＊=1.0 東京中央区築地＊=1.0 東京港区南青山＊=1.0 東京新宿区上落合＊=1.0 東京文京区本郷＊=1.0 東京台東区千束＊=1.0 東京墨田区東向島＊=1.0 東京板橋区相生町＊=1.0 東京足立区伊興＊=1.0 東京新宿区百人町＊=0.9 東京江東区枝川＊=0.9 東京品川区北品川＊=0.9 東京大田区本羽田＊=0.9 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.9 東京板橋区高島平＊=0.9 武蔵野市吉祥寺東町＊=0.9 三鷹市野崎＊=0.9 小平市小川町＊=0.9 東京港区海岸=0.9 東京墨田区横川=0.8 東京墨田区吾妻橋＊=0.8 東京品川区平塚＊=0.8 東京豊島区南池袋＊=0.8 東京北区赤羽南＊=0.8 東京練馬区光が丘＊=0.8 東京新宿区歌舞伎町＊=0.8 東京台東区東上野＊=0.8 東京練馬区東大泉＊=0.7 東京足立区中央本町＊=0.7 東京江東区青海=0.7 東京港区白金＊=0.7 国分寺市戸倉=0.7 西東京市中町＊=0.7 東京世田谷区成城＊=0.7 東京新宿区西新宿=0.7 東京目黒区中央町＊=0.6 東京大田区多摩川＊=0.6 東京世田谷区世田谷＊=0.6 武蔵野市緑町＊=0.6 町田市忠生＊=0.6 日野市神明＊=0.6 国分寺市泉町＊=0.6 東京府中市朝日町＊=0.5 東京品川区広町＊=0.5 東京世田谷区中町＊=0.5			
		宮城県	1 岩沼市桜＊=1.3 蔵王町円田＊=0.9 丸森町鳥屋＊=0.9 角田市角田＊=0.8 大河原町新南＊=0.8 山元町浅生原＊=0.7 大崎市田尻＊=0.7 石巻市桃生町＊=0.6 松島町高城=0.6			
		神奈川県	1 横浜神奈川区神大寺＊=1.1 横浜港北区日吉本町＊=1.1 横浜中区山手町=1.0 横浜鶴見区末広町＊=0.8 相模原緑区中野＊=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.6			
		長野県南部 長野県南部 長野県	35° 52.8' N 137° 25.9' E 6km M: 3.6 35° 52.9' N 137° 25.9' E 6km M: 3.4 2 王滝村鈴ヶ沢＊=2.0 王滝村役場＊=1.5 1 木曽町新開＊=1.4 木曽町開田高原西野＊=1.4 木曽町三岳＊=1.4 木曽町福島＊=0.9 上松町役場＊=0.8 長野高森町下市田＊=0.7 根羽村役場＊=0.7 南木曽町読書小学校＊=0.6			
90	22 16 00	岐阜県	2 下呂市萩原町＊=1.8 下呂市下呂小学校＊=1.7 高山市上宝町本郷＊=1.7 中津川市加子母＊=1.6 下呂市森=1.5 1 高山市高根町＊=1.4 高山市久々野町＊=1.2 高山市朝日町＊=1.1 飛騨市河合町元田＊=1.1 下呂市馬瀬＊=1.1 下呂市小坂町＊=1.0 飛騨市古川町＊=0.9 高山市奥飛騨温泉郷栃尾＊=0.9 中津川市福岡＊=0.9 中津川市付知町＊=0.9 飛騨市神岡町東町＊=0.7 高山市国府町＊=0.7 飛騨市宮川町＊=0.7 高山市丹生川町坊方＊=0.6 恵那市上矢作町＊=0.6 郡上市明宝＊=0.6 郡上市八幡町旭＊=0.5 高山市消防署＊=0.5 高山市荘川町＊=0.5			
		静岡県	1 浜松天竜区佐久間町＊=0.7			
		長野県南部 長野県 岐阜県	35° 52.9' N 137° 25.9' E 6km M: 2.9 1 王滝村鈴ヶ沢＊=0.7 1 中津川市加子母＊=0.6			
91	22 21 14	日向灘 高知県	32° 36.9' N 132° 13.6' E 37km M: 5.0 4 宿毛市桜町＊=3.5 3 宿毛市片島=2.9 1 四万十市古津賀＊=1.4 土佐清水市有永=1.2 四万十町大正＊=1.1 三原村来栖野＊=1.0 高知市丸ノ内＊=0.9 土佐清水市天神町＊=0.9 四万十市西土佐江川崎＊=0.9 黒潮町入野=0.9 高知市本町＊=0.8 高知香南市夜須町坪井＊=0.8 土佐清水市足摺岬=0.6 土佐清水市松尾＊=0.6			
		大分県	4 佐伯市蒲江蒲江浦=3.9 佐伯市鶴見＊=3.5 3 佐伯市春日町＊=3.4 佐伯市上浦＊=3.1 臼杵市臼杵＊=3.0 佐伯市米水津＊=3.0 佐伯市弥生＊=2.9 津久見市宮本町＊=2.8 佐伯市役所＊=2.6 2 豊後大野市三重町=2.4 豊後大野市清川町＊=2.4 佐伯市蒲江猪串浦=2.3 大分市新春日町＊=2.2 佐伯市直川＊=2.1 佐伯市宇目＊=2.1 佐伯市本匠＊=2.1 津久見市立花町＊=2.1 臼杵市乙見=2.0 竹田市荻町＊=2.0 大分市佐賀関＊=2.0 大分市舞鶴町＊=1.9 豊後大野市千歳町＊=1.9 佐伯市堅田=1.9 竹田市会々＊=1.9 臼杵市野津町＊=1.8 竹田市直入町＊=1.8 豊後大野市大野町＊=1.8 豊後大野市緒方町＊=1.7 大分市明野北=1.7 竹田市竹田小学校＊=1.6 1 由布市湯布院町川上＊=1.3 豊後大野市朝地町＊=1.3 竹田市久住町＊=1.3 大分市野津原＊=1.2 日出町役場＊=1.2 由布市挾間町＊=1.2 由布市庄内町＊=1.2 豊後大野市大飼町黒松＊=1.2 豊後大野市大飼町大飼＊=1.2 宇佐市上田＊=1.2 国東市田深＊=1.1 別府市鶴見=1.1 別府市天間=1.1 豊後高田市真玉＊=1.1 別府市上野口町＊=1.0 杵築市山香町＊=1.0 中津市植野＊=1.0 竹田市直入小学校＊=0.9 国東市鶴川=0.9 杵築市南杵築＊=0.9 国東市国見町伊美＊=0.7 中津市上宮永=0.6 国東市国見町西方寺=0.5			
		愛媛県	3 愛南町一本松＊=2.9 愛南町城辺＊=2.6 愛南町柏＊=2.6 2 宇和島市津島町＊=2.4 宇和島市吉田町＊=2.3 愛南町御荘＊=2.3 宇和島市住吉町=2.0 西予市宇和町＊=1.8 西予市明浜町＊=1.8 宇和島市三間町＊=1.7 八幡浜市保内町＊=1.7 伊方町湊浦＊=1.6 八幡浜市五反田＊=1.6 宇和島市丸穂＊=1.6 大洲市大洲＊=1.6 松野町松丸＊=1.5 今治市大三島町＊=1.5 1 愛媛鬼北町近永＊=1.4 松山市中島大浦＊=1.2 西予市三瓶町＊=1.2 今治市大西町＊=1.1 内子町平岡＊=1.0 愛媛鬼北町成川=0.9 大洲市長浜＊=0.8 内子町内子＊=0.8 大洲市肱川町＊=0.7 西予市城川町＊=0.7 愛媛鬼北町下鍵山＊=0.7 八幡浜市広瀬=0.7 今治市南宝来町二丁目=0.6			

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		伊予市下吾川※=0.6 伊方町三崎※=0.6 西予市野村町=0.6 松山市北持田町=0.6 松山市富久町※=0.5 熊本県 3 熊本高森町高森※=2.6 2 産山村山鹿※=1.9 阿蘇市波野※=1.6 1 熊本美里町永富※=1.4 南阿蘇村吉田※=1.3 山都町今※=1.3 阿蘇市一の宮町※=1.3 阿蘇市内牧※=1.2 益城町惣領※=1.0 南阿蘇村中松=0.9 人吉市蟹作町※=0.7 山都町浜町※=0.6 佐賀県 2 神埼市千代田※=1.7 1 みやき町北茂安※=1.4 上峰町坊所※=1.3 みやき町三根※=1.0 白石町有明※=0.9 吉野ヶ里町三田川※=0.9 佐賀市川副※=0.8 神埼市神埼※=0.8 白石町福富※=0.7 佐賀市久保田※=0.6 宮崎県 2 延岡市北浦町古江※=2.4 延岡市天神小路=2.3 延岡市北川町川内名白石※=2.3 門川町平城東※=2.1 高千穂町三田井=2.1 延岡市東本小路※=1.9 高千穂町寺迫※=1.7 宮崎美郷町田代※=1.7 1 日向市大王谷運動公園=1.4 延岡市北川町総合支所※=1.3 川南町川南※=1.3 宮崎都農町役場※=1.3 日向市富高※=1.2 西都市上の宮※=1.2 高鍋町上江※=1.1 日向市亀崎=1.0 椎葉村総合運動公園※=1.0 椎葉村下福良※=1.0 小林市中原※=1.0 西都市聖陵町※=0.9 日向市東郷町山陰※=0.8 五ヶ瀬町三ヶ所※=0.8 国富町本庄※=0.8 日之影町七折※=0.7 宮崎美郷町宇納間※=0.7 宮崎市霧島=0.6 小林市真方=0.6 新富町上富田=0.5 島根県 1 益田市常盤町※=0.8 岡山県 1 玉野市宇野※=0.9 倉敷市児島小川町※=0.5 広島県 1 府中町大通り※=1.2 大崎上島町東野※=1.0 尾道市瀬戸田町※=1.0 江田島市能美町※=1.0 竹原市中央※=0.9 尾道市向島町※=0.8 呉市宝町=0.8 呉市川尻町※=0.8 呉市安浦町※=0.7 大竹市小方※=0.7 東広島市黒瀬町=0.7 呉市広※=0.7 江田島市大柿町※=0.7 福山市内海町※=0.7 呉市音戸町※=0.6 三原市本郷南※=0.5 香川県 1 観音寺市坂本町=0.9 多度津町家中=0.9 山口県 1 柳井市大島※=1.0 柳井市南町※=0.9 周防大島町東和総合支所※=0.8 岩国市横山※=0.8 周防大島町平野※=0.7 周防大島町久賀※=0.7 岩国市由宇町※=0.6 周防大島町小松※=0.6 防府市西浦※=0.6 周防大島町西安下庄※=0.5 平生町平生※=0.5 福岡県 1 久留米市津福本町=1.2 行橋市今井※=0.6				
92	22 23 11	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.5	36° 23.9' N	141° 08.3' E	39km	M: 3.2
93	23 02 28	日向灘 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.8	32° 37.6' N	132° 13.2' E	37km	M: 3.0
94	23 08 09	奄美大島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙※=1.0 瀬戸内町請島※=0.9	27° 59.5' N	129° 11.6' E	26km	M: 3.5
95	23 10 28	長野県北部 長野県 1 信濃町柏原東裏※=1.4 長野市戸隠※=0.7	36° 47.7' N	138° 06.0' E	6km	M: 2.7
96	23 12 36	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校※=1.5 土浦市常名=1.5 1 水戸市千波町※=1.4 笠間市笠間※=1.4 笠間市石井※=1.3 ひたちなか市南神敷台※=1.2 石岡市柿岡=1.1 桜川市真壁※=1.1 水戸市栗崎町※=1.0 東海村東海※=1.0 小美玉市堅倉※=1.0 日立市役所※=1.0 那珂市福田※=0.9 水戸市内原町※=0.9 桜川市岩瀬※=0.9 常陸大宮市北町※=0.9 桜川市羽田※=0.9 鉾田市汲上※=0.9 水戸市金町=0.8 石岡市若宮※=0.8 かすみがうら市上土田※=0.8 城里町石塚※=0.8 土浦市藤沢※=0.8 常陸大宮市野口※=0.7 茨城町小堤※=0.7 稲敷市伊佐津※=0.7 笠間市中央※=0.7 石岡市石岡※=0.6 茨城鹿嶋市宮中※=0.6 かすみがうら市大和田※=0.6 ひたちなか市東石川※=0.6 筑西市門井※=0.5 笠間市下郷※=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 小美玉市小川※=0.5 福島県 1 檜葉町北田※=1.0 川内村下川内=1.0 大熊町大川原※=0.9 田村市都路町※=0.8 玉川村小高※=0.8 浪江町幾世橋=0.7 いわき市三和町=0.6 矢祭町戸塚※=0.5 白河市新白河※=0.5 浅川町浅川※=0.5 小野町中通※=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 栃木県 1 益子町益子=0.8 宇都宮市明保野町=0.6 埼玉県 1 春日部市粕壁※=0.5	36° 36.3' N	140° 57.0' E	86km	M: 3.8
97	24 10 16	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町富士グラント※=0.6	32° 58.8' N	140° 45.9' E	56km	M: 4.3
98	24 13 02	茨城県南部 茨城県 3 つくば市小莖※=2.8 茨城古河市仁連※=2.7 桜川市真壁※=2.6 土浦市常名=2.6 筑西市門井※=2.5 水戸市内原町※=2.5 2 笠間市石井※=2.4 城里町石塚※=2.4 石岡市柿岡=2.4 取手市寺田※=2.4 筑西市舟生=2.4 桜川市岩瀬※=2.3 笠間市下郷※=2.2 坂東市馬立※=2.2 茨城古河市下大野※=2.2 笠間市笠間※=2.2 石岡市若宮※=2.2 石岡市石岡※=2.2 下妻市本城町※=2.2 常陸大宮市北町※=2.1 つくばみらい市福田※=2.1 つくば市研究学園※=2.1 筑西市海老ヶ島※=2.1 茨城町小堤※=2.0 境町旭町※=2.0 城里町徳蔵※=2.0 牛久市中央※=2.0 常総市新石下※=1.9 坂東市山※=1.9 常陸大宮市野口※=1.9 石岡市八郷※=1.9 かすみがうら市上土田※=1.9 土浦市田中※=1.9 つくば市天王台※=1.8 小美玉市小川※=1.8 稲敷市江戸崎甲※=1.8 常総市水海道諏訪町※=1.8 城里町阿波山※=1.8 守谷市大柏※=1.8 かすみがうら市大和田※=1.8 坂東市岩井=1.7 筑西市二木成※=1.7 小美玉市堅倉※=1.7 五霞町小福田※=1.7 坂東市役所※=1.7 桜川市羽田※=1.7 笠間市中央※=1.7 下妻市鬼怒※=1.7 八千代町菅谷※=1.6 取手市藤代※=1.6 水戸市千波町※=1.6 つくばみらい市加藤※=1.5 小美玉市上玉里※=1.5 龍ヶ崎市役所※=1.5 常陸大宮市山方※=1.5 1 日立市助川小学校※=1.4 茨城古河市長谷町※=1.4 結城市中央町※=1.4 取手市井野※=1.4	35° 59.5' N	140° 04.6' E	68km	M: 4.2

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		美浦村受領＊=1.4 阿見町中央＊=1.4 稲敷市役所＊=1.4 大子町池田＊=1.3 水戸市栗崎町＊=1.3 水戸市金町=1.3 行方市麻生＊=1.3 常陸太田市町屋町=1.3 河内町源清田＊=1.2 日立市十王町友部＊=1.2 稲敷市伊佐津＊=1.2 行方市玉造＊=1.2 東海村東海＊=1.2 鉾田市汲上＊=1.1 常陸大宮市中富町=1.1 利根町布川=1.1 常陸大宮市高部＊=1.1 茨城鹿嶋市鉾形=1.1 那珂市福田＊=1.1 ひたちなか市南神敷台＊=1.0 鉾田市造谷＊=1.0 稲敷市結佐＊=1.0 行方市山田＊=1.0 鉾田市鉾田=0.9 常陸太田市高柿町＊=0.9 ひたちなか市東石川＊=0.9 常陸大宮市上小瀬＊=0.9 常陸太田市町田町＊=0.8 稲敷市須賀津＊=0.8 高萩市安良川＊=0.8 那珂市瓜連＊=0.7 茨城鹿嶋市宮中＊=0.7 潮来市辻＊=0.7 大洗町磯浜町＊=0.6 日立市役所＊=0.6 常陸太田市金井町＊=0.6 潮来市堀之内=0.5 3 真岡市石島＊=2.7 栃木市旭町=2.6 鹿沼市晃望台＊=2.5 2 宇都宮市明保野町=2.4 壬生町壬生甲＊=2.3 真岡市荒町＊=2.2 下野市笹原＊=2.2 栃木市藤岡町藤岡＊=2.0 栃木市岩舟町静＊=2.0 鹿沼市口栗野＊=2.0 真岡市田町＊=2.0 益子町益子=2.0 宇都宮市中里町＊=2.0 栃木市大平町富田＊=2.0 佐野市高砂町＊=1.9 茂木町茂木＊=1.9 小山市神鳥谷＊=1.8 小山市中央町＊=1.8 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.8 日光市足尾町中才＊=1.8 日光市黒部＊=1.7 市貝町市塙＊=1.7 芳賀町祖母井＊=1.7 高根沢町石末＊=1.7 下野市田中＊=1.7 鹿沼市今宮町＊=1.6 栃木市西方町本城＊=1.6 栃木市万町＊=1.6 足利市大正町＊=1.6 日光市芹沼＊=1.5 佐野市葛生東＊=1.5 野木町丸林＊=1.5 1 大田原市湯津上＊=1.4 塩谷町玉生＊=1.4 宇都宮市旭＊=1.4 佐野市田沼町＊=1.4 宇都宮市中岡本町＊=1.3 日光市湯元＊=1.3 日光市藤原庁舎＊=1.3 栃木さくら市喜連川＊=1.2 栃木那珂川町小川＊=1.2 下野市大松山＊=1.2 日光市瀬川=1.2 栃木市都賀町家中＊=1.1 上三川町しらさぎ＊=1.1 栃木さくら市氏家＊=1.1 日光市御幸町＊=1.1 那須塩原市塩原庁舎＊=1.1 宇都宮市塙田＊=1.1 佐野市中町＊=1.0 茂木町北高岡天矢場＊=1.0 日光市足尾町通洞＊=1.0 那須烏山市大金＊=0.9 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 日光市今市本町＊=0.9 矢板市本町＊=0.9 那須塩原市あたご町＊=0.9 那須町寺子＊=0.7 日光市中宮祠=0.7 大田原市黒羽田町=0.5 那須烏山市神長=0.5 群馬県 2 板倉町板倉=2.2 邑楽町中野＊=2.1 館林市上三林町＊=2.0 大泉町日の出＊=1.8 千代田町赤岩＊=1.7 1 桐生市黒保根町＊=1.4 渋川市赤城町＊=1.4 群馬明和町新里＊=1.4 太田市西本町＊=1.3 館林市城町＊=1.3 桐生市元宿町＊=1.1 伊勢崎市西久保町＊=1.1 桐生市新里町＊=1.0 沼田市西倉内町=1.0 前橋市堀越町＊=1.0 前橋市粕川町＊=1.0 渋川市吹屋＊=0.9 みどり市東町＊=0.9 沼田市白沢町＊=0.9 沼田市下久屋町＊=0.8 片品村鎌田＊=0.8 伊勢崎市東町＊=0.8 前橋市富士見町＊=0.7 前橋市鼻毛石町＊=0.7 桐生市錦町=0.7 みどり市大間々町＊=0.7 太田市浜町＊=0.7 太田市大原町＊=0.7 みどり市笠懸町＊=0.6 太田市粕川町＊=0.5 沼田市尾瀬高等学校=0.5 埼玉県 2 加須市騎西＊=2.0 春日部市粕壁＊=2.0 宮代町笠原＊=2.0 久喜市下早見=1.8 白岡市千駄野＊=1.7 春日部市金崎＊=1.6 杉戸町清地＊=1.6 さいたま大宮区大門＊=1.6 加須市大利根＊=1.6 羽生市東＊=1.6 八潮市中央＊=1.5 加須市北川辺＊=1.5 川口市中青木分室＊=1.5 上尾市本町＊=1.5 蕨市中央＊=1.5 戸田市上戸田＊=1.5 1 行田市南河原＊=1.4 久喜市青葉＊=1.4 久喜市栗橋＊=1.4 春日部市谷原新田＊=1.4 吉川市さよみ野＊=1.4 久喜市菖蒲＊=1.3 和光市広沢＊=1.3 桶川市泉＊=1.3 幸手市東＊=1.3 さいたま北区宮原＊=1.3 行田市本丸＊=1.2 東松山市松葉町＊=1.2 草加市中央＊=1.2 熊谷市江南＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2 加須市三俣＊=1.1 鴻巣市川里＊=1.1 久喜市鷲宮＊=1.1 埼玉美里町木部＊=1.1 川口市三ツ和＊=1.1 北本市本町＊=1.1 三郷市中央＊=1.1 さいたま西区指扇＊=1.1 さいたま見沼区堀崎＊=1.1 さいたま南区別所＊=1.1 さいたま緑区中尾＊=1.1 深谷市仲町＊=1.0 滑川町福田＊=1.0 越谷市越ヶ谷＊=1.0 朝霞市本町＊=1.0 蓮田市黒浜＊=1.0 川島町下八ツ林＊=0.9 吉見町下細谷＊=0.9 所沢市北有楽町＊=0.9 熊谷市大里＊=0.9 熊谷市妻沼＊=0.9 志木市中宗岡＊=0.9 東松山市市ノ川＊=0.9 伊奈町中央＊=0.9 熊谷市桜町=0.8 熊谷市宮町＊=0.8 新座市野火止＊=0.8 鴻巣市中央＊=0.8 川越市新宿町＊=0.8 松伏町松伏＊=0.8 ときがわ町桃木＊=0.7 埼玉三芳町藤久保＊=0.7 狭山市入間川＊=0.7 深谷市川本＊=0.7 さいたま中央区下落合＊=0.7 嵐山町杉山＊=0.7 富士見市鶴馬＊=0.7 鴻巣市吹上富士見＊=0.6 ふじみ野市福岡＊=0.6 さいたま桜区道場＊=0.6 さいたま浦和区常盤＊=0.6 川越市旭町=0.5 越生町越生＊=0.5 深谷市普濟寺＊=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉＊=2.3 柏市旭町=1.9 八千代市大和田新田＊=1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.8 柏市柏＊=1.7 白井市復＊=1.7 市川市大町＊=1.6 柏市大島田＊=1.6 野田市東宝珠花＊=1.5 習志野市鷺沼＊=1.5 1 松戸市西馬橋＊=1.4 流山市平和台＊=1.4 千葉花見川区花島町＊=1.3 市川市本行徳＊=1.3 成田市名古屋=1.3 浦安市日の出=1.3 印西市大森＊=1.3 香取市佐原諏訪台＊=1.2 香取市役所＊=1.2 成田市中台＊=1.2 船橋市湊町＊=1.1 柴町安食台＊=1.1 印西市美瀬＊=1.0 我孫子市我孫子＊=1.0 浦安市猫実＊=1.0 神崎町神崎本宿＊=0.9 千葉中央区中央港=0.9 千葉稲毛区園生町＊=0.9 成田国際空港=0.9 印西市笠神＊=0.9 千葉若葉区小倉台＊=0.8 千葉美浜区ひび野=0.8 成田市松子＊=0.8 千葉佐倉市海隣寺町＊=0.8 芝山町小池＊=0.8 香取市佐原平田=0.8 香取市仁良＊=0.7 山武市埴谷＊=0.7 千葉美浜区稲毛海岸＊=0.7 市原市姉崎＊=0.7 長南町総合グラウンド=0.6 東金市日吉台＊=0.5 酒々井町中央台＊=0.5 富里市七栄＊=0.5 君津市久留里市場＊=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 成田市猿山＊=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.5 東京渋谷区本町＊=1.5 東京足立区神明南＊=1.5 東京足立区伊興＊=1.5 1 東京板橋区相生町＊=1.4 東京江戸川区中央=1.4 小平市小川町＊=1.4 東京中野区中野＊=1.3 東京江戸川区鹿骨＊=1.3 調布市西つつじヶ丘＊=1.3 東京文京区本郷＊=1.2 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.2 東京中野区江古田＊=1.2 東京杉並区高井戸＊=1.2 東京北区西ヶ原＊=1.2 東京練馬区東大泉＊=1.2 東大和市中央＊=1.2 東京新宿区上落合＊=1.1 東京文京区大塚＊=1.1 東京葛飾区立石＊=1.1 東京荒川区荒川＊=1.0 東京荒川区東尾久＊=1.0 東京板橋区高島平＊=1.0 東京練馬区豊玉北＊=1.0 東京練馬区光が丘＊=1.0 東京江戸川区船堀＊=1.0 小金井市本町＊=1.0 西東京市中町＊=1.0 東京文京区スポーツセンタ＊=0.9 東京江東区越中島＊=0.9 東京江東区森下＊=0.9 東京品川区平塚＊=0.9 東京世田谷区中町＊=0.9 東京杉並区桃井＊=0.9 東京葛飾区金町＊=0.9 東京千代田区富士見＊=0.9 東京中央区勝どき＊=0.9 東京港区南青山＊=0.9 東京中央区日本橋兜町＊=0.8 東京足立区千住中居町＊=0.8 東京台東区千束＊=0.8 東京墨田区東向島＊=0.8 東京大田区本羽田＊=0.8 日野市神明＊=0.8 国分寺市戸倉=0.8				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
99	24 15 36	東京豊島区南池袋※=0.8 東京北区赤羽南※=0.7 東京千代田区麹町※=0.7 東京港区海岸=0.7 東京足立区中央本町※=0.7 東京港区白金※=0.7 東京新宿区百人町※=0.7 八王子市堀之内※=0.7 武蔵野市緑町※=0.7 東京台東区東上野※=0.7 東京江東区亀戸※=0.7 東京江東区枝川※=0.7 東京国際空港=0.7 東京大田区多摩川※=0.7 東京府中市朝日町※=0.6 東京江東区青海=0.6 国分寺市泉町※=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 東京目黒区中央町※=0.6 東京新宿区歌舞伎町※=0.6 東京世田谷区世田谷※=0.6 東京墨田区吾妻橋※=0.6 東京世田谷区成城※=0.5 三鷹市野崎※=0.5				
		神奈川県				
		2 横浜港北区日吉本町※=1.5				
		1 横浜神奈川区神大寺※=1.4 横浜神奈川区広台太田町※=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.2 横浜鶴見区末広町※=1.0 横浜緑区十日市場町※=1.0 川崎宮前区宮前平※=1.0 川崎川崎区千鳥町※=0.9 横浜中区山手町=0.8 川崎中原区小杉町※=0.8 三浦市城山町※=0.8 横浜瀬谷区中屋敷※=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 横浜磯子区洋光台※=0.5 横浜港南区野庭町※=0.5				
		福島県				
		1 玉川村小高※=1.1 白河市新白河※=1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 矢祭町東館※=0.9 南会津町松戸原※=0.9 田村市都路町※=0.7 浅川町浅川※=0.6 矢祭町戸塚※=0.6 いわき市三和町=0.6 浪江町幾世橋=0.5 白河市郭内=0.5 田村市常葉町※=0.5				
		宮城県沖	38° 17.5' N	141° 33.1' E	64km	M: 4.1
		岩手県				
		2 住田町世田米※=1.7 一関市千厩町※=1.7 一関市室根町※=1.5				
		1 陸前高田市高田町※=1.4 一関市東山町※=1.4 大船渡市大船渡町=1.3 一関市藤沢町※=1.3 一関市花泉町※=1.3 一関市大東町=1.1 大船渡市猪川町=1.1 奥州市前沢※=0.8 釜石市中妻町※=0.8 大船渡市盛町※=0.7 奥州市衣川※=0.6 北上市相去町※=0.6 奥州市胆沢※=0.6 一関市竹山町※=0.5 一関市川崎町※=0.5				
		宮城県				
		2 石巻市桃生町※=2.1 大衡村大衡※=2.1 石巻市大街道南※=1.9 東松島市矢本※=1.8 気仙沼市唐桑町※=1.8 涌谷町新町裏=1.7 松島町高城=1.7 栗原市高清水※=1.6 登米市東和町※=1.6 仙台宮城野区苦竹※=1.6 栗原市栗駒=1.6 宮城川崎町前川※=1.5 亘理町悠里※=1.5 仙台青葉区大倉=1.5 登米市中田町=1.5 石巻市北上町※=1.5 登米市豊里町※=1.5 多賀城市中央※=1.5 登米市米山町※=1.5 登米市南方町※=1.5 登米市迫町※=1.5				
		1 栗原市一迫※=1.4 宮城美里町木間塚※=1.4 大崎市鳴子※=1.4 大崎市田尻※=1.4 名取市増田※=1.4 岩沼市桜※=1.4 仙台区区将監※=1.4 栗原市花山※=1.3 登米市石越町※=1.3 柴田町船岡=1.3 仙台青葉区作並※=1.3 宮城美里町北浦※=1.3 石巻市泉町=1.3 東松島市小野※=1.3 大河原町新南※=1.2 塩竈市今宮町※=1.2 大崎市鹿島台※=1.2 大崎市古川旭※=1.1 大崎市古川三日町=1.1 登米市津山町※=1.0 利府町利府※=1.0 大郷町粕川※=1.0 栗原市築館※=1.0 石巻市大瓜=0.9 石巻市相野谷※=0.9 石巻市前谷地※=0.9 仙台空港=0.9 大崎市松山※=0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 南三陸町歌津※=0.9 登米市登米町※=0.9 山元町浅生原※=0.8 石巻市雄勝町※=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 気仙沼市笹が陣※=0.8 七ヶ浜町東宮浜※=0.8 宮城加美町中新田※=0.8 栗原市鶯沢※=0.8 石巻市鮎川浜※=0.8 村田町村田※=0.7 女川町女川※=0.7 栗原市若柳※=0.7 栗原市金成※=0.7 色麻町四竈※=0.6 気仙沼市本吉町津谷※=0.6 大和町吉岡※=0.6 仙台青葉区落合※=0.5 角田市角田※=0.5 富谷市富谷※=0.5				
		山形県				
		福島県				
		1 尾花沢市若葉町※=0.5				
		1 福島伊達市梁川町※=1.1 福島伊達市霊山町※=0.9 飯舘村伊丹沢※=0.8 南相馬市鹿島区西町※=0.7 相馬市中村※=0.6 新地町谷地小屋※=0.6 南相馬市鹿島区栃窪=0.6 福島市桜木町※=0.5 福島伊達市保原町※=0.5 福島市花園町=0.5				
100	24 15 42	徳島県南部 徳島県	33° 53.6' N	134° 29.8' E	33km	M: 2.8
		1 那賀町和食※=0.5				
101	24 22 15	茨城県南部 茨城県	36° 10.6' N	140° 15.8' E	45km	M: 3.0
		1 土浦市常名=0.6				
102	25 06 35	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 40.1' N	141° 50.4' E	68km	M: 3.8
		1 住田町世田米※=1.0 釜石市中妻町※=0.5				
		1 涌谷町新町裏=0.9 岩沼市桜※=0.9 登米市石越町※=0.7 石巻市北上町※=0.7 宮城川崎町前川※=0.6 柴田町船岡=0.5 石巻市大街道南※=0.5 登米市中田町=0.5				
103	25 18 01	有明海 熊本県	32° 44.8' N	130° 35.5' E	11km	M: 3.2
		1 宇城市不知火町※=0.8 宇城市三角町※=0.7 上天草市大矢野町=0.7				
104	26 10 54	鹿児島湾 鹿児島県	31° 33.8' N	130° 37.1' E	4km	M: 3.1
		2 鹿児島市東郡元=2.4 鹿児島市祇園之洲町※=2.0				
		1 鹿児島市下福元=1.1 鹿児島市喜入町※=1.1 枕崎市高見町=1.0 鹿児島市本城※=0.9 薩摩川内市入来町※=0.8 鹿児島市上谷口※=0.7 始良市蒲生町上久徳※=0.7 薩摩川内市祁答院町※=0.6 薩摩川内市樋脇町※=0.5 日置市吹上町中原※=0.5 薩摩川内市東郷町※=0.5				
105	26 14 59	日向灘 宮崎県	32° 00.0' N	131° 40.6' E	42km	M: 4.4
		3 宮崎美郷町田代※=3.3 宮崎市松橋※=2.9 宮崎市霧島=2.8 川南町川南※=2.7 西都市聖陵町※=2.6 高鍋町上江※=2.6 西都市上の宮※=2.5				
		2 椎葉村総合運動公園※=2.3 小林市野尻町東麓※=2.3 日南市吾田東※=2.2 小林市真方=2.2 宮崎市田野町体育館※=2.2 国富町本庄※=2.1 宮崎市高岡町内山※=2.1 椎葉村下福良※=2.1 日向市東郷町山陰※=2.0 宮崎都農町役場※=2.0 小林市中原※=1.8 宮崎市清武町船引※=1.8 木城町高城※=1.7 宮崎市佐土原町下田島※=1.7 新富町上富田=1.7 高千穂町三田井=1.7 門川町平城東※=1.7 串間市都井※=1.6 綾町役場※=1.6 都城市姫城町※=1.6 高原町西麓※=1.5 都城市高城町穂満坊※=1.5				
		1 日南市油津=1.4 日南市北郷町大藤=1.4 綾町南俣健康センター※=1.4 都城市菖蒲原=1.4 三股町五本松※=1.4 延岡市北川町川内名白石※=1.3 宮崎美郷町神門※=1.3 延岡市北浦町古江※=1.2				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模				
		宮崎市田野支所＊=1.2 串間市奈留=1.1 えびの市加久藤＊=1.1 延岡市東本小路＊=1.1 日向市大王谷運動公園=1.1 延岡市天神小路=1.0 小林市役所＊=1.0 日向市富高＊=1.0 諸塚村家代＊=1.0 西米良村村所＊=0.9 日向市亀崎=0.9 西米良村板谷＊=0.9 宮崎都農町川北=0.8 高千穂町寺迫＊=0.8 延岡市北川町総合支所＊=0.7 五ヶ瀬町三ヶ所＊=0.7 宮崎美郷町宇納間＊=0.7 2 熊本美里町永富＊=2.3 熊本高森町高森＊=1.9 あさぎり町岡原＊=1.9 あさぎり町須恵＊=1.8 多良木町多良木=1.7 多良木町上球磨消防署＊=1.7 八代市鏡町＊=1.5 あさぎり町免田東＊=1.5 1 山都町大平＊=1.4 氷川町島地＊=1.4 熊本美里町馬場＊=1.3 熊本北区植木町＊=1.3 あさぎり町上＊=1.3 湯前町役場＊=1.3 山江村山田＊=1.3 水上村岩野＊=1.2 相良村深水＊=1.2 八代市千丁町＊=1.2 錦町一武＊=1.2 宇城市豊野町＊=1.2 あさぎり町深田＊=1.2 合志市竹迫＊=1.2 上天草市大矢野町=1.1 山都町浜町＊=1.1 人吉市西間下町=1.1 人吉市蟹作町＊=1.1 氷川町宮原＊=1.1 五木村甲＊=1.1 宇城市三角町＊=1.1 芦北町芦北=1.1 産山村山鹿＊=1.0 菊陽町久保田＊=1.0 阿蘇市波野＊=0.9 球磨村渡＊=0.8 八代市新地町＊=0.8 八代市平山新町=0.8 阿蘇市一の宮町＊=0.6 水俣市牧ノ内＊=0.6 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦=1.5 1 佐伯市米水津＊=1.3 佐伯市春日町＊=0.9 大分市新春日町＊=0.5 鹿児島県 2 霧島市福山町牧之原＊=1.6 大崎町仮宿＊=1.5 1 霧島市国分中央＊=1.4 鹿屋市新栄町=1.4 鹿屋市札元＊=1.4 鹿児島空港=1.3 鹿屋市輝北町上百引＊=1.3 錦江町田代支所＊=1.2 志布志市志布志町志布志=1.2 鹿屋市串良町岡崎＊=1.1 曾於市財部町南俣＊=1.1 垂水市田神＊=1.0 鹿児島市喜入町＊=1.0 曾於市大隅町中之内＊=1.0 さつま町神子＊=0.9 湧水町吉松＊=0.9 霧島市隼人町内山田=0.9 始良市蒲生町上久徳＊=0.9 鹿屋市吾平町麓＊=0.8 志布志市有明町野井倉＊=0.8 伊佐市大口山野=0.7 伊佐市大口鳥巢＊=0.7 肝付町北方＊=0.7 錦江町田代麓=0.6 霧島市霧島口＊=0.5 高知県 1 宿毛市桜町＊=0.7 長崎県 1 南島原市口之津町＊=0.7 雲仙市小浜町雲仙=0.5								
106	26 17 31	種子島近海 鹿児島県	30° 20.0' N	131° 03.6' E	22km	M: 3.3 1 中種子町野間＊=0.5				
107	26 21 37	隠岐島近海 島根県	36° 37.6' N	132° 44.7' E	37km	M: 4.5 2 隠岐の島町山田=1.9 海士町海士＊=1.7 隠岐の島町下西＊=1.6 隠岐の島町布施＊=1.6 隠岐の島町北方＊=1.6 隠岐の島町都万＊=1.5 1 雲南市加茂町加茂中＊=1.3 隠岐の島町西町=1.3 松江市東出雲町揖屋＊=1.2 雲南市木次町里方＊=1.2 奥出雲町三成＊=1.2 西ノ島町浦郷小学校＊=1.2 出雲市平田町＊=1.1 松江市学園南＊=1.1 出雲市今市町=1.0 出雲市塩冶有原町＊=0.9 大田市温泉津町小浜＊=0.9 出雲市斐川町上庄原＊=0.9 松江市玉湯町湯町＊=0.9 出雲市坂浦町=0.9 松江市鹿島町佐陀本郷＊=0.8 松江市島根町加賀＊=0.8 雲南市掛合町掛合＊=0.8 松江市八雲町西岩坂＊=0.7 大田市仁摩町仁万＊=0.7 松江市西生馬町=0.7 雲南市大東町大東=0.6 川本町川本＊=0.5 雲南市三刀屋町三刀屋＊=0.5 松江市宍道町宍道＊=0.5 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁＊=0.5 鳥取県 1 湯梨浜町龍島＊=1.4 米子市東町＊=1.4 米子市博労町=1.2 北栄町土下＊=1.2 境港市竹内町＊=0.9 鳥取市吉方=0.8 日吉津村日吉津＊=0.7 湯梨浜町久留＊=0.6 鳥取南部町法勝寺＊=0.5 北栄町由良宿＊=0.5 境港市東本町=0.5 江府町上之段広場＊=0.5 岡山県 1 真庭市禾津＊=1.2 真庭市下方＊=0.7 真庭市蒜山下和＊=0.6 広島県 1 庄原市高野町＊=1.2				
108	26 22 18	大隅半島東方沖 鹿児島県	31° 16.3' N	131° 32.1' E	38km	M: 3.2 1 大崎町仮宿＊=0.7				
109	27 12 35	日向灘 宮崎県	32° 00.8' N	131° 34.3' E	41km	M: 2.9 1 宮崎市霧島=0.8				
110	27 14 02	茨城県南部 茨城県	36° 04.5' N	139° 52.2' E	46km	M: 3.7 2 坂東市馬立＊=1.9 筑西市門井＊=1.7 土浦市藤沢＊=1.6 つくば市小荻＊=1.6 笠間市下郷＊=1.5 坂東市役所＊=1.5 石岡市柿岡=1.5 筑西市海老ヶ島＊=1.5 桜川市岩瀬＊=1.5 土浦市常名=1.5 1 笠間市笠間＊=1.4 守谷市大柏＊=1.4 水戸市内原町＊=1.3 坂東市岩井=1.3 筑西市二木成＊=1.3 つくばみらい市福田＊=1.3 小美玉市小川＊=1.3 下妻市本城町＊=1.3 取手市寺田＊=1.3 桜川市真壁＊=1.2 常総市新石下＊=1.2 坂東市山＊=1.2 石岡市石岡＊=1.2 つくば市天王台＊=1.1 笠間市石井＊=1.1 笠間市中央＊=1.1 下妻市鬼怒＊=1.1 小美玉市堅倉＊=1.1 かすみがうら市大和田＊=1.1 茨城古河市仁連＊=1.0 筑西市舟生=1.0 境町旭町＊=1.0 石岡市若宮＊=1.0 かすみがうら市上土田＊=1.0 牛久市中央＊=1.0 稲敷市江戸崎町＊=0.9 土浦市田中＊=0.9 石岡市八郷＊=0.9 水戸市千波町＊=0.9 桜川市羽田＊=0.8 茨城古河市長谷町＊=0.8 常総市水海道諏訪町＊=0.8 茨城古河市下大野＊=0.8 行方市麻生＊=0.7 つくば市研究学園＊=0.7 小美玉市上玉里＊=0.7 鉾田市汲上＊=0.7 稲敷市須賀津＊=0.6 八千代町菅谷＊=0.6 行方市玉造＊=0.6 常陸大宮市北町＊=0.6 常陸大宮市山方＊=0.5 つくばみらい市加藤＊=0.5 城里町石塚＊=0.5 結城市中央町＊=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 水戸市金町=0.5 茨城町小堤＊=0.5 水戸市栗崎町＊=0.5 2 宇都宮市明保野町=2.1 下野市笹原＊=2.0 壬生町壬生甲＊=1.8 栃木市旭町=1.7 栃木市岩舟町静＊=1.6 佐野市高砂町＊=1.6 下野市田中＊=1.6 1 真岡市石島＊=1.4 栃木市藤岡町藤岡＊=1.3 足利市大正町＊=1.2 小山市中央町＊=1.1 茂木町茂木＊=1.0 野木町丸林＊=1.0 佐野市田沼町＊=1.0 鹿沼市晃望台＊=1.0 真岡市田町＊=1.0 宇都宮市塙田＊=0.9 宇都宮市旭＊=0.9 真岡市荒町＊=0.9 益子町益子=0.9 芳賀町祖母井＊=0.9 佐野市葛生東＊=0.8 上三川町しらさぎ＊=0.8 小山市神鳥谷＊=0.8 栃木市西方町本城＊=0.8 栃木市万町＊=0.7 佐野市中町＊=0.7 宇都宮市中里町＊=0.7 栃木市都賀町家中＊=0.7 下野市大松山＊=0.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.6 栃木市大平町富田＊=0.5 日光市足尾町中才＊=0.5 鹿沼市口栗野＊=0.5 鹿沼市今宮町＊=0.5				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県 2 板倉町板倉=1.5 1 大泉町日の出*=1.4 群馬明和町新里*=1.2 桐生市黒保根町*=1.0 みどり市大間々町*=0.9 渋川市赤城町*=0.9 邑楽町中野*=0.8 桐生市元宿町*=0.8 伊勢崎市西久保町*=0.8 太田市西本町*=0.8 沼田市西倉内町=0.6 桐生市新里町*=0.6 太田市大原町*=0.6 太田市浜町*=0.5 千代田町赤岩*=0.5 前橋市堀越町*=0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=1.3 加須市大利根*=1.2 春日部市金崎*=1.1 宮代町笠原*=1.1 加須市騎西*=0.8 久喜市鷺宮*=0.8 行田市南河原*=0.7 東松山市松葉町*=0.6 羽生市東*=0.6 深谷市仲町*=0.6 久喜市栗橋*=0.6 滑川町福田*=0.6 春日部市粕壁*=0.6 熊谷市江南*=0.6 加須市北川辺*=0.5 久喜市青葉*=0.5 川口市中青木分室*=0.5 幸手市東*=0.5 加須市三俣*=0.5 千葉県 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.4 柏市旭町=1.3 野田市鶴奉*=1.2 野田市東宝珠花*=1.0 白井市復*=0.8 芝山町小池*=0.5 八千代市大和田新田*=0.5 栄町安食台*=0.5				
111	27 16 42	愛知県西部 長野県 岐阜県 愛知県	35° 10.2' N	137° 21.1' E	45km	M: 3.1 1 売木村役場*=1.1 1 恵那市上矢作町*=0.5 1 豊田市藤岡飯野町*=0.6
112	27 20 06	北海道東方沖 北海道 青森県 岩手県	43° 59.6' N	147° 37.0' E	85km	M: 5.2 2 根室市落石東*=2.0 別海町常盤=1.7 標津町北2条*=1.7 根室市瑠瑠瑁*=1.6 羅臼町岬町*=1.5 1 浜中町茶内*=1.4 標茶町塘路*=1.3 別海町本別海*=1.3 根室市厚床*=1.3 根室市牧の内*=1.2 羅臼町緑町*=1.1 白糠町西1条*=0.8 根室市弥栄=0.7 十勝大樹町生花*=0.7 釧路市幸町=0.6 1 東通村砂子又沢内*=0.5 八戸市湊町=0.5 1 盛岡市薮川*=1.0
113	27 22 57	種子島近海 鹿児島県	30° 34.7' N	131° 19.4' E	37km	M: 3.2 1 中種子町野間*=0.5
114	28 07 59	長野県南部 山梨県 長野県	35° 52.3' N	138° 08.1' E	10km	M: 3.5 1 山梨北杜市長坂町*=1.2 山梨北杜市白州町*=0.7 富士川町鯉沢*=0.7 山梨北杜市大泉町*=0.5 1 茅野市葛井公園*=1.3 伊那市高遠町荊口=1.3 諏訪市高島*=0.9 諏訪市湖岸通り=0.8 長野南牧村海ノ口*=0.6 下諏訪町役場*=0.5 富士見町落合*=0.5 南箕輪村役場*=0.5
115	28 14 55	新島・神津島近海 東京都	34° 21.6' N	139° 14.8' E	2km	M: 1.9 1 新島村本村*=0.5
116	28 16 41	橘湾 長崎県 熊本県	32° 45.5' N	130° 09.8' E	10km	M: 3.4 2 雲仙市小浜町雲仙=2.3 雲仙市小浜町北本町*=2.1 南島原市加津佐町*=2.1 南島原市北有馬町*=1.8 諫早市多良見町*=1.6 1 雲仙市千々石町*=1.4 雲仙市雲仙出張所*=1.3 雲仙市南串山町*=1.3 諫早市東小路町=0.9 南島原市布津町*=0.9 諫早市森山町*=0.9 雲仙市吾妻町*=0.8 南島原市西有家町*=0.8 雲仙市愛野町*=0.7 南島原市有家町*=0.7 諫早市堂崎町*=0.7 南島原市深江町*=0.6 長崎市元町*=0.5 1 上天草市姫戸町*=1.0
117	28 16 44	十勝沖 岩手県	41° 24.2' N	144° 22.6' E	30km	M: 4.6 1 盛岡市薮川*=0.5
118	28 17 33	千葉県北西部 千葉県	35° 41.3' N	140° 07.8' E	70km	M: 3.2 1 千葉花見川区花島町*=0.7 千葉中央区中央港=0.5
119	28 18 03	橘湾 長崎県	32° 45.4' N	130° 09.7' E	10km	M: 2.9 2 雲仙市小浜町北本町*=1.6 1 雲仙市小浜町雲仙=1.2 南島原市北有馬町*=1.1 南島原市加津佐町*=1.1 雲仙市千々石町*=0.7 雲仙市南串山町*=0.6
120	29 12 22	沖縄本島近海 沖縄県	26° 47.1' N	128° 25.2' E	31km	M: 3.1 1 国頭村辺土名*=0.7 国頭村奥=0.5
121	29 14 31	岩手県沿岸南部 岩手県	39° 11.8' N	141° 41.0' E	64km	M: 3.4 1 一関市大東町=1.1 一関市室根町*=1.0 一関市東山町*=0.9 一関市千厩町*=0.9 釜石市中妻町*=0.7 住田町世田米*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 陸前高田市高田町*=0.5 一関市藤沢町*=0.5
122	29 19 34	茨城県南部 茨城県	36° 20.8' N	139° 57.5' E	77km	M: 4.6 3 土浦市常名=2.7 笠間市中央*=2.7 笠間市笠間*=2.6 笠間市石井*=2.6 土浦市藤沢*=2.6 茨城古河市下大野*=2.6 常総市水海道諏訪町*=2.6 桜川市岩瀬*=2.5 坂東市馬立*=2.5 筑西市門井*=2.5 2 石岡市若宮*=2.4 筑西市二木成*=2.4 桜川市羽田*=2.4 つくばみらい市加藤*=2.3 つくば市天王台*=2.3 常総市新石下*=2.3 笠間市下郷*=2.2 石岡市八郷*=2.2 小美玉市堅倉*=2.2 坂東市役所*=2.2 石岡市柿岡=2.2 桜川市真壁*=2.2 石岡市石岡*=2.1 城里町石塚*=2.1 坂東市岩井=2.1 坂東市山*=2.1 つくばみらい市福田*=2.1 小美玉市小川*=2.1 筑西市舟生=2.1 水戸市内原町*=2.1 つくば市小荳*=2.0 阿見町中央*=2.0 かすみがうら市上土田*=2.0 守谷市大柏*=2.0 取手市寺田*=2.0 下妻市本城町*=2.0 つくば市研究学園*=2.0 行方市玉造*=1.9 境町旭町*=1.8 下妻市鬼怒*=1.8 常陸大宮市野口*=1.8 取手市井野*=1.8 茨城町小堤*=1.8

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		小美玉市上玉里※=1.8 土浦市田中※=1.8 かすみがうら市大和田※=1.8 茨城古河市仁連※=1.8 五霞町小福田※=1.8 城里町阿波山※=1.7 筑西市海老ヶ島※=1.7 水戸市千波町※=1.7 東海村東海※=1.7 日立市助川小学校※=1.6 八千代町菅谷※=1.6 稲敷市江戸崎甲※=1.6 常陸大宮市北町※=1.6 結城市中央町※=1.6 稲敷市伊佐津※=1.5 茨城古河市長谷町※=1.5 水戸市金町=1.5 1 城里町徳蔵※=1.4 牛久市中央※=1.4 美浦村受領※=1.4 鉾田市汲上※=1.4 常陸大宮市山方※=1.3 稲敷市結佐※=1.3 鉾田市鉾田=1.3 那珂市福田※=1.3 龍ヶ崎市役所※=1.3 取手市藤代※=1.3 ひたちなか市南神敷台※=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 行方市麻生※=1.2 常陸太田市金井町※=1.2 ひたちなか市東石川※=1.2 大子町池田※=1.2 水戸市栗崎町※=1.2 日立市十王町友部※=1.2 稲敷市役所※=1.2 那珂市瓜連※=1.2 常陸太田市町屋町=1.1 茨城鹿嶋市宮中※=1.1 鉾田市造谷※=1.1 河内町源清田※=1.1 利根町布川=1.1 行方市山田※=0.9 常陸大宮市中富町=0.9 常陸太田市高柿町※=0.9 稲敷市須賀津※=0.9 日立市役所※=0.9 潮来市堀之内=0.8 潮来市辻※=0.8 大洗町磯浜町※=0.8 常陸大宮市高部※=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.7 高萩市安良川※=0.6 常陸太田市町田町※=0.5 3 宇都宮市中岡本町※=2.9 壬生町壬生甲※=2.8 野木町丸林※=2.5 小山市神鳥谷※=2.5 2 宇都宮市明保野町=2.3 宇都宮市中里町※=2.3 栃木市大平町富田※=2.3 栃木市岩舟町静※=2.3 佐野市葛生東※=2.3 佐野市高砂町※=2.3 佐野市田沼町※=2.3 高根沢町石末※=2.3 下野市田中※=2.3 栃木市藤岡町藤岡※=2.2 鹿沼市晃望台※=2.2 足利市大正町※=2.2 下野市笹原※=2.2 佐野市中町※=2.0 芳賀町祖母井※=2.0 栃木市旭町=2.0 小山市中央町※=1.9 栃木市万町※=1.8 益子町益子=1.8 栃木市都賀町家中※=1.7 大田原市湯津上※=1.7 鹿沼市口栗野※=1.6 市貝町市塙※=1.6 下野市大松山※=1.6 栃木那珂川町小川※=1.5 真岡市石島※=1.5 宇都宮市旭※=1.5 栃木市西方町本城※=1.5 日光市鬼怒川温泉大原※=1.5 那須烏山市大金※=1.5 1 日光市芹沼※=1.4 日光市黒部※=1.4 矢板市本町※=1.4 宇都宮市塙田※=1.4 真岡市田町※=1.4 上三川町しらさぎ※=1.4 茂木町茂木※=1.3 日光市足尾町中才※=1.3 那須町寺子※=1.3 鹿沼市今宮町※=1.3 真岡市荒町※=1.2 栃木那珂川町馬頭※=1.2 日光市瀬川=1.1 日光市藤原庁舎※=1.1 日光市御幸町※=1.0 那須塩原市塩原庁舎※=1.0 塩谷町玉生※=0.9 栃木さくら市喜連川※=0.9 日光市湯元※=0.8 栃木さくら市氏家※=0.8 那須烏山市神長=0.7 大田原市黒羽田町=0.6 日光市足尾町通洞※=0.6 日光市今市本町※=0.6 日光市中宮祠=0.5 3 邑楽町中野※=3.0 板倉町板倉=2.6 大泉町日の出※=2.6 2 渋川市赤城町※=2.4 伊勢崎市西久保町※=2.3 館林市上三林町※=2.3 伊勢崎市東町※=2.2 前橋市粕川町※=2.1 太田市西本町※=2.1 太田市浜町※=2.1 太田市粕川町※=2.0 桐生市新里町※=2.0 みどり市笠懸町※=1.9 桐生市元宿町※=1.9 渋川市吹屋※=1.9 渋川市伊香保町※=1.8 千代田町赤岩※=1.8 桐生市黒保根町※=1.8 伊勢崎市今泉町※=1.8 伊勢崎市境※=1.8 太田市新田金井町※=1.8 群馬明和町新里※=1.7 太田市大原町※=1.7 館林市城町※=1.7 玉村町下新田※=1.7 沼田市西倉内町=1.6 沼田市白沢町※=1.6 前橋市堀越町※=1.6 高崎市新町※=1.6 沼田市下久屋町※=1.5 みどり市大間々町※=1.5 前橋市鼻毛石町※=1.5 桐生市錦町=1.5 1 渋川市石原※=1.4 前橋市富士見町※=1.3 安中市安中※=1.3 吉岡町下野田※=1.3 神流町生利※=1.3 みどり市東町※=1.2 高崎市高松町※=1.2 渋川市北橋町※=1.2 藤岡市鬼石※=1.1 東吾妻町本宿※=1.1 東吾妻町奥田※=1.1 前橋市大手町※=1.1 高崎市足門町※=1.1 中之条町日影=1.0 渋川市有馬※=1.0 榛東村新井※=0.9 甘楽町小幡※=0.9 高崎市吉井町吉井川※=0.9 渋川市村上※=0.9 安中市松井田町※=0.9 沼田市尾瀬高等学校=0.8 中之条町中之条町※=0.8 片品村鎌田※=0.8 前橋市昭和町=0.8 高崎市箕郷町※=0.8 富岡市妙義町※=0.6 群馬高山村中山※=0.6 川場村谷地※=0.5 高崎市倉渕町※=0.5 富岡市七日市=0.5 3 東松山市松葉町※=2.7 久喜市下早見=2.7 加須市騎西※=2.6 加須市北川辺※=2.6 久喜市栗橋※=2.6 行田市本丸※=2.5 加須市大利根※=2.5 2 桶川市泉※=2.4 熊谷市大里※=2.3 鴻巣市中央※=2.3 深谷市川本※=2.3 久喜市鷲宮※=2.3 滑川町福田※=2.3 上尾市本町※=2.3 北本市本町※=2.3 東松山市市ノ川※=2.2 久喜市菖蒲※=2.2 春日部市粕壁※=2.2 宮代町笠原※=2.2 鴻巣市吹上富士見※=2.1 春日部市谷原新田※=2.1 蓮田市黒浜※=2.1 さいたま岩槻区本丸※=2.1 加須市三俣※=2.1 久喜市青葉※=2.0 ときがわ町桃木※=2.0 川口市中青木分室※=2.0 春日部市金崎※=2.0 熊谷市妻沼※=2.0 八潮市中央※=2.0 熊谷市江南※=2.0 白岡市千駄野※=2.0 羽生市東※=2.0 行田市南河原※=1.9 熊谷市桜町=1.8 幸手市東※=1.8 越生町越生※=1.8 川島町下八ツ林※=1.8 吉見町下細谷※=1.8 坂戸市千代田※=1.7 ときがわ町玉川※=1.7 三郷市中央※=1.6 伊奈町中央※=1.6 熊谷市宮町※=1.6 さいたま北区宮原=1.6 さいたま大宮区大門※=1.6 さいたま見沼区堀崎※=1.6 さいたま中央区下落合※=1.6 東秩父村御堂※=1.5 杉戸町清地※=1.5 松伏町松伏※=1.5 さいたま西区指扇※=1.5 さいたま大宮区天沼町※=1.5 さいたま南区別所※=1.5 嵐山町杉山※=1.5 小川町大塚※=1.5 1 深谷市花園※=1.4 深谷市仲町※=1.4 鳩山町大豆戸=1.4 川越市新宿町※=1.4 蕨市中央※=1.4 朝霞市本町※=1.4 毛呂山町中央※=1.4 さいたま緑区中尾※=1.4 長瀬町野上下郷※=1.4 埼玉美里町木部※=1.3 狭山市入間川※=1.3 戸田市上戸田※=1.3 吉川市きよみ野※=1.3 入間市豊岡※=1.2 富士見市鶴馬※=1.2 秩父市上町=1.2 秩父市近戸町※=1.2 皆野町皆野※=1.2 和光市広沢※=1.1 鶴ヶ島市三ツ木※=1.1 秩父市熊木町※=1.1 川越市旭町=1.1 所沢市北有楽町※=1.1 草加市中央※=1.1 横瀬町横瀬※=1.0 長瀬町本野上※=1.0 ふじみ野市福岡※=1.0 志木市中宗岡※=1.0 新座市野火止※=0.9 深谷市普濟寺※=0.9 上里町七本木※=0.9 川口市三ツ和※=0.9 寄居町寄居※=0.8 ふじみ野市大井※=0.8 飯能市名栗※=0.8 本庄市本庄※=0.8 埼玉神川町植竹※=0.8 さいたま桜区道場※=0.7 さいたま浦和区常盤※=0.7 飯能市征矢町※=0.7 秩父市吉田※=0.7 埼玉三芳町藤久保※=0.7 日高市南平沢※=0.6 埼玉神川町下阿久原※=0.6 飯能市下直竹=0.6 秩父市中津川※=0.6 秩父市荒川※=0.6 小鹿野町小鹿野※=0.5 2 二本松市針道※=1.6 玉川村小高※=1.6 1 白河市表郷※=1.4 泉崎村泉崎※=1.4 田村市大越町※=1.4 双葉町長塚※=1.4 浪江町幾世橋=1.4 郡山市朝日=1.3 白河市東※=1.2 大熊町大川原※=1.1 須賀川市八幡山※=1.1 郡山市湖南町※=1.1 白河市新白河※=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.0 郡山市開成※=1.0 いわき市三和町=0.9 二本松市油井※=0.9 矢祭町東館※=0.9 石川町長久保※=0.9 須賀川市八幡町※=0.9 檜葉町北田※=0.8				
		栃木県 群馬県 埼玉県 福島県				

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県				白河市内=0.8 田村市常葉町*=0.8 浅川町浅川*=0.8 いわき市錦町*=0.8 福島市花園町=0.7 鏡石町不時沼*=0.7 白河市内大信*=0.7 大熊町野上*=0.7 いわき市小名浜=0.7 田村市都路町*=0.6 矢祭町戸塚*=0.6 天栄村下松本*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 2 柏市旭町=2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.2 野田市鶴奉*=2.1 柏市柏*=2.0 白井市復*=1.9 市川市大町*=1.8 野田市東宝珠花*=1.7 柏市大島田*=1.7 流山市平和台*=1.7 千葉稲毛区園生町*=1.6 松戸市西馬橋*=1.6 八千代市大和田新田*=1.6 浦安市日の出=1.5 神崎町神崎本宿*=1.5 千葉花見川区花島町*=1.5 市川市本行徳*=1.5
		東京都				1 香取市役所*=1.4 成田国際空港=1.4 習志野市鷺沼*=1.4 印西市大森*=1.4 千葉美浜区ひび野=1.3 成田市名古屋=1.3 我孫子市我孫子*=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.3 船橋市湊町*=1.2 松戸市根本*=1.2 成田市中台*=1.2 栄町安食台*=1.2 芝山町小池*=1.2 浦安市猫実*=1.1 印西市笠神*=1.1 印西市美瀬*=1.1 香取市佐原平田=1.1 香取市仁良*=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 市川市八幡*=1.1 千葉佐倉市海隣寺町*=1.1 市原市姉崎*=1.0 山武市埴谷*=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 多古町多古=1.0 富里市七栄*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 香取市岩部*=0.9 成田市松子*=0.9 東金市日吉台*=0.8 酒々井町中央台*=0.8 千葉中央区中央港=0.8 長南町総合グラウンド=0.6 山武市蓮沼ニ*=0.6 成田市猿山*=0.5 館山市長須賀=0.5 木更津市太田=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 2 東京文京区大塚*=2.0 東京北区西ヶ原*=2.0 東京千代田区大手町=1.7 東京新宿区上落合*=1.7 東京文京区スポーツセンタ*=1.7 東京杉並区高井戸*=1.7 東京荒川区東尾久*=1.7 小平市小川町*=1.7 東京渋谷区本町*=1.6 東京中野区中野*=1.6 東京足立区神明南*=1.6 調布市西つつじヶ丘*=1.6 町田市本町田*=1.6 東大和市中央*=1.6 東京文京区本郷*=1.5 東京足立区伊興*=1.5 東京葛飾区立石*=1.5 1 東京千代田区富士見*=1.4 東京江東区越中島*=1.4 東京江東区森下*=1.4 東京豊島区南池袋*=1.4 東京板橋区相生町*=1.4 東京練馬区豊玉北*=1.4 東京江戸川区鹿骨*=1.4 八王子市堀之内*=1.4 青梅市日向和田*=1.4 東京中央区勝どき*=1.3 東京港区白金*=1.3 東京品川区北品川*=1.3 東京品川区平塚*=1.3 東京中野区江古田*=1.3 東京江戸川区中央=1.3 東京江戸川区船堀*=1.3 町田市忠生*=1.3 日野市神明*=1.3 東村山市本町*=1.3 国分寺市泉町*=1.3 東京足立区千住中居町*=1.2 東京葛飾区金町*=1.2 西東京市中町*=1.2 武蔵村山市本町*=1.2 青梅市東青梅=1.2 東京千代田区麹町*=1.2 東京港区海岸=1.2 東京江東区青海=1.2 東京世田谷区成城*=1.2 東京荒川区荒川*=1.2 国分寺市戸倉=1.1 狛江市市泉本町*=1.1 稲城市東長沼*=1.1 東京港区南青山*=1.1 東京新宿区百人町*=1.1 東京台東区東上野*=1.1 東京大田区本羽田*=1.1 東京世田谷区三軒茶屋*=1.1 東京板橋区高島平*=1.1 東京板橋区板橋*=1.1 東京練馬区東大泉*=1.0 東京墨田区吾妻橋*=1.0 八王子市大横町=1.0 八王子市石川町*=1.0 武蔵野市吉祥寺東町*=1.0 東京江東区枝川*=1.0 町田市森野*=1.0 小金井市本町*=1.0 東京大田区多摩川*=1.0 東京世田谷区世田谷*=1.0 多摩市関戸*=1.0 東京中央区築地*=1.0 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.0 東京杉並区桃井*=1.0 東京中央区日本橋兜町*=1.0 東京北区赤羽南*=1.0 東京新宿区歌舞伎町*=1.0 東京練馬区光が丘*=0.9 東京足立区中央本町*=0.9 東京新宿区西新宿=0.9 武蔵野市緑町*=0.9 三鷹市野崎*=0.9 東京目黒区中央町*=0.9 東京世田谷区中町*=0.8 東京台東区千束*=0.8 東京品川区広町*=0.8 東京府中市朝日町*=0.8 調布市小島町*=0.7 東京大田区大森東*=0.7 清瀬市中清戸*=0.7 東京江東区亀戸*=0.7 東京港区芝公園*=0.7 檜原村本宿*=0.7 東京国際空港=0.6 福生市熊川*=0.6 東京府中市寿町*=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.5 羽村市緑ヶ丘*=0.5
		神奈川県				2 横浜神奈川区神大寺*=1.7 横浜港北区日吉本町*=1.7 横浜戸塚区鳥が丘*=1.6 横浜神奈川区広台太田町*=1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.5 横浜緑区十日市場町*=1.5 川崎宮前区宮前平*=1.5 1 横浜中区山手町=1.4 横浜中区山下町*=1.4 横浜瀬谷区中屋敷*=1.4 横浜瀬谷区三ツ境*=1.4 川崎宮前区野川*=1.4 厚木市中町*=1.4 相模原緑区中野*=1.4 横浜旭区川井宿町*=1.3 清川村煤ヶ谷*=1.3 相模原中央区水郷田名*=1.3 相模原緑区久保沢*=1.3 相模原緑区橋本*=1.3 横浜鶴見区末広町*=1.2 横浜磯子区洋光台*=1.2 横浜旭区上白根町*=1.2 横浜青葉区榎が丘*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 小田原市荻窪*=1.2 秦野市曽屋=1.2 湯河原町中央=1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.1 川崎中原区小杉町*=1.1 三浦市城山町*=1.1 山北町山北*=1.1 愛川町角田*=1.1 相模原南区磯部*=1.1 横浜泉区岡津町*=1.0 横浜泉区和泉町*=1.0 横浜都筑区池辺町*=1.0 平塚市浅間町*=1.0 箱根町湯本*=1.0 横浜金沢区白帆*=1.0 横浜戸塚区戸塚町*=1.0 横浜港南区野庭町*=1.0 横浜旭区今宿東町*=1.0 中井町比奈窪*=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 川崎麻生区片平*=0.9 横須賀市光の丘=0.9 大和市下鶴間*=0.9 綾瀬市深谷中*=0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 南足柄市関本*=0.8 松田町松田惣領*=0.8 横浜金沢区益利谷南*=0.8 川崎多摩区登戸*=0.7 秦野市平沢*=0.7 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.7 川崎幸区戸手本町*=0.7
		山梨県				2 山梨北杜市長坂町*=1.6 1 笛吹市境川町藤壘*=1.4 大月市御太刀*=1.4 富士河口湖町船津=1.4 甲斐市下今井*=1.3 甲州市塩山上於曽*=1.3 大月市大月=1.3 上野原市役所*=1.3 富士河口湖町長浜*=1.3 甲州市勝沼町勝沼*=1.2 富士川町鯉沢*=1.2 山梨市牧丘町窪平*=1.1 昭和町押越*=1.1 笛吹市八代町南*=1.1 甲府市相生*=1.0 甲府市古閑町*=1.0 南アルプス市寺部*=1.0 笛吹市春日居町寺本*=1.0 富士吉田市上吉田*=1.0 甲府市下曽根町*=0.9 山梨北杜市高根町*=0.9 甲州市役所*=0.9 山中湖村山中*=0.9 富士河口湖町勝山*=0.9 身延町大磯小磯=0.8 山梨北杜市大泉町*=0.8 甲州市塩山下於曽=0.8 中央市成島*=0.8 富士吉田市下吉田*=0.8 都留市上谷*=0.8 忍野村忍草*=0.8 甲府市飯田=0.8 中央市大鳥居*=0.7 大月市役所*=0.7 上野原市四方津=0.7 西桂町小沼*=0.7 鳴沢村役場*=0.7 笛吹市一宮町末木*=0.7 市川三郷町六郷支所*=0.7 小菅村小菅小学校*=0.6 甲斐市島上条*=0.6 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.5 富士河口湖町本栖*=0.5
		宮城県				1 岩沼市桜*=0.5
		長野県				1 長野南牧村海ノ口*=1.0 小海町豊里*=0.8 富士見町落合*=0.5
		静岡県				1 東伊豆町奈良本*=1.1 富士宮市野中*=1.1 富士市吉永*=1.0 富士市大淵*=1.0 小山町須走*=1.0 熱海市泉*=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 小山町藤曲*=0.9 伊豆の国市長岡*=0.8

令和5年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
123	30 03 10	石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町*=2.5 2 珠洲市大谷町*=1.6 1 珠洲市三崎町=1.1 能登町松波*=1.0	37° 27.7' N	137° 15.3' E	10km	M: 3.2
124	30 06 02	釧路地方北部 北海道 2 弟子屈町サワンチサップ*=2.1	43° 40.2' N	144° 27.4' E	0km	M: 2.7
125	30 11 17	福島県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.7 福島県 1 檜葉町北田*=0.7	37° 40.6' N	141° 40.1' E	54km	M: 4.0
126	31 03 39	岩手県内陸北部 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=0.6	40° 11.5' N	141° 07.9' E	7km	M: 1.9
127	31 20 07	山梨県中・西部 静岡県 1 富士宮市野中*=0.7	35° 15.5' N	138° 27.2' E	17km	M: 2.3
128	31 20 08	山梨県中・西部 山梨県 1 山梨南部町栄小学校*=0.6 静岡県 1 富士宮市野中*=0.7	35° 15.5' N	138° 27.4' E	17km	M: 2.4
129	31 20 55	茨城県北部 茨城県 2 常陸太田市大中町*=1.6 1 日立市十王町友部*=1.1 日立市助川小学校*=1.0 高萩市安良川*=1.0 笠間市石井*=0.8 大子町池田*=0.8 常陸大宮市山方*=0.6 福島県 1 矢祭町戸塚*=0.8 白河市郭内=0.8 いわき市錦町*=0.6	36° 46.3' N	140° 34.3' E	8km	M: 3.6

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
〈令和4年（2022年）8月～令和5年（2023年）7月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和4年（2022年）											
8月	106	30	14	5	1	1				157	11日00時35分 上川地方北部（震度5弱） 11日00時53分 上川地方北部（震度5強） （8月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：4回、震度1：17回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 福島県沖の地震活動 （8月中：震度4：2回、震度2：1回、震度1：3回、宮城県沖で発生した地震1回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （8月中：震度1：1回）
9月	102	35	13	2						152	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）
10月	96	29	12		2					139	2日 大隅半島東方沖（震度5弱） 21日 福島県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度1：10回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動 （10月中：震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）
11月	104	23	17	2		1				147	9日 茨城県南部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：18回、富山湾で発生した地震7回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
12月	89	38	11	3						141	石川県能登地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：9回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
令和5年（2023年）											
1月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
2月	63	24	11		1					99	25日 釧路沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）
3月	70	30	8	4						112	石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）
4月	90	43	12	2						147	石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む） 父島近海の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）
5月	249	111	27	11	3	2		1		404	5日 能登半島沖（震度6強、震度5強） （石川県能登地方の地震活動、5月中：震度6強：1回、震度5強：1回、震度4：5回、震度3：10回、震度2：35回、震度1：69回、能登半島沖で発生した地震67回及び富山湾で発生した地震6回を含む） 11日 千葉県南部（震度5強） 13日 トカラ列島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：5回、震度2：26回、震度1：63回） 22日 新島・神津島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：13回、震度1：42回） 26日 千葉県東方沖（震度5弱） 八丈島近海の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回）
6月	106	48	14	2	1					171	11日 苫小牧沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （6月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震12回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （6月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、震度1：22回）
7月	87	33	7	2						129	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震6回を含む）
2023年計	756	318	88	23	5	2	0	1	0	1193	
過去1年計	1253	473	155	35	8	4	0	1	0	1929	（令和4年8月～令和5年7月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 〈令和4年(2022年)8月～令和5年(2023年)7月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和4年(2022年)								
8月	449	107	28	1		585	136	7日 北海道東方沖 (M6.0)
9月	467	104	18	3	1	593	126	17日22時41分 台湾付近 (M6.6) 17日23時45分 台湾付近 (M6.0) 18日15時44分 台湾付近 (M7.3) 18日17時09分 沖縄本島北西沖 (M6.0)
10月	382	74	12			468	86	
11月	334	85	12	1		432	98	14日 三重県南東沖 (M6.4)
12月	350	67	9	1		427	77	13日 奄美大島近海 (M6.0)
令和5年(2023年)								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖 (M6.0)
3月	326	81	7	1		415	89	28日 青森県東方沖 (M6.2)
4月	331	60	7			398	67	
5月	591	111	24	4		730	139	1日 沖縄本島近海 (M6.4) 5日 能登半島沖 (M6.5) 26日 千葉県東方沖 (M6.2) 30日 硫黄島近海 (M6.5)
6月	335	78	12	2		427	92	11日 苫小牧沖 (M6.2) 28日 日本海北部 (M6.3)
7月	296	66	11			373	77	
2023年計	2518	518	79	8	0	3123	605	
過去1年計	4500	955	158	14	1	5628	1128	(令和4年8月～令和5年7月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年7月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和5年7月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0						8

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和4年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202212/202212furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年7月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は49回であった。

平成19年10月～令和5年7月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)						15(508)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。